

# 逗子市高齡者保健福祉計画策定

## 一般高齡者調査結果報告書

平成 20 年 3 月

逗 子 市

## 目次

### アンケート調査の概要

1 調査の目的 .....	3
2 調査対象及び方法 .....	3
(1)調査対象 .....	3
(2)調査方法 .....	3
3 回収状況 .....	3
4 報告書を読む際の注意点 .....	3

### 集計の結果

1 回答の前提 .....	7
2 回答者の属性 .....	8
(1)性・年齢 .....	8
(2)住まい .....	10
(3)同居状況 .....	12
3 健康と医療 .....	16
(1)日頃の健康管理 .....	16
(2)健康に関する情報 .....	27
(3)心身状況と入通院状況 .....	31
4 日常生活 .....	42
(1)日頃の過ごし方 .....	42
(2)社会参加 .....	45
(3)支援ニーズ .....	51
5 介護が必要になったときの暮らし方についての意向 .....	55
6 保健福祉サービス利用の現状と意向 .....	71
(1)保健福祉サービスの利用の現状と意向 .....	71
(2)介護保険について .....	86
(3)相談先 .....	93
7 意見（自由記述） .....	95
(1)市の高齢者保健福祉サービスについて .....	95
(2)介護保険制度全般について .....	101

## アンケート調査の概要

## 1 調査の目的

逗子市では、平成 21 年度以降の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を策定するにあたり、基礎調査の一環として、サービスを利用する側（要支援・要介護認定者、介護者、一般高齢者）と提供する側（サービス提供事業所、介護支援専門員（ケアマネジャー））に対するアンケート調査を実施した。

本報告書は、そのうち、一般高齢者（高齢者のうち未だ介護保険制度を利用していない人々）に対する調査の結果をとりまとめたものである。

介護保険制度は、予防重視、地域密着型サービスの展開など、新たな時代を目指しつつある。市民が高齢期を安心して心豊かに過ごしていくためには、地域の中で、自立的に生活や健康づくりを実践していけるような環境づくり、必要に応じて相談やサービス利用が展開できるような環境づくりが望まれる。

このような認識に立ち、一般高齢者調査では、日常生活の実態・実感（保健福祉サービスとの関わりを含む）、今後の住まい方やサービスの利用意向などについて把握することを目的に実施した。

## 2 調査対象及び方法

### (1) 調査対象

平成 19 年 11 月 1 日現在で逗子市在住の介護保険の要支援・要介護認定を受けている方（2,376 人）を除く 65 歳以上の市民（一般高齢者）

### (2) 調査方法

抽出対象 : 調査対象者全員（15,565 人 - 2,376 人 = 13,189 人）

抽出数 : 1,000 名（無作為抽出）

調査票の配布・回収方法 : 郵送による配布・回収（督促 1 回）

調査実施時期 : 平成 19 年 11 月 1 日～12 月 10 日

## 3 回収状況

配布数	有効回収票数	有効回収率
1,000 票	787 票	78.7%

## 4 報告書を読む際の注意点

- 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出している。四捨五入の関係で、合計が 100%にならない場合がある。
- 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常 100%を超える。
- 選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いている。

集計の結果

# 1 回答の前提

## 回答者

最初にこの調査にご回答いただく方についておたずねします。( は1つ)

- 1. ご本人自らが回答
- 2. ご本人の回答を、別の方が代筆
- 3. ご本人の思いを想定し、別の方が代理で回答

【2、3とお答えの方におたずねします】

それは、ご本人からみてどなたですか。( は1つ)

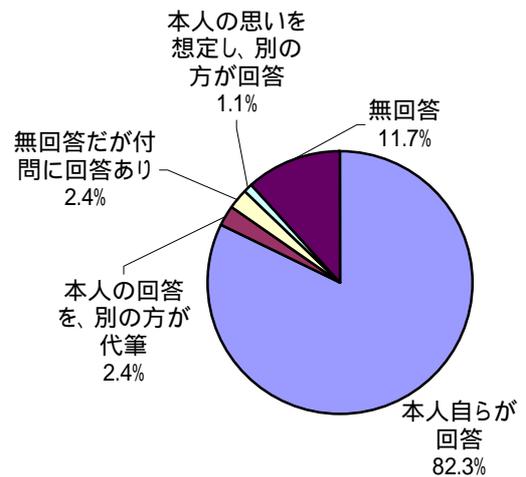
- 1. 配偶者                      3. 兄弟姉妹                      5. その他(具体的に )
- 2. 子ども                      4. 孫

アンケートへの 回答者 については、「本人自らが回答」が 82.3%で最も多く、代筆又は代理による回答は 5.9%みられる。

代筆又は代理者が回答した 47 人について、代筆・代理回答者の内訳をみると、51.1%が「配偶者」、29.8%が「子ども」であった。

### 回答者

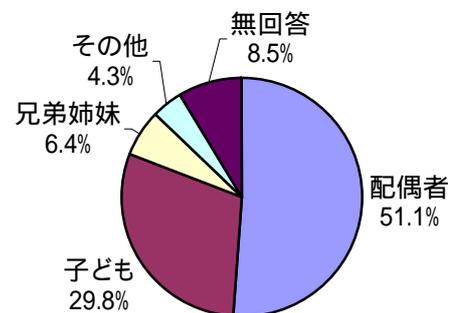
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	本人自らが回答	648	82.3
2	本人の回答を、別の方が代筆	19	2.4
3	回答	9	1.1
4	(無回答だが、付問に回答あり)	19	2.4
	無回答	92	11.7
	全体	787	100



### 本人との関係

\* 該当者 = 47人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	配偶者	24	51.1
2	子ども	14	29.8
3	兄弟姉妹	3	6.4
4	孫	0	0
5	その他	2	4.3
	無回答	4	8.5
	全体	47	100



## 2 回答者の属性

### (1)性・年齢

#### 性別

問1 あなたの性別・年齢をおたずねします。

(1)性別

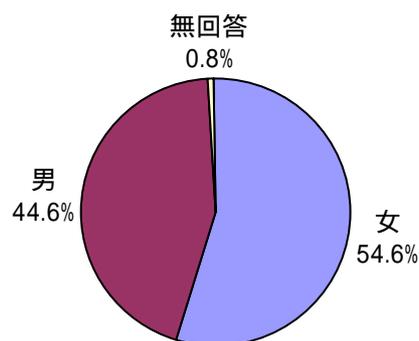
1.男

2.女

回答者の性別分布は、女性 54.6%、男性 44.6%と、女性の比率がやや高い。

#### 性別

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	男	353	44.6
2	女	428	54.4
	無回答	6	0.8
	全体	787	100



回答者を年齢別にみると、「70～74歳」と「90歳以上」の年代で、女性の比率が高くなっている。

		全体	性別		
			男	女	無回答
合計		787	353	428	6
		100	44.6	54.4	0.8
年齢	65～69歳	252	129	122	1
		100	51.2	48.4	0.4
	70～74歳	231	87	143	1
		100	37.7	61.9	0.4
	75～79歳	158	70	88	0
		100	44.3	55.7	0
	80～84歳	93	46	47	0
100		49.5	50.5	0	
85～89歳	41	18	21	2	
	100	43.9	51.2	4.9	
90歳以上	9	2	7	0	
	100	22.2	77.8	0	
居住圏域	東部圏域	411	188	222	1
		100	45.7	54	0.2
	西部圏域	373	165	205	3
		100	44.2	55	0.8

上段:人  
下段:%

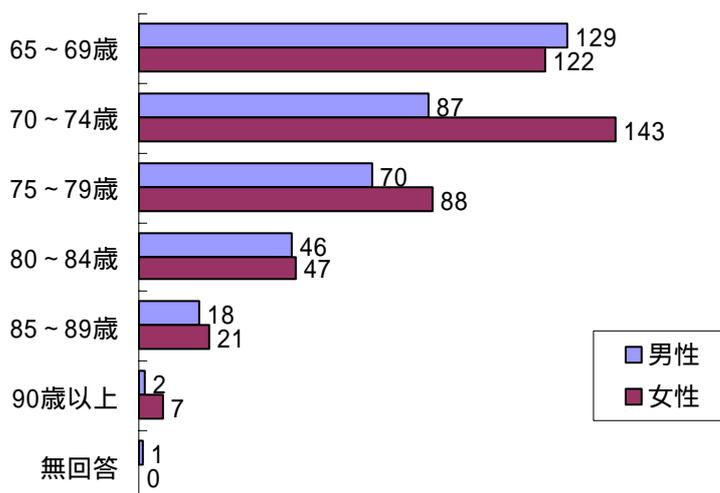
年齢

(2) 年齢					
1 . 65 ~ 69 歳	3 . 75 ~ 79 歳	5 . 85 ~ 89 歳			
2 . 70 ~ 74 歳	4 . 80 ~ 84 歳	6 . 90 歳以上			

年齢 別 (5 歳階級) では、「65 ~ 69 歳」32%、「70 ~ 74 歳」29.4%と、前期高齢者が約 6 割にのぼっている。「75 ~ 79 歳」の 20.1%をあわせると、80 歳未満が 8 割を占めることがわかる。

年齢

No.	カテゴリー名	回答者数	%	男性(%)	女性(%)
1	65 ~ 69 歳	252	32	129 ( 36.5)	122 ( 28.5)
2	70 ~ 74 歳	231	29.4	87 ( 24.6)	143 ( 33.4)
3	75 ~ 79 歳	158	20.1	70 ( 19.8)	88 ( 20.6)
4	80 ~ 84 歳	93	11.8	46 ( 13.0)	47 ( 11.0)
5	85 ~ 89 歳	41	5.2	18 ( 5.1)	21 ( 4.9)
6	90 歳以上	9	1.1	2 ( 0.6)	7 ( 1.6)
	無回答	3	0.4	1 ( 0.3)	0 ( 0.0)
	全体	787	100	353 ( 100)	428 ( 100)



上段: 人  
下段: %

	全体	年齢						
		65 ~ 69 歳	70 ~ 74 歳	75 ~ 79 歳	80 ~ 84 歳	85 ~ 89 歳	90 歳以上	無回答
合計	787	252	231	158	93	41	9	3
	100	32	29.4	20.1	11.8	5.2	1.1	0.4
東部圏域	411	142	112	84	48	19	5	1
	100	34.5	27.3	20.4	11.7	4.6	1.2	0.2
西部圏域	373	110	118	74	45	22	4	0
	100	26.8	28.7	18	10.9	5.4	1	0

(2)住まい

逗子市への居住年数

問2 あなたのお住まいについておたずねします。

(1) あなたが逗子市にお住まいの期間は、通算でどのくらいですか。( は1つ)

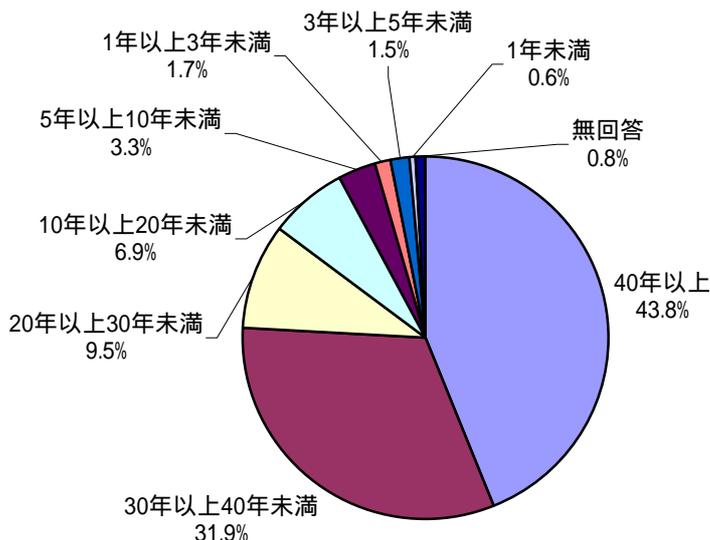
- 1 . 1年未満
- 2 . 1年以上3年未満
- 3 . 3年以上5年未満
- 4 . 5年以上10年未満
- 5 . 10年以上20年未満
- 6 . 20年以上30年未満
- 7 . 30年以上40年未満
- 8 . 40年以上

逗子市への居住年数 については、「40年以上」43.8%と「30年以上40年未満」31.9%をあわせると、居住年数30年以上が75.7%を占める。

一方、少数ではあるが、居住年数5年未満は3.8%、「5年以上10年未満」3.3%など、高齢になってから逗子市に移住してきたケースもみられる。

居住年数

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	1年未満	5	0.6
2	1年以上3年未満	13	1.7
3	3年以上5年未満	12	1.5
4	5年以上10年未満	26	3.3
5	10年以上20年未満	54	6.9
6	20年以上30年未満	75	9.5
7	30年以上40年未満	251	31.9
8	40年以上	345	43.8
	無回答	6	0.8
	全体	787	100



## 居住地区

(2) 本市では、地理的条件や人口、交通事情その他社会的条件に配慮し、介護保険サービス等の利用に地域格差が生じることがないように、2か所の日常生活圏域を設定しています。

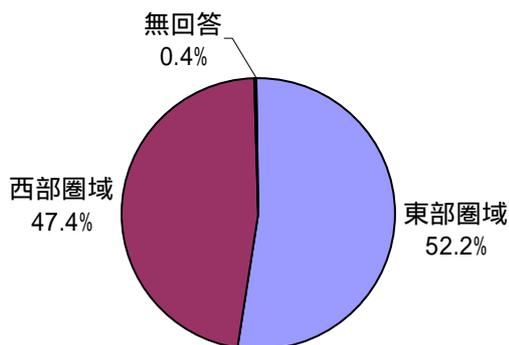
あなたのご自宅は、どちらの日常生活圏域にありますか。(は1つ)

- |         |  |   |
|---------|--|---|
| 1. 東部圏域 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 逗子3・4丁目</li> <li>・ 桜山全域      ・ 沼間全域      ・ 池子全域</li> </ul>        | } |
| 2. 西部圏域 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 逗子1・2・5・6・7丁目</li> <li>・ 山の根全域      ・ 久木全域      ・ 小坪全域</li> </ul> |   |

居住地区 について日常生活圏域別に聞いたところ、「東部圏域」52.2%、「西部圏域」47.4%となっている。

### 日常生活圏域

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	東部圏域	411	52.2
2	西部圏域	373	47.4
	無回答	3	0.4
	全体	787	100



## 住居形態

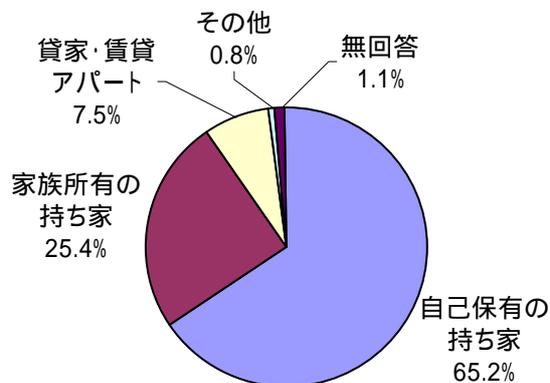
(3) それはどんなお住まいですか。(は1つ)

- |                       |              |
|-----------------------|--------------|
| 1. 自己所有の持ち家(マンションを含む) | 3. 貸家・賃貸アパート |
| 2. 家族所有の持ち家(マンションを含む) | 4. その他( )    |

住居形態 については、「自己所有の持ち家」65.2%、「家族所有の持ち家」25.4%と、持ち家が約9割を占めている。このほか、「貸家・賃貸アパート」7.5%、「その他」0.8%がある。

### 住居形態

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	自己所有の持ち家	513	65.2
2	家族所有の持ち家	200	25.4
3	貸家・賃貸アパート	59	7.5
4	その他	6	0.8
	無回答	9	1.1
	全体	787	100



(3)同居状況

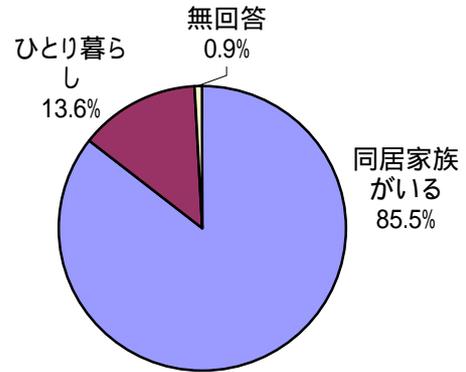
同居状況

問3 あなたのご同居状況についておたずねします。( は1つ)  
 1. ひとり暮らし (1)へ      2. 同居家族がいる (2)(3)へ

同居状況 については、「同居家族がいる」が85.5%にのぼるが、「ひとり暮らし」も13.6%みられる。

同居状況

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	ひとり暮らし	107	13.6
2	同居家族がいる	673	85.5
	無回答	7	0.9
	全体	787	100



同居状況 を性別でみてみると、女性では「ひとり暮らし」が19.6%であり、男性に比べると高い割合を示している。

年齢別では、「ひとり暮らし」の割合は、「80～84歳」と「90歳以上」で、相対的に高くなっている。

		全体	同居状況		
			同居家族がいる	ひとり暮らし	無回答
合計		787 100	673 85.5	107 13.6	7 0.9
性別	男	353 100	326 92.4	23 6.5	4 1.1
	女	428 100	343 80.1	84 19.6	1 0.2
年齢	65～69歳	252 100	224 88.9	27 10.7	1 0.4
	70～74歳	231 100	198 85.7	31 13.4	2 0.9
	75～79歳	158 100	133 84.2	24 15.2	1 0.6
	80～84歳	93 100	76 81.7	17 18.3	0 0
	85～89歳	41 100	34 82.9	6 14.6	1 2.4
	90歳以上	9 100	7 77.8	2 22.2	0 0
	居住 圏域	東部圏域	411 100	342 83.2	65 15.8
西部圏域		373 100	330 88.5	42 11.3	1 0.3

上段:人  
下段:%

## ひとり暮らし高齢者の家族

【「1.ひとり暮らし」とお答えの方におたずねします。】

(1) 親族は、どちらにお住まいですか。(あてはまるものすべてに )

- |                  |             |
|------------------|-------------|
| 1.二世帯住宅にいるが、生活は別 | 5.県内(市外)にいる |
| 2.同じ敷地内にいるが、生活は別 | 6.県外にいる     |
| 3.近所(歩ける範囲)にいる   | 7.その他( )    |
| 4.近所ではないが、市内にいる  | 8.親族はいない    |

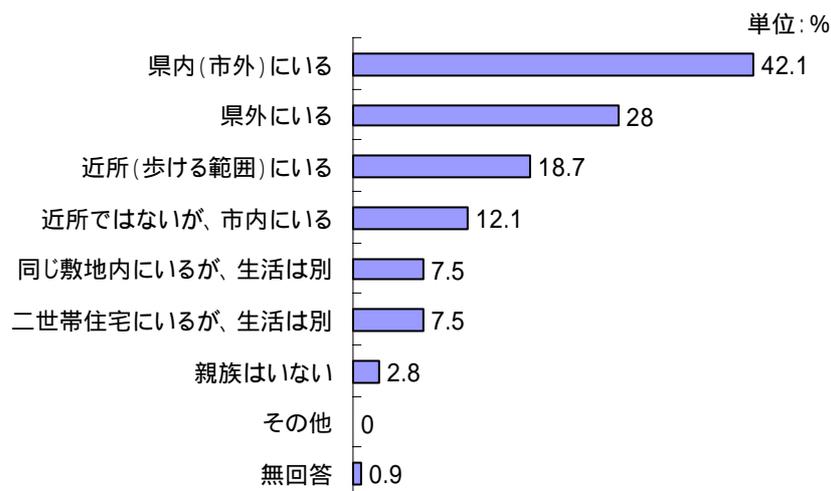
「ひとり暮らし」と答えた107人(全体の13.6%)に、家族の居住地を聞いたところ、「県内(市外)にいる」が42.1%で最も多く、次いで「県外にいる」28%と、逗子市以外に家族が住むケースが多いことがわかる。

このほか、「近所(歩ける範囲)にいる」18.7%、「近所ではないが、市内にいる」12.1%、「二世帯住宅にいるが、生活は別」及び「同じ敷地内にいるが、生活は別」各7.5%となっている。「親族はいない」は2.8%であった。

ひとり暮らしの場合の、家族の居住先  
(複数回答)

\* 該当者 = 107人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	二世帯住宅にいるが、生活は別	8	7.5
2	同じ敷地内にいるが、生活は別	8	7.5
3	近所(歩ける範囲)にいる	20	18.7
4	近所ではないが、市内にいる	13	12.1
5	県内(市外)にいる	45	42.1
6	県外にいる	30	28
7	その他	0	0
8	親族はいない	3	2.8
	無回答	1	0.9
	全体	107	100



## 同居家族の構成

【「2.同居家族がいる」とお答えの方におたずねします。】

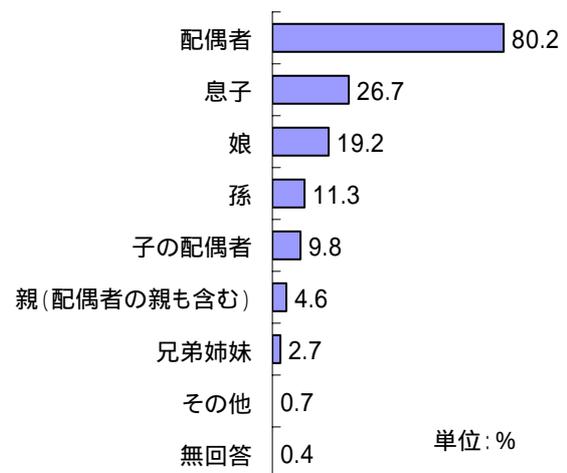
(2)それは、あなたからみてどんな方ですか。(あてはまるものすべてに )

- |                   |           |         |
|-------------------|-----------|---------|
| 1 . 父母 (配偶者の親も含む) | 4 . 娘     | 7 . 孫   |
| 2 . 配偶者           | 5 . 子の配偶者 | 8 . その他 |
| 3 . 息子            | 6 . 兄弟姉妹  | ( )     |

同居家族の構成 について、「同居の家族がいる」と答えた673人(全体の85.5%)に聞いたところ、80.2%が「配偶者」を挙げた。このほか、「息子」26.7%、「娘」19.2%、「孫」11.3%、「子の配偶者」9.8%、「親(配偶者の親を含む)」4.6%、「兄弟姉妹」2.7%となっている。

同居者(複数回答) \* 該当者 = 673人

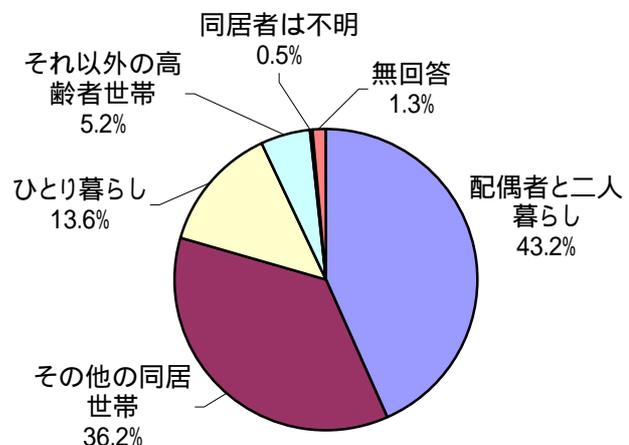
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	父母(配偶者の親も含む)	31	4.6
2	配偶者	540	80.2
3	息子	180	26.7
4	娘	129	19.2
5	子の配偶者	66	9.8
6	兄弟姉妹	18	2.7
7	孫	76	11.3
8	その他	5	0.7
	無回答	3	0.4
	全体	673	100



問3の回答状況より、回答者全体の同居状況形態を区分してみると、「配偶者との二人暮らし」が43.2%で最も多く、次いで「その他の同居世帯」(子どもや孫との同居世帯)36.2%、「ひとり暮らし」13.6%、「それ以外の高齢者世帯」(親、兄弟姉妹とで構成された世帯)5.2%となっている。

## 世帯構成

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	ひとり暮らし	107	13.6
2	配偶者と二人暮らし	340	43.2
3	それ以外の高齢者世帯	41	5.2
4	その他の同居世帯	285	36.2
5	同居者は不明	4	0.5
	無回答	10	1.3
	全体	787	100



同居の要介護者の有無

(3) 同居のご家族の中に、介護や介助が必要な方はいますか。( は1つ)

1. いる

2. いない

【「1.いる」とお答えの方におたずねします。】

それは、どんな方ですか。(あてはまるものすべてに )

1. 高齢者      2. 障害者      3. 乳幼児      4. その他( )

主に介護や介助を担う方は、あなたからみてどなたですか。

(あてはまるものすべてに )

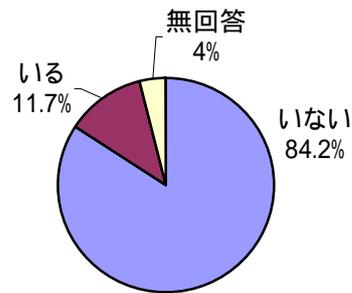
1. あなた自身      4. 娘      7. 親  
 2. 配偶者      5. 子の配偶者      8. 孫  
 3. 息子      6. 兄弟姉妹      9. その他( )

同居の要介護者の有無 について、同居家族がいる 673 人に聞いたところ、約 1 割(11.7%)が「介護が必要な同居者がいる」と答えた。

その内訳をみると、約 8 割が高齢者、約 3 割が障害者であり、「主に介護や介助を担う方」としては、約半数が「自分」及び「配偶者」であり、老老介護の割合が高くみられる。

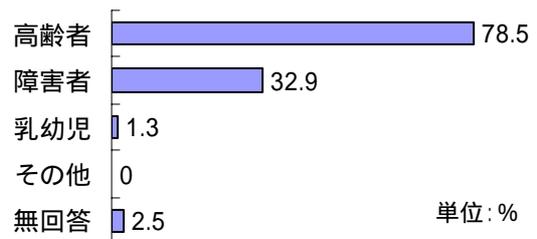
介護が必要な同居者の有無 \* 該当者 = 673人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	いる	79	11.7
2	いない	567	84.2
	無回答	27	4
	全体	673	100



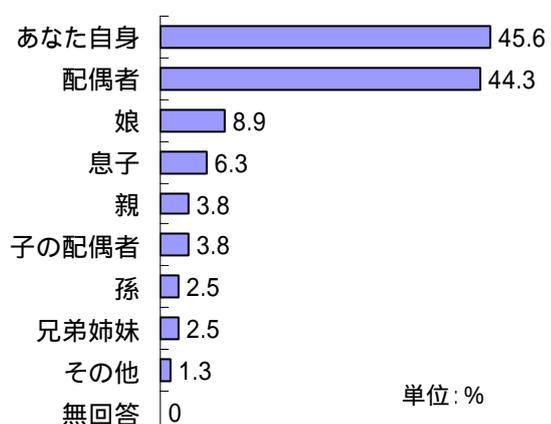
要介護者の内訳(複数回答) \* 該当者 = 79人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	高齢者	62	78.5
2	障害者	26	32.9
3	乳幼児	1	1.3
4	その他	0	0
	無回答	2	2.5
	全体	79	100



介護を担う人(複数回答) \* 該当者 = 79人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	あなた自身	36	45.6
2	配偶者	35	44.3
3	息子	5	6.3
4	娘	7	8.9
5	子の配偶者	3	3.8
6	兄弟姉妹	2	2.5
7	親	3	3.8
8	孫	2	2.5
9	その他	1	1.3
	無回答	0	0
	全体	79	100



### 3 健康と医療

#### (1) 日頃の健康管理

##### 規則正しい生活

問4 あなたの、日頃の健康管理についておたずねします。

(1) 規則正しい生活ができていますか。( は1つ)

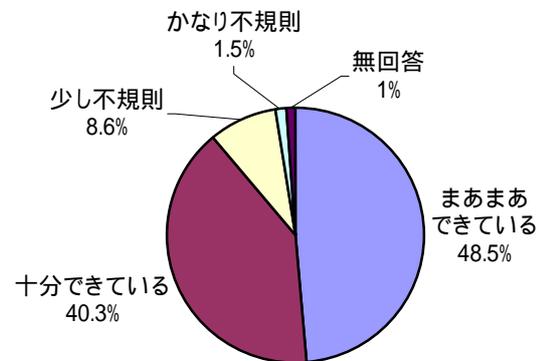
- 1. 十分できている
- 2. まあまあできている
- 3. 少し不規則
- 4. かなり不規則

「健康日本21」の主要項目をとりあげ、健康管理に関する自己評価について聞いた。

まず、規則正しい生活 ができているかどうかについては、88.8%と約 9 割が「できている」(「まあまあできている」48.5%、「十分できている」40.3%)と答えた。

##### 規則正しい生活

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	十分できている	317	40.3
2	まあまあできている	382	48.5
3	少し不規則	68	8.6
4	かなり不規則	12	1.5
	無回答	8	1
	全体	787	100



現在の健康状態別でみると、とても健康で気になるところはない人については、ほぼ全ての人が「できている」と答えている。調子が悪いと感じている人ほど、生活が不規則である傾向がうかがえる。

		全体	規則正しい生活				
			十分できている	まあまあできている	少し不規則	かなり不規則	無回答
合計		787	317	382	68	12	8
		100	40.3	48.5	8.6	1.5	1
現在の健康状態	とても健康で気になるところはない	71	54	16	1	0	0
		100	76.1	22.5	1.4	0	0
	年相応にまあまあ健康だと思う	612	241	312	45	8	6
		100	39.4	51	7.4	1.3	1
かなり調子が変わる	何となく調子がない	55	10	30	13	2	0
		100	18.2	54.5	23.6	3.6	0
	かなり調子が変わる	33	6	16	7	2	2
		100	18.2	48.5	21.2	6.1	6.1

上段:人  
下段:%



### バランスの良い食事

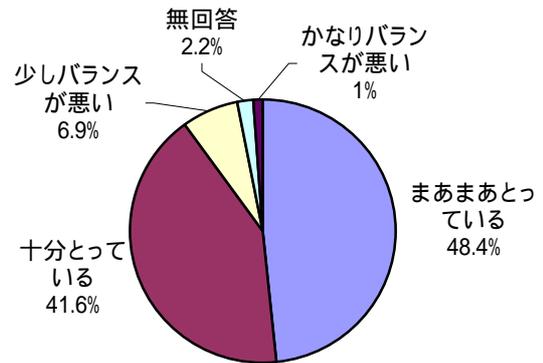
(3) バランスの良い食事をとっていますか。( は1つ)

- 1. 十分とっている
- 2. まあまあとっている
- 3. 少しバランスが悪い
- 4. かなりバランスが悪い

バランスの良い食事 については、9割(90.0%)が「とっている」「まあまあ」(「まあまあ」48.4%、「十分」41.6%)と答えている。

バランスの良い食事

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	十分とっている	327	41.6
2	まあまあとっている	381	48.4
3	少しバランスが悪い	54	6.9
4	かなりバランスが悪い	8	1
	無回答	17	2.2
	全体	787	100



健康状態について、とても健康で気になるところはないと感じている人については、全員が「とっている」と答えた。また、何となく調子が良くないと感じている人で、「少しバランスが悪い」との回答の割合が高くなっている。

上段:人  
下段:%

		全体	バランスの良い食事				
			十分とっている	まあまあとっている	少しバランスが悪い	かなりバランスが悪い	無回答
合計		787	327	381	54	8	17
		100	41.6	48.4	6.9	1	2.2
現在の健康状態	とても健康で気になるところはない	71	50	20	0	0	1
		100	70.4	28.2	0	0	1.4
	年相応にまあまあ健康だと思ふ	612	256	310	39	5	2
		100	41.8	50.7	6.4	0.8	0.3
	何となく調子がよくない	55	10	31	12	1	1
		100	18.2	56.4	21.8	1.8	1.8
かなり調子が変わる	33	10	17	3	2	1	
	100	30.3	51.5	9.1	6.1	3	

体を動かすこと（運動）

(4) 体を動かすこと（運動）に心がけていますか。（ は1つ）

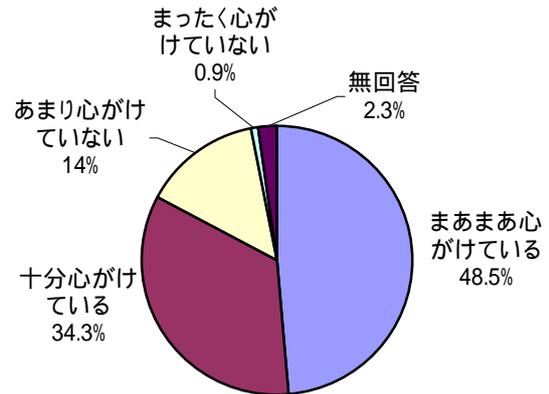
1. 十分心がけている                      3. あまり心がけていない

2. まあまあ心がけている              4. まったく心がけていない

体を動かすこと（運動）については、82.8%が「心がけている」（「まあまあ」48.5%、「十分」34.3%）と答えている。「あまり心がけていない」は1割以上（14%）みられる。

運動の心がけ

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	十分心がけている	270	34.3
2	まあまあ心がけている	382	48.5
3	あまり心がけていない	110	14
4	まったく心がけていない	7	0.9
	無回答	18	2.3
	全体	787	100



運動については、健康状態がよくない人ほど、「心がけていない」という回答の割合が高くなっている。

		全体	運動の心がけ				
			十分心がけている	まあまあ心がけている	あまり心がけていない	まったく心がけていない	無回答
合計		787	270	382	110	7	18
		100	34.3	48.5	14	0.9	2.3
現在の健康状態	とても健康で気になるところはない	71	49	16	5	0	1
		100	69	22.5	7	0	1.4
	年相応にまあまあ健康だと思う	612	209	319	75	5	4
		100	34.2	52.1	12.3	0.8	0.7
	何となく調子がよくない	55	6	28	20	1	0
		100	10.9	50.9	36.4	1.8	0
かなり調子がわるい	33	3	18	10	1	1	
	100	9.1	54.5	30.3	3	3	

上段:人  
下段:%



## 飲酒

(6) お酒を飲みますか。( は1つ)

1. 飲まない

2. ときどき飲む

3. ほぼ毎日飲む

【2、3とお答えの方におたずねします。】

適度な飲酒量の目安は、1日平均純アルコール度 20g 程度(ビール・発泡酒なら 500ml 缶 1 缶、ワインなら 200ml、清酒なら 1 合、焼酎なら 70ml、ウィスキー・ブランデーなら 60ml 程度以下)です。これと比べて、あなたの飲酒量はどのくらいですか。( は1つ)

1. 適量以下である

3. 少し適量を上回っている

2. 適量である

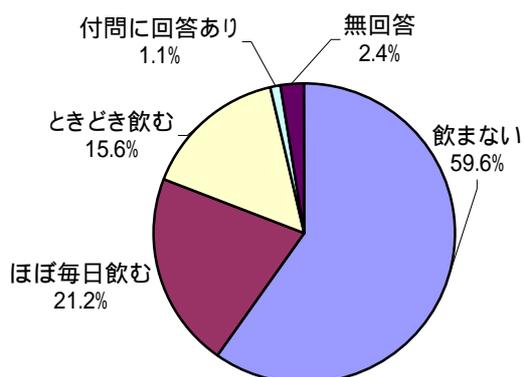
4. 適量をかなり上回っている。

飲酒 については、59.6%が「飲まない」、「飲む」は 36.8%（「ほぼ毎日」21.2%、「ときどき」15.6%）である。

お酒を飲んでいる 299 人（全体の 37.9%）について飲酒量の状況を見ると、74.6%が適量又は適量を下回っていると答えているが（「適量以下」45.5%、「適量」29.1%） 適量を上回っていると回答も 2割以上みられる（「少し上回っている」20.1%、「かなり上回っている」4.3%）。

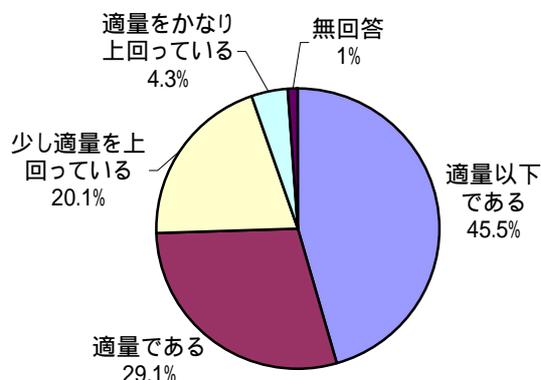
飲酒状況

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	飲まない	469	59.6
2	ときどき飲む	123	15.6
3	ほぼ毎日飲む	167	21.2
4	無回答だが、付問に回答あり	9	1.1
	無回答	19	2.4
	全体	787	100



1日の平均飲酒量

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	適量以下である	136	45.5
2	適量である	87	29.1
3	少し適量を上回っている	60	20.1
4	適量をかなり上回っている	13	4.3
	無回答	3	1
	全体	299	100



飲酒については、とても健康で気になるところはない人、年相応にまあまあ健康だと思う人の場合には、「ほぼ毎日飲む」と答える人の割合が高くなっており、健康状態がよくない人ほど、飲まない人の割合が高くなっている。

上段:人  
下段:%

		全体	飲酒状況				
			飲まない	ときどき飲む	ほぼ毎日飲む	無回答だが付 問に回答あり	無回答
合計		787	469	123	167	9	19
		100	59.6	15.6	21.2	1.1	2.4
現在の健康状態	とても健康で気になるところはない	71	39	14	17	0	1
	100	54.9	19.7	23.9	0	1.4	
	年相応にまあまあ健康だと思う	612	366	97	137	9	12
	100	59.8	15.8	22.4	1.5	2	
	何となく調子がよくない	55	40	7	8	0	0
	100	72.7	12.7	14.5	0	0	
かなり調子がいい	33	22	5	4	0	2	
100	66.7	15.2	12.1	0	6.1		



喫煙状況を健康状態別にみると、健康の調子が悪く感じる人ほど、「吸っていたが、今は吸わない」の割合が高くなるものの、「毎日吸う」という回答も、やや高くなる傾向がみられる。

上段:人  
下段:%

		全体	喫煙状況				
			もともと吸わない	吸っていたが、今は吸わない	ときどき吸う	毎日吸う	無回答
合計		787	460	219	10	80	18
		100	58.4	27.8	1.3	10.2	2.3
現在の健康状態	とても健康で気になるところはない	71	52	15	0	4	0
		100	73.2	21.1	0	5.6	0
	年相応にまあまあ健康だと思う	612	367	174	6	63	2
		100	60	28.4	1	10.3	0.3
	何となく調子がよくない	55	26	19	2	7	1
		100	47.3	34.5	3.6	12.7	1.8
かなり調子が変わる	33	13	10	2	6	2	
	100	39.4	30.3	6.1	18.2	6.1	

### 自分の歯

(8) 自分の歯(親知らずを除く)はどのくらいありますか。( は1つ)

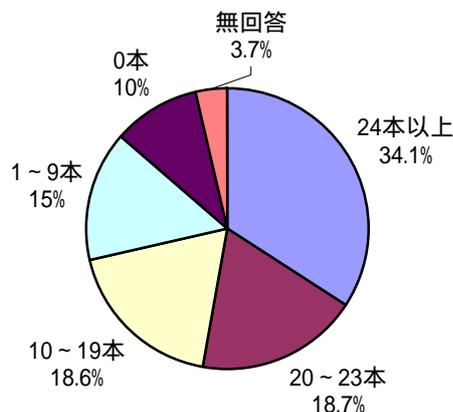
成人の歯は、親知らずを除いて上下28本が総数です。(差歯は自分の歯としてください。)

1. 24本以上    2. 20~23本    3. 10~19本    4. 1~9本    5. 0本

自分の歯 については、20本以上ある人が5割を超え(「24本以上」34.1%、「20~23本」18.7%)  
次いで「10~19本」18.6%、「1~9本」15%であり、「0本」も10%みられる。

自分の歯の本数

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	24本以上	268	34.1
2	20~23本	147	18.7
3	10~19本	146	18.6
4	1~9本	118	15
5	0本	79	10
	無回答	29	3.7
	全体	787	100



年齢別にみると、年齢が高いほど、歯の本数は少なくなる傾向にあり、90歳以上で「0本」との回答の割合が最も高くなっている。

		全体	自分の歯の本数							
			24本以上	20~23本	10~19本	1~9本	0本	無回答	上段:人	下段:%
合計		787	268	147	146	118	79	29		
		100	34.1	18.7	18.6	15	10	3.7		
現在の健康状態	とても健康で気になるところはない	71	28	14	11	7	10	1		
	年相応にまあまあ健康だと思う	612	217	112	116	92	62	13		
	何となく調子がよくない	55	13	12	12	13	4	1		
	かなり調子がわるい	33	9	9	6	6	3	0		
		100	27.3	27.3	18.2	18.2	9.1	0		
		100	23.6	21.8	21.8	23.6	7.3	1.8		
年齢	65~69歳	252	118	54	44	24	7	5		
		100	46.8	21.4	17.5	9.5	2.8	2		
	70~74歳	231	90	46	46	26	13	10		
		100	39	19.9	19.9	11.3	5.6	4.3		
	75~79歳	158	39	26	30	35	22	6		
		100	24.7	16.5	19	22.2	13.9	3.8		
	80~84歳	93	17	14	19	21	17	5		
	100	18.3	15.1	20.4	22.6	18.3	5.4			
85~89歳	41	4	5	4	11	14	3			
	100	9.8	12.2	9.8	26.8	34.1	7.3			
90歳以上	9	0	1	2	1	5	0			
	100	0	11.1	22.2	11.1	55.6	0			

健康診査

(9) 血液検査や心電図検査等の健康診査を受けていますか。( は1つ)

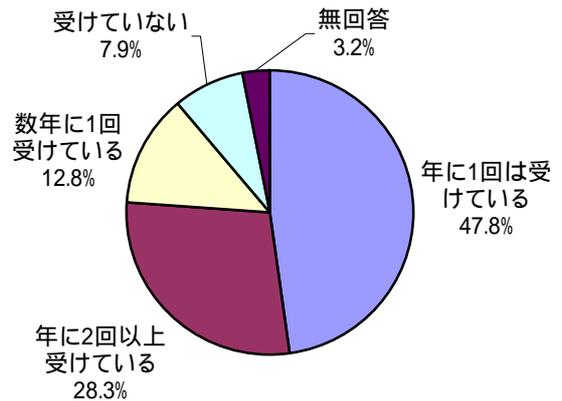
1. 年に2回以上受けている                      3. 数年に1回受けている

2. 年に1回は受けている                      4. 受けていない

血液検査や心電図検査等の健康診査については、47.8%が「年に1回は受けている」、次いで「年に2回以上受けている」28.3%と回答があり、少なくとも年1回以上検査を受けている人が7割強となっている。

健康診査の受診状況

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	年に2回以上受けている	223	28.3
2	年に1回は受けている	376	47.8
3	数年に1回受けている	101	12.8
4	受けていない	62	7.9
	無回答	25	3.2
	全体	787	100



健康診査については、健康な人ほど、「受けていない」割合が高くなる傾向がみられる。

上段: 人  
下段: %

	全体	健康診査の受診状況					
		年に2回以上受けている	年に1回は受けている	数年に1回受けている	受けていない	無回答	
合計	787	223	376	101	62	25	
	100	28.3	47.8	12.8	7.9	3.2	
現在の健康状態	とても健康で気になるところはない	71	12	26	14	17	2
		100	16.9	36.6	19.7	23.9	2.8
	年相応にまあまあ健康だと思う	612	176	313	74	39	10
		100	28.8	51.1	12.1	6.4	1.6
何となく調子がない	55	19	22	9	5	0	
	100	34.5	40	16.4	9.1	0	
かなり調子が変わる	33	14	14	4	1	0	
	100	42.4	42.4	12.1	3	0	

(2)健康に関する情報

健康について知りたいこと

問5 健康に関する情報についておたずねします。

(1) あなたが、健康について知りたいことはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに )

1. 望ましい食生活(食事の量、バランスのよい食べ合わせなど)について
2. 医療機関や薬品の選び方について
3. 年齢や体力に見合った運動の方法について
4. 歯や骨の健康づくりについて
5. 心の健康づくり(ストレスや悩みの解消)について
6. がんや脳卒中、心臓病などの病気の予防について
7. 寝たきりの予防について
8. 認知症の予防について
9. その他( )
10. 特にない

健康について知りたいこと については、「認知症の予防について」が41.6%で第1位、「がんや脳卒中、心臓病などの病気の予防について」が35.3%で第2位に挙げられている。これに続いて「医療機関や薬品の選び方について」32.9%、「寝たきりの予防について」30.2%、「望ましい食生活について」30%、「年齢や体力に見合った運動の方法について」28%などとなっている。

平成17年前回調査と比べると、日常的な健康づくりに関する情報ニーズは変わらないが、「認知症の予防について」(前回34.8%)、「寝たきりの予防について」(前回26.1%)への関心が高くなっていることがうかがえる。

健康について知りたいこと(複数回答)

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	望ましい食生活について	236	30
2	医療機関や薬品の選び方について	259	32.9
3	年齢や体力に見合った運動の方法について	220	28
4	歯や骨の健康づくりについて	139	17.7
5	心の健康づくりについて	139	17.7
6	がんや脳卒中等の病気の予防について	278	35.3
7	寝たきりの予防について	238	30.2
8	認知症の予防について	327	41.6
9	その他	6	0.8
10	特にない	140	17.8
	無回答	43	5.5
	全体	787	100



性別でみると、男性では、「がんや脳卒中、心臓病などの病気の予防について」、「年齢や体力に見合った運動の方法について」の割合が高くなっている。女性では、「認知症の予防について」、「寝たきりの予防について」、「歯や骨の健康づくりについて」への関心が高いことがわかる。

現在の健康状態別にみると、健康状態のよくない人で、「寝たきりの予防について」、「医療機関や薬品の選び方について」の割合が高くなっている。

上段：人  
下段：%

		全体	健康について知りたいこと(複数回答)										
			つ望 いて まし い食 生活 に	選 び 方 に 関 つ や い薬 品の	医 療 機 関 の 見 方	合 年 齢 や 体 力 に 関 見 法	り 歯 に つ 骨 の 健 康 づ く	つ 心 の 健 康 づ く り に	病 が ん や 脳 卒 中 等 の	つ 寝 た き り の 予 防 に	い 認 知 症 の 予 防 に つ	そ の 他	特 に な い
合計		787	236	259	220	139	139	278	238	327	6	140	43
		100	30	32.9	28	17.7	17.7	35.3	30.2	41.6	0.8	17.8	5.5
性別	男	353	113	114	111	51	47	139	80	127	3	72	15
	100	32	32.3	31.4	14.4	13.3	39.4	22.7	36	0.8	20.4	4.2	
	女	428	121	143	107	87	90	136	156	197	3	67	28
	100	28.3	33.4	25	20.3	21	31.8	36.4	46	0.7	15.7	6.5	
年齢	65～69歳	252	76	85	68	41	42	92	67	97	1	49	9
		100	30.2	33.7	27	16.3	16.7	36.5	26.6	38.5	0.4	19.4	3.6
	70～74歳	231	62	85	61	42	37	86	68	105	4	28	10
		100	26.8	36.8	26.4	18.2	16	37.2	29.4	45.5	1.7	12.1	4.3
	75～79歳	158	59	58	48	35	37	68	61	73	1	28	10
		100	37.3	36.7	30.4	22.2	23.4	43	38.6	46.2	0.6	17.7	6.3
	80～84歳	93	23	14	27	13	13	16	25	28	0	21	10
		100	24.7	15.1	29	14	14	17.2	26.9	30.1	0	22.6	10.8
	85～89歳	41	12	9	12	5	5	12	11	15	0	12	4
		100	29.3	22	29.3	12.2	12.2	29.3	26.8	36.6	0	29.3	9.8
	90歳以上	9	3	6	2	2	4	3	5	7	0	1	0
		100	33.3	66.7	22.2	22.2	44.4	33.3	55.6	77.8	0	11.1	0
現在の健康状態	とても健康で気になるところはない	71	17	12	12	10	6	14	8	23	0	25	2
	100	23.9	16.9	16.9	14.1	8.5	19.7	11.3	32.4	0	35.2	2.8	
	年相応にまあまあ健康だと思う	612	189	203	183	106	100	227	191	265	6	105	25
	100	30.9	33.2	29.9	17.3	16.3	37.1	31.2	43.3	1	17.2	4.1	
	何となく調子がよくない	55	20	25	14	14	19	23	24	22	0	7	3
100	36.4	45.5	25.5	25.5	34.5	41.8	43.6	40	0	12.7	5.5		
かなり調子がわるい	33	9	18	10	9	13	13	14	15	0	2	0	
100	27.3	54.5	30.3	27.3	39.4	39.4	42.4	45.5	0	6.1	0		

健康について頼りにしている情報源や相談先

(2) 健康について、あなたが頼りにしている情報源や相談先はどこ(誰)ですか。  
 (あてはまるものすべてに )

1. かかりつけの医師	6. テレビやラジオの健康番組
2. 家族	7. 健康に関する雑誌等
3. 同年配の仲間・友人	8. 市役所
4. 職場の嘱託医	9. 各種教室・講座
5. スポーツ教室の指導者	10. その他( )

健康について頼りにしている情報源や相談先 については、「かかりつけの医師」が 73.2%で最も多く、次いで「テレビやラジオの健康番組」49.6%、「家族」41%である。このほか、「同年配の仲間・友人」28.1%、「健康に関する雑誌等」20.3%も挙げられている。

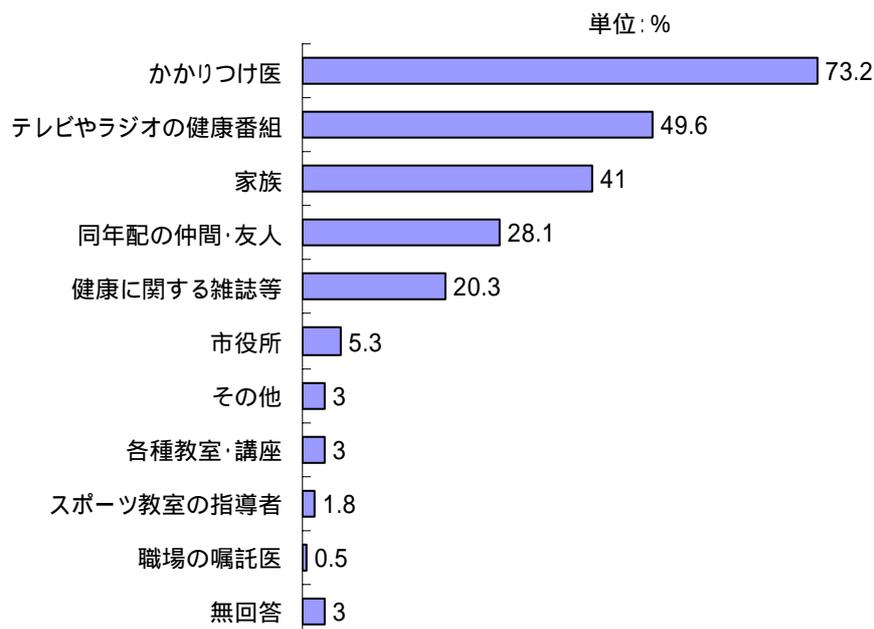
「市役所」5.3%、「各種教室・講座」3%、「スポーツ教室の指導者」1.8%などは、前回調査(平成17年)同様、低率にとどまっている。

健康の情報源や相談先(複数回答)

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	かかりつけ医	576	73.2
2	家族	323	41
3	同年配の仲間・友人	221	28.1
4	職場の嘱託医	4	0.5
5	スポーツ教室の指導者	14	1.8
6	テレビやラジオの健康番組	390	49.6
7	健康に関する雑誌等	160	20.3
8	市役所	42	5.3
9	各種教室・講座	24	3
10	その他	24	3
	無回答	24	3
	全体	787	100

10.その他

回答	回答者数
インターネット	8
新聞	7
病院内にあるフィットネスクラブ	1
自分自身(はり、灸師の免許あり)	1
健保組合	1
本	1
講演会、リウマチ友の会	1



年齢別にみると、75歳以上の後期高齢者では「かかりつけの医師」の割合が75%以上であり、前期高齢者に比べ高くなっている。

また、74歳以下の前期高齢者では、「同年配の仲間・友人」、「テレビやラジオの健康番組」の割合が高く、自ら情報を収集する傾向が高いことがうかがえる。

上段:人  
下段:%

	全体	健康の情報源や相談先(複数回答)											
		かかりつけ医	家族	同年配の仲間・友人	職場の嘱託医	スポーツ教室の指導者	テレビやラジオの健康番組	健康に関する雑誌	市役所	各種教室・講座	その他	無回答	
合計	787	576	323	221	4	14	390	160	42	24	24	24	
	100	73.2	41	28.1	0.5	1.8	49.6	20.3	5.3	3	3	3	
年齢	65～69歳	252	174	106	82	4	3	131	53	13	8	9	9
		100	69	42.1	32.5	1.6	1.2	52	21	5.2	3.2	3.6	3.6
	70～74歳	231	166	95	70	0	7	129	52	11	7	5	8
		100	71.9	41.1	30.3	0	3	55.8	22.5	4.8	3	2.2	3.5
	75～79歳	158	123	64	48	0	2	82	36	9	5	5	1
		100	77.8	40.5	30.4	0	1.3	51.9	22.8	5.7	3.2	3.2	0.6
	80～84歳	93	70	32	15	0	0	34	13	4	2	3	4
		100	75.3	34.4	16.1	0	0	36.6	14	4.3	2.2	3.2	4.3
	85～89歳	41	35	18	4	0	2	11	4	5	1	2	2
		100	85.4	43.9	9.8	0	4.9	26.8	9.8	12.2	2.4	4.9	4.9
	90歳以上	9	7	7	2	0	0	2	1	0	1	0	0
		100	77.8	77.8	22.2	0	0	22.2	11.1	0	11.1	0	0

(3)心身状況と入通院状況

現在の健康状態

問6 あなたの健康状態についておたずねします。

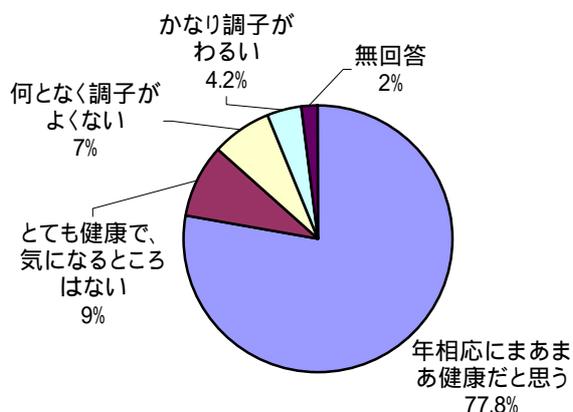
(1) 現在の健康状態はいかがですか。( は1つ)

1. とても健康で、気になるところはない
2. 気になるところはあるが、年相応にまあまあ健康だと思う
3. 何となく調子がよくない
4. かなり調子がわるい

現在の健康状態 については、『健康である』(「とても健康」9%、「年相応にまあまあ健康」77.8%)と答える人が78.7%と8割に近いが、平成17年前回調査に比べると(『健康である』87.6%)10ポイントほど低くなっている。『調子がわるい』は1割程度である(「何となく」7%、「かなり」4.2%)。

現在の健康状態

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	とても健康で、気になるところはない	71	9
2	年相応にまあまあ健康だと思う	612	77.8
3	何となく調子がよくない	55	7
4	かなり調子がわるい	33	4.2
	無回答	16	2
	全体	787	100



年齢別にみると、75～79歳で「何となく調子がよくない」が、90歳以上で「かなり調子がわるい」の割合が、相対的に高くなっている。

上段: 人  
下段: %

	全体	現在の健康状態					
		とても健康で 気になるところ はない	年相応にまあ まあ健康だと思 う	何となく調子 がよくない	かなり調子が わるい	無回答	
合計	787	71	612	55	33	16	
	100	9	77.8	7	4.2	2	
年齢	65～69歳	252	196	14	11	5	
		100	10.3	77.8	5.6	4.4	2
	70～74歳	231	182	15	8	5	
		100	9.1	78.8	6.5	3.5	2.2
	75～79歳	158	122	17	5	2	
		100	7.6	77.2	10.8	3.2	1.3
	80～84歳	93	70	7	7	2	
		100	7.5	75.3	7.5	7.5	2.2
85～89歳	41	34	2	0	2		
	100	7.3	82.9	4.9	0	4.9	
90歳以上	9	7	0	1	0		
	100	11.1	77.8	0	11.1	0	

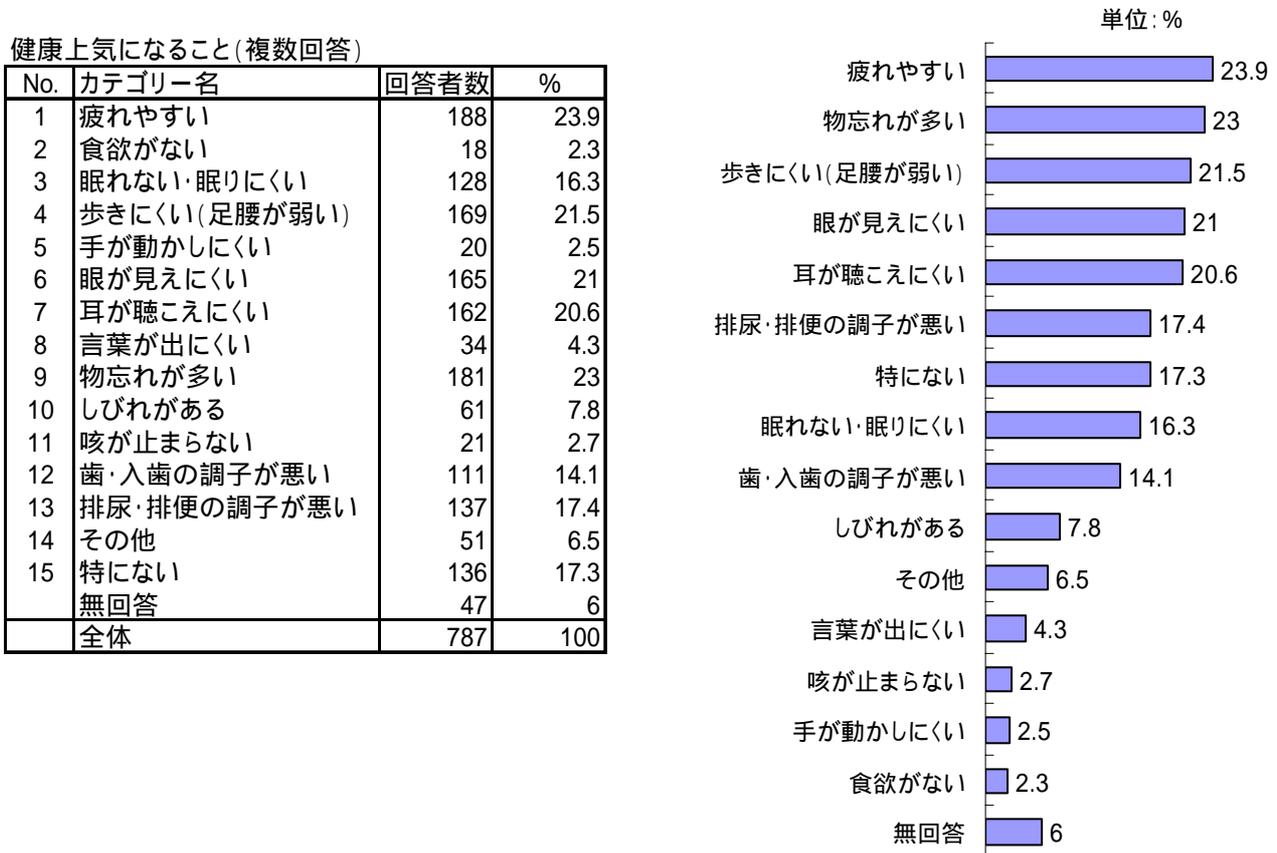
健康上気になること

(2) 健康上、気になることはありますか。(あてはまるものすべてに )

1. 疲れやすい	6. 眼が見えにくい	11. 咳が止まらない
2. 食欲がない	7. 耳が聴こえにくい	12. 歯・入歯の調子が悪い
3. 眠れない・眠りにくい	8. 言葉が出にくい	13. 排尿・排便の調子が悪い
4. 歩きにくい(足腰が弱い)	9. 物忘れが多い	14. その他( )
5. 手が動かしにくい	10. しびれがある	15. 特にない

健康上気になること について聞いたところ、「疲れやすい」23.9%、「物忘れが多い」23%、「歩きにくい(足腰が弱い)」21.5%、「眼が見えにくい」21%、「耳が聴こえにくい」20.6%といった項目が多く挙げられた。これに続いて、「排尿・排便の調子が悪い」17.4%、「眠れない・眠りにくい」16.3%、「歯・入歯の調子が悪い」14.1%、「しびれがある」7.8%などとなっている。

「特にない」が17.3%であるが、健康上気になることが複数ある人が多い様子が示された。



現在の通院・入院状況

(3) あなたは、現在、医療機関にかかっていますか。( は1つ)

1. 通院している      2. 入院している      3. 医療機関にはかかっていない

【現在、通院又は入院している方】 \* 該当者 = 608人

現在、治療しているものをお答えください。(あてはまるものすべてに )

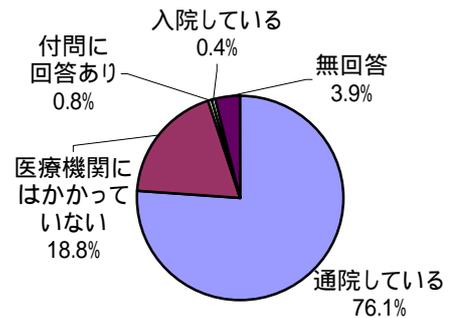
- |               |                    |            |
|---------------|--------------------|------------|
| 1. 高血圧        | 7. 脳血管障害           | 13. 貧血     |
| 2. 高脂血症       | 8. 心臓病             | 14. 歯科関連   |
| 3. 糖尿病        | 9. 呼吸器系疾患(肺炎、肺気腫等) | 15. 目の病気   |
| 4. 肝障害(脂肪肝等)  | 10. 痛風             | 16. 耳や鼻の病気 |
| 5. 胃潰瘍・十二指腸潰瘍 | 11. 骨粗しょう症         | 17. 骨折     |
| 6. がん         | 12. 前立腺肥大          | 18. その他( ) |

現在の通院・入院状況 については、「通院している」76.1%、「医療機関にはかかっていない」18.8%である。

現在治療している病気 については、「高血圧」が 37.8%で最も多く、「目の病気」20.1%、「歯科関連」19.4%、「心臓病」15.3%、「糖尿病」11.5%などとなっている。

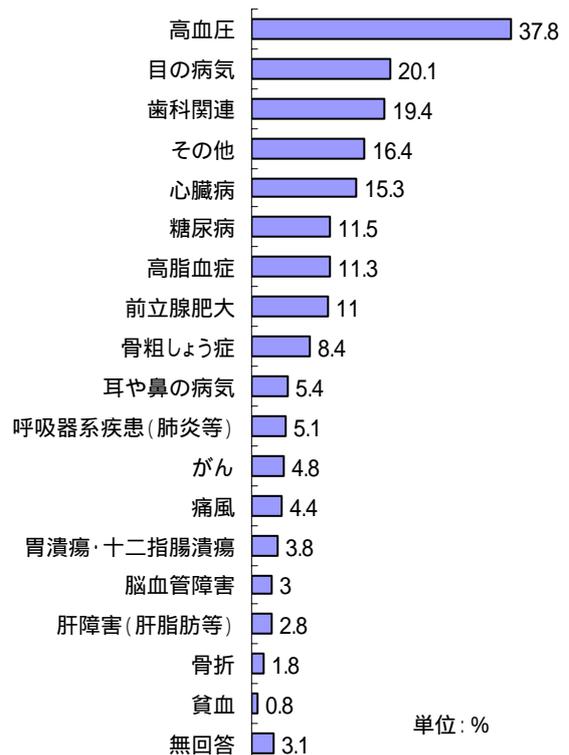
医療機関の利用状況

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	通院している	599	76.1
2	入院している	3	0.4
x	無回答だが、付問に回答あり	6	0.8
3	医療機関にはかかっていない	148	18.8
	無回答	31	3.9
	全体	787	100



現在、治療している病気(複数回答) \* 該当者 = 608人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	高血圧	230	37.8
2	高脂血症	69	11.3
3	糖尿病	70	11.5
4	肝障害(肝脂肪等)	17	2.8
5	胃潰瘍・十二指腸潰瘍	23	3.8
6	がん	29	4.8
7	脳血管障害	18	3
8	心臓病	93	15.3
9	呼吸器系疾患(肺炎等)	31	5.1
10	痛風	27	4.4
11	骨粗しょう症	51	8.4
12	前立腺肥大	67	11
13	貧血	5	0.8
14	歯科関連	118	19.4
15	目の病気	122	20.1
16	耳や鼻の病気	33	5.4
17	骨折	11	1.8
18	その他	100	16.4
	無回答	19	3.1
	全体	608	100



単位: %

年齢別にみると、65～69歳の人では、「医療機関にかかっていない」が25.4%であるが、年齢が高くなるにつれ、その割合が低くなり、90歳以上では全ての人が通院または入院していることがわかる（平成17年前回調査では、90歳以上で「医療機関にかかっていない」との回答が8.6%あった）。

上段：人  
下段：%

	全体	医療機関の利用状況					
		通院している	入院している	医療機関にはかかっていない	無回答だが付問に回答あり	無回答	
合計	787	599	3	148	6	31	
	100	76.1	0.4	18.8	0.8	3.9	
年齢	65～69歳	252	170	2	64	1	15
		100	67.5	0.8	25.4	0.4	6
	70～74歳	231	184	0	39	0	8
		100	79.7	0	16.9	0	3.5
	75～79歳	158	122	1	28	3	4
		100	77.2	0.6	17.7	1.9	2.5
	80～84歳	93	76	0	12	1	4
		100	81.7	0	12.9	1.1	4.3
	85～89歳	41	37	0	4	0	0
		100	90.2	0	9.8	0	0
	90歳以上	9	8	0	0	1	0
		100	88.9	0	0	11.1	0

通院状況

通院している場合、その頻度はどのくらいですか。( は1つ)

1. 週2回以上                      3. 月に2回程度                      5. その他(                      )

2. 週1回程度                      4. 月に1回程度

通院又は入院している医療機関の場所はどこですか。(あてはまるものすべてに )

1. 逗子市内                      2. 県内(市外)                      3. 県外

通院している場合、主にどんな交通手段を使っていますか。(あてはまるものすべてに )

1. 徒歩                      4. 自動車(家族が運転)                      7. 電車

2. 自転車・バイク                      5. タクシー                      8. 車いす

3. 自動車(自分で運転)                      6. 路線バス                      9. その他(                      )

通院又は入院先の医療機関を選んだ主な理由は何ですか。(あてはまるものすべてに )

1. 通いやすさ(交通の便)                      6. 自分や家族がかかりつけてきたから

2. 必要な診療科が揃っている                      7. 入院していた病院

3. 医療機器などの設備がよい                      8. 入院していた病院の紹介で

4. 医師の評判がよい                      9. その他(                      )

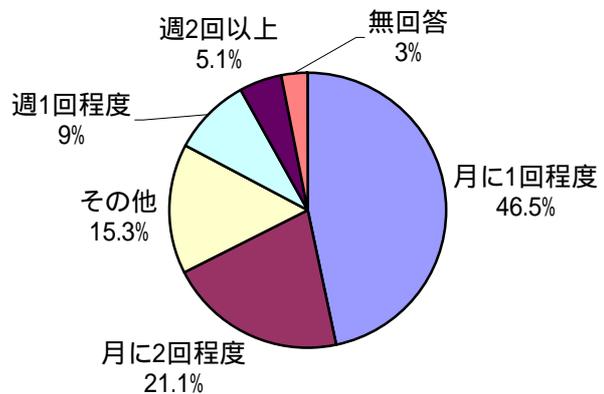
5. 治療法が納得できる

現在医療機関にかかっている608人について、通院状況は次のとおりの回答状況であった。

通院の頻度については、「月に1回程度」46.5%、「月に2回程度」21.1%と、月に1~2回のケースが多い。

通院の頻度 \* 該当者 = 608人

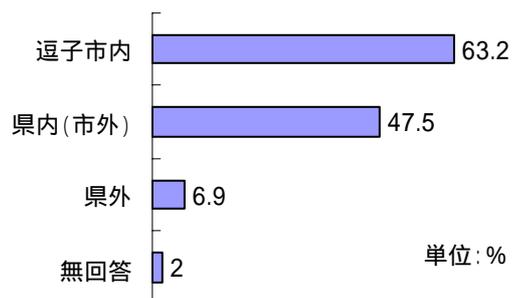
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	週2回以上	31	5.1
2	週1回程度	55	9
3	月に2回程度	128	21.1
4	月に1回程度	283	46.5
5	その他	93	15.3
	無回答	18	3
	全体	608	100



通院・入院場所については、「逗子市内」63.2%、「県内(市外)」47.5%が上位に挙げられているが、「県外」との回答も6.9%みられる。

通院・入院場所(複数回答) \* 該当者 = 608人

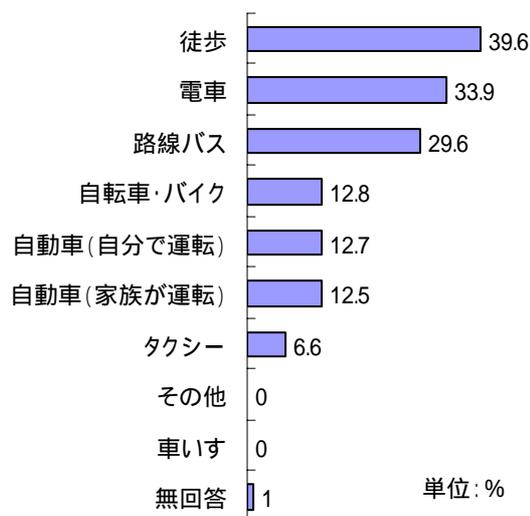
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	逗子市内	384	63.2
2	県内(市外)	289	47.5
3	県外	42	6.9
	無回答	12	2
	全体	608	100



通院方法 については、「徒歩」39.6%、「電車」33.9%、「路線バス」29.6%が上位に挙げられ、これに続いて、「自転車・バイク」12.8%、「自動車(自分で運転)」12.7%、「自動車(家族が運転)」12.5%となっている。

通院方法(複数回答) \* 該当者 = 608人

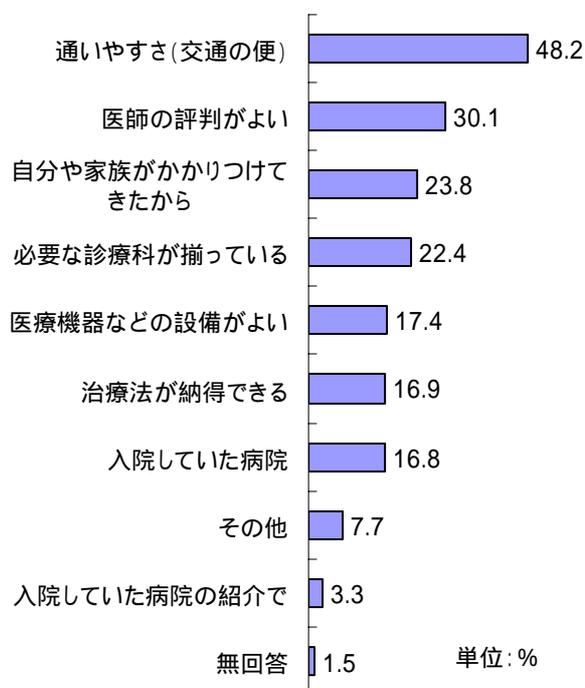
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	徒歩	241	39.6
2	自転車・バイク	78	12.8
3	自動車(自分で運転)	77	12.7
4	自動車(家族が運転)	76	12.5
5	タクシー	40	6.6
6	路線バス	180	29.6
7	電車	206	33.9
8	車いす	0	0
9	その他	0	0
	無回答	6	1
	全体	608	100



通院・入院先の選択理由 をみると、「通いやすさ(交通の便)」48.2%が第1位で、「医師の評判がよい」30.1%が第2位に挙げられた。次いで、「自分や家族がかかりつけてきたから」23.8%、「必要な診療科が揃っている」22.4%、「医療機器などの設備がよい」17.4%、「治療法が納得できる」16.9%、「入院していた病院」16.8%などとなっている。

通院・入院先の選択理由(複数回答) \* 該当者 = 608人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	通いやすさ(交通の便)	293	48.2
2	必要な診療科が揃っている	136	22.4
3	医療機器などの設備がよい	106	17.4
4	医師の評判がよい	183	30.1
5	治療法が納得できる	103	16.9
6	自分や家族がかかりつけてきたから	145	23.8
7	入院していた病院	102	16.8
8	入院していた病院の紹介で	20	3.3
9	その他	47	7.7
	無回答	9	1.5
	全体	608	100



## 入院経験

(4) 最近1年以内に、2週間以上の入院をした経験はありますか。( は1つ)

1. はい

2. いいえ

【「1. はい」とお答えの方】 \*該当者=55人

入院の主な理由は何ですか。(あてはまるものすべてに )

1. 検査 2. 病気 3. けがや骨折 4. リハビリテーション 5. その他

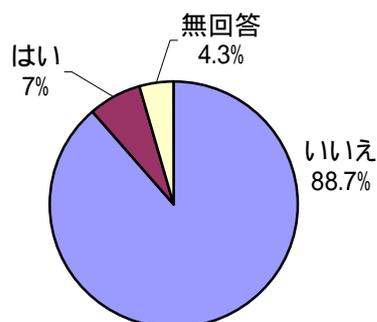
そのときの、主な病名は何ですか。(あてはまるものすべてに )

- |               |                    |            |
|---------------|--------------------|------------|
| 1. 高血圧        | 7. 脳血管障害           | 13. 貧血     |
| 2. 高脂血症       | 8. 心臓病             | 14. 歯科関連   |
| 3. 糖尿病        | 9. 呼吸器系疾患(肺炎、肺気腫等) | 15. 目の病気   |
| 4. 肝障害(脂肪肝等)  | 10. 痛風             | 16. 耳や鼻の病気 |
| 5. 胃潰瘍・十二指腸潰瘍 | 11. 骨粗しょう症         | 17. 骨折     |
| 6. がん         | 12. 前立腺肥大          | 18. その他( ) |

最近1年以内の、2週間以上の入院経験を聞いたところ、「はい」との回答は7%であった。

2週間以上の入院経験の有無

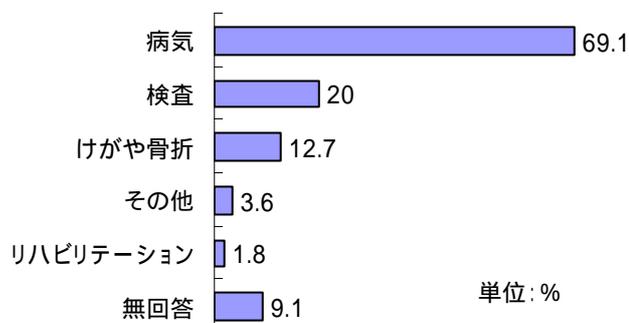
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	はい	55	7
2	いいえ	698	88.7
	無回答	34	4.3
	全体	787	100



入院経験のある55人に、その内容を聞いたところ、入院の主な理由としては、69.1%が「病気」と答えた。このほか、「検査」20%、「けがや骨折」12.7%、「リハビリテーション」1.8%となっている。

入院の主な理由(複数回答) \*該当者=55人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	検査	11	20
2	病気	38	69.1
3	けがや骨折	7	12.7
4	リハビリテーション	1	1.8
5	その他	2	3.6
	無回答	5	9.1
	全体	55	100



さらに、入院時の 主な病名 について聞いたところ、「その他」を除くと、「心臓病」21.8%、「がん」14.5%、「骨折」及び「呼吸器系疾患（肺炎等）」各 10.9%、「目の病気」及び「肝障害（肝脂肪等）」各 9.1%の順でみられる。

入院時の主な病名(複数回答) \* 該当者 = 55人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	高血圧	3	5.5
2	高脂血症	1	1.8
3	糖尿病	4	7.3
4	肝障害(肝脂肪等)	5	9.1
5	胃潰瘍・十二指腸潰瘍	3	5.5
6	がん	8	14.5
7	脳血管障害	1	1.8
8	心臓病	12	21.8
9	呼吸器系疾患(肺炎等)	6	10.9
10	痛風	0	0
11	骨粗しょう症	1	1.8
12	前立腺肥大	2	3.6
13	貧血	1	1.8
14	歯科関連	4	7.3
15	目の病気	5	9.1
16	耳や鼻の病気	2	3.6
17	骨折	6	10.9
18	その他	15	27.3
	無回答	1	1.8
	全体	55	100



## 入院先とその選択理由

入院した医療機関の場所はどこですか。(あてはまるものすべてに )

1. 逗子市内                      2. 県内(市外)                      3. 県外

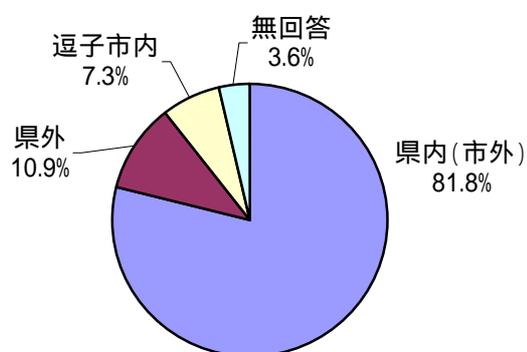
その医療機関を選択した主な理由は何ですか。(あてはまるものすべてに )

1. 通いやすさ(交通の便)                      6. 自分や家族がかかりつけてきたから  
 2. 必要な診療科が揃っている                      7. 救急で運ばれた先だった  
 3. 医療機器などの設備がよい                      8. かかりつけ医の紹介で  
 4. 医師の評判がよい                      9. 家族が決めた  
 5. 治療法が納得できる                      10. その他( )

入院経験者に、入院先について聞いたところ、「県内(市外)」が81.8%で最も多く、「県外」の10.9%とあわせると、9割以上が市外に入院していたことがわかる。「市内」は通院先では第1位に挙げられたが、入院先としては7.3%にとどまっている。

入院先(複数回答) \* 該当者 = 55人

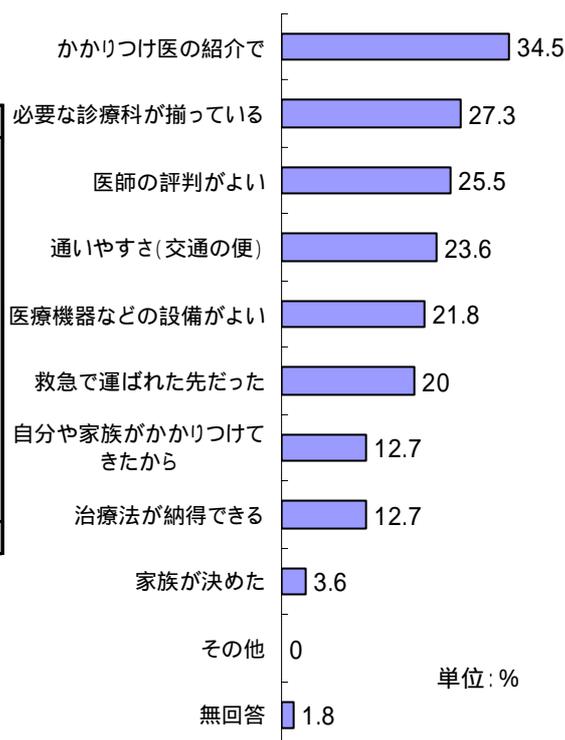
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	逗子市内	4	7.3
2	県内(市外)	45	81.8
3	県外	6	10.9
	無回答	2	3.6
	全体	55	100



入院先の選択理由については、「かかりつけ医の紹介で」34.5%、「必要な診療科が揃っている」27.3%が上位である。このほか、「医師の評判がよい」25.5%、「通いやすさ(交通の便)」23.6%、「医療機器などの設備がよい」21.8%、「救急で運ばれてきた先だった」20%などとなっている。

入院先の選択理由(複数回答) \* 該当者 = 55人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	通いやすさ(交通の便)	13	23.6
2	必要な診療科が揃っている	15	27.3
3	医療機器などの設備がよい	12	21.8
4	医師の評判がよい	14	25.5
5	治療法が納得できる	7	12.7
6	自分や家族がかかりつけてきたから	7	12.7
7	救急で運ばれた先だった	11	20
8	かかりつけ医の紹介で	19	34.5
9	家族が決めた	2	3.6
10	その他	0	0
	無回答	1	1.8
	全体	55	100





療育手帳の等級 \* 該当者 = 1人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	A1	1	100
2	A2	0	0
3	B1	0	0
4	B2	0	0
	無回答	0	0
	全体	1	100

精神障害者保健福祉手帳の等級 \* 該当者 = 2人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	1級	0	0
2	2級	2	100
3	3級	0	0
	無回答	0	0
	全体	2	100

障害者手帳の保有者について年齢別にみると、85歳以上で1割を上回り、他の年代に比べて、やや高くなっている。

上段:人  
下段:%

		全体	障害者手帳の所持		
			持っている	持っていない	無回答
合計		787	41	726	20
		100	5.2	92.2	2.5
年齢	65～69歳	252	4	243	5
		100	1.6	96.4	2
	70～74歳	231	11	216	4
		100	4.8	93.5	1.7
	75～79歳	158	15	135	8
		100	9.5	85.4	5.1
	80～84歳	93	5	85	3
		100	5.4	91.4	3.2
	85～89歳	41	5	36	0
		100	12.2	87.8	0
	90歳以上	9	1	8	0
		100	11.1	88.9	0

#### 4 日常生活

##### (1)日頃の過ごし方

###### 平日昼間の過ごし方

問7 あなたの日頃の過ごし方についておたずねします。

(1) 平日の昼間は、主にどのように過ごしていますか。( は1つ)

1. 主に自宅にいる      2. ときどき外出する      3. 外出することが多い

【「1.主に自宅にいる」とお答えの方におたずねします】

主にどなたと過ごしますか。

( は1つ)

1. ひとりで

2. 家族と

3. その他( )

【2、3とお答えの方におたずねします】

主な外出目的は何ですか。

(あてはまるものすべてに )

1. 仕事                      6. 老人クラブの活動

2. 買い物                    7. ボランティア活動

3. 散歩・犬の散歩        8. 文化・スポーツ活動

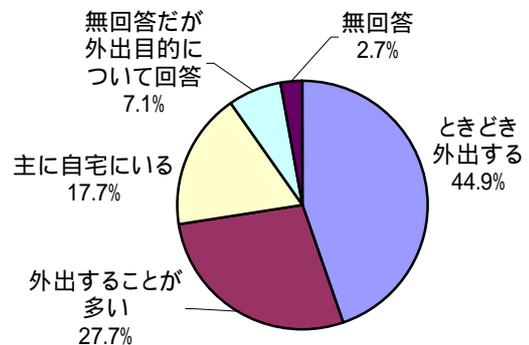
4. 家族の送迎              9. その他

5. 通院                      ( )

平日昼間の過ごし方 について聞いたところ、「ときどき外出する」が44.9%で最も多く、「外出することが多い」も27.7%にのぼっている。「主に自宅にいる」は17.7%である。

###### 平日昼間の過ごし方

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	主に自宅にいる	139	17.7
2	ときどき外出する	353	44.9
3	外出することが多い	218	27.7
x	無回答だが、外出目的について回答	56	7.1
	無回答	21	2.7
	全体	787	100

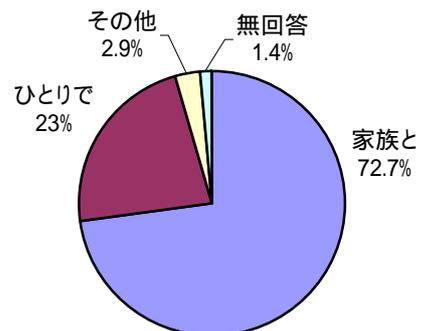


主に自宅にいると回答した139人に対して、一緒に過ごす相手 について聞いたところ、72.7%が「家族と」と答えた。「ひとりで」との回答も23%みられる。

###### 1.一緒に過ごす相手

\* 該当者 = 139人

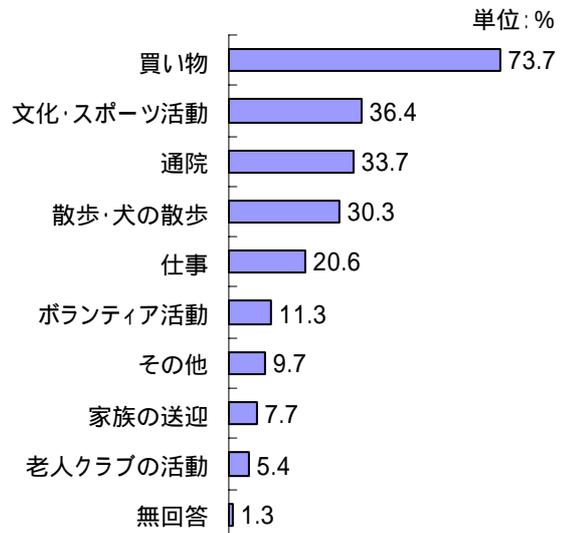
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	ひとりで	32	23
2	家族と	101	72.7
3	その他	4	2.9
	無回答	2	1.4
	全体	139	100



平日の昼間に外出する場合、外出目的として最も多いのは「買い物」73.7%、次いで「文化・スポーツ活動」36.4%、「通院」33.7%、「散歩・犬の散歩」30.3%、「仕事」20.6%、「ボランティア活動」11.3%などとなっている。

2.外出目的(複数回答) \* 該当者 = 627人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	仕事	129	20.6
2	買い物	462	73.7
3	散歩・犬の散歩	190	30.3
4	家族の送迎	48	7.7
5	通院	211	33.7
6	老人クラブの活動	34	5.4
7	ボランティア活動	71	11.3
8	文化・スポーツ活動	228	36.4
9	その他	61	9.7
	無回答	8	1.3
	全体	627	100



9.その他

回答	回答者数
友人との付き合い	15
家庭菜園	7
旅行、外食	6
孫の世話	3
その他(趣味、雑事等)	7

平日夜間の過ごし方

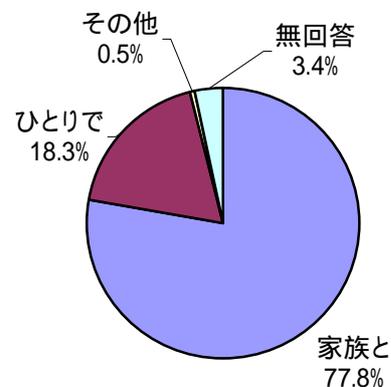
(2) 平日の夜は、主にどなたと過ごしますか。( は1つ)

1. ひとりで                      2. 家族と                      3. その他(                      )

平日夜間に一緒に過ごす相手 については、「家族と」が77.8%であるが、「ひとりで」との回答も18.3%みられる。

平日夜間に一緒に過ごす相手

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	ひとりで	144	18.3
2	家族と	612	77.8
3	その他	4	0.5
	無回答	27	3.4
	全体	787	100



平日の昼間、主に自宅にいる 139 人について、昼間と夜間の一緒に過ごす相手をみてみると、平日の昼間ひとりで過ごす人の 6 割近くが、夜間もひとりで過ごすことがわかる。

		全体	平日夜間に一緒に過ごす相手			
			ひとりで	家族と	その他	無回答
合計		139	24	113	1	1
		100	17.3	81.3	0.7	0.7
過平日 過ごす 昼間 相手に 一緒に	ひとりで	32	19	12	1	0
		100	59.4	37.5	3.1	0
	家族と	101	5	96	0	0
		100	5	95	0	0
	その他	4	0	3	0	1
		100	0	75	0	25

上段：人  
下段：%

### 休日に一緒に過ごす相手

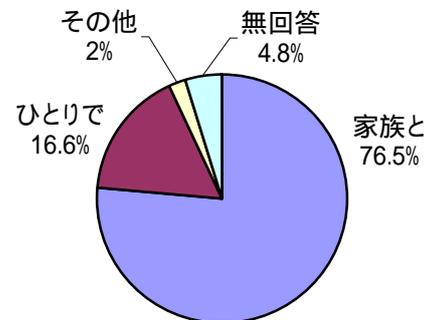
(3) 休日は、主にどなたと過ごしますか。( は1つ)

1. ひとりで                      2. 家族と                      3. その他 (                      )

休日に一緒に過ごす相手 については、「家族と」が 76.5%にのぼり、「ひとりで」も 16.6%みられる。

### 休日に一緒に過ごす相手

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	ひとりで	131	16.6
2	家族と	602	76.5
3	その他	16	2
	無回答	38	4.8
	全体	787	100



平日の夜間と休日に一緒に過ごす相手についてみてみると、平日の夜間「ひとりで」過ごす人の 87.5% が休日も「ひとりで」過ごしており、前回調査よりも約 10 ポイント高くなっている（平成 17 年前回調査では 76.9%）。

		全体	休日に一緒に過ごす相手			
			ひとりで	家族と	その他	無回答
合計		139	25	108	2	4
		100	18	77.7	1.4	2.9
手緒平 に日 過夜 ごす に相	ひとりで	24	21	2	0	1
		100	87.5	8.3	0	4.2
	家族と	111	4	106	1	2
		100	3.6	95.5	0.9	1.8
	その他	1	0	0	1	0
		100	0	0	100	0

上段：人  
下段：%

(2)社会参加

就労の現状と意向

問8 就業についておたずねします。

(1) あなたは、現在働いていますか(フルタイム・パートタイムどちらでも)

( は1つ)

1. 働いている

2. 働いていない

【「1.働いている」とお答えの方におたずねします】

「働いている」理由はなんですか。

(あてはまるものすべてに )

1. 働くことが好き
2. 能力を生かしたい
3. 生きがいがある
4. 仲間・友人が欲しい
5. 社会の役に立ちたい
6. 生活費が必要
7. 自分の自由になるお金が欲しい
8. 健康のため
9. その他( )

【「2.働いていない」とお答えの方におたずねします】

「働いていない」理由はなんですか。

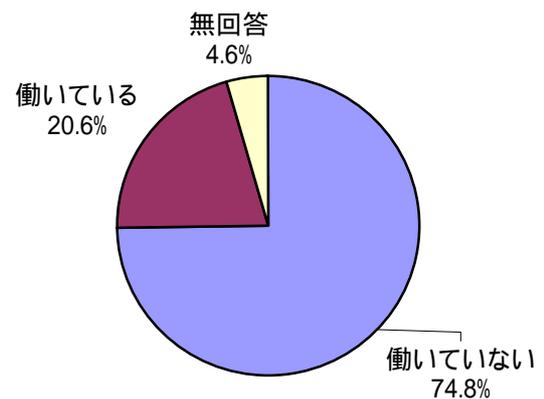
(あてはまるものすべてに )

1. 働きたいが働ける場所がない
2. 仕事をする必要がない
3. 体に負担をかけたくない・かけられない
4. 家事や家族の世話で忙しい
5. 趣味やスポーツ活動で忙しい
6. 仲間・友人と楽しみたい
7. 仕事以外で社会の役に立ちたい
8. 時間や場所を束縛されたくない
9. その他( )

現在の就労状況については、「働いていない」が74.8%、「働いている」は20.6%であった。

就労状況

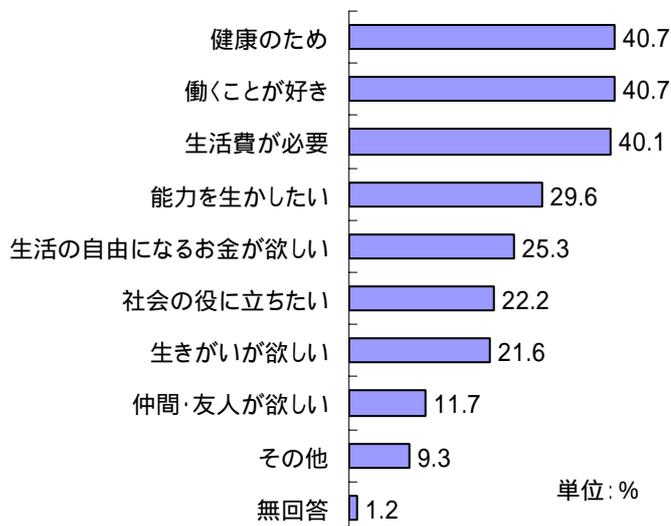
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	働いている	162	20.6
2	働いていない	589	74.8
	無回答	36	4.6
	全体	787	100



「働いている」と答えた 162 人に対し、働いている理由を聞いたところ、「健康のため」及び「働くことが好き」各 40.7%、「生活費が必要」40.1%が上位を占めている。このほか、「能力を生かしたい」29.6%、「生活の自由になるお金が欲しい」25.3%、「社会の役に立ちたい」22.2%、「生きがいがある」21.6%、「仲間・友人が欲しい」11.7%となっている。

働いている理由(複数回答) \* 該当者 = 162人

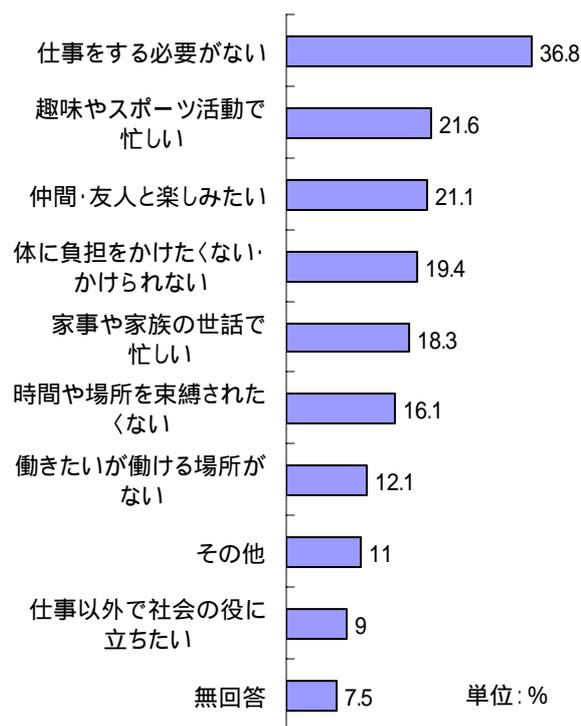
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	働くことが好き	66	40.7
2	能力を生かしたい	48	29.6
3	生きがいがある	35	21.6
4	仲間・友人が欲しい	19	11.7
5	社会の役に立ちたい	36	22.2
6	生活費が必要	65	40.1
7	生活の自由になるお金が欲しい	41	25.3
8	健康のため	66	40.7
9	その他	15	9.3
	無回答	2	1.2
	全体	162	100



一方、働いていないと答えた 589 人に対して、働いていない理由を聞いたところ、「仕事をする必要がない」が 36.8%で最も多く、これに「趣味やスポーツ活動で忙しい」21.6%、「仲間・友人と楽しみたい」21.1%が続いている。また、「体に負担をかけたくない・かけられない」との理由も 19.4%みられる。このほか、「家事や家族の世話で忙しい」18.3%、「時間や場所を束縛されたくない」16.1%、「働きたいが働ける場所がない」12.1%、「仕事以外で社会の役に立ちたい」9%などがみられる。

働いていない理由(複数回答) \* 該当者 = 589人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	働きたいが働ける場所がない	71	12.1
2	仕事をする必要がない	217	36.8
3	体に負担をかけたくない・かけられない	114	19.4
4	家事や家族の世話で忙しい	108	18.3
5	趣味やスポーツ活動で忙しい	127	21.6
6	仲間・友人と楽しみたい	124	21.1
7	仕事以外で社会の役に立ちたい	53	9
8	時間や場所を束縛されたくない	95	16.1
9	その他	65	11
	無回答	44	7.5
	全体	589	100



9.その他

回答	回答者数
高齢のため	39
ゆっくりしたい	4
体力・気力がでない	3
病気・障害のため	6
地域活動、ボランティア	1
親族との交流	1

## 今後の就労意向

(2) あなたは、今後働きたいと思いますか。( は1つ)

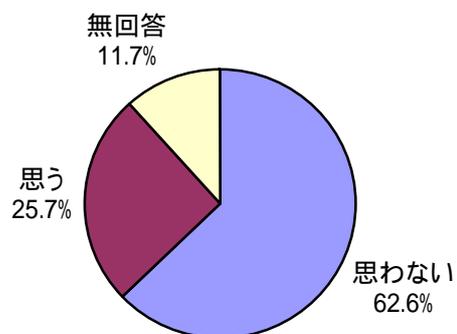
1. 思う

2. 思わない

今後の就労意向 について全員に聞いたところ、働きたいと「思わない」が62.6%を占めたが、働きたいと「思う」も25.7%と、就労意向を持つ人が4人に1人の割合でいることがわかった。

今後の就労意向

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	思う	202	25.7
2	思わない	493	62.6
	無回答	92	11.7
	全体	787	100



団体活動への参加の現状と意向

問9 団体活動への参加状況と今後の参加意向についておたずねします。

団体活動への参加状況 について、まず『参加したことはある』活動を見ると、「町内会・自治会・婦人会」18%、「学習・教養・趣味の会」13.3%、「スポーツ・レクリエーション団体」7.6%の順で見られる。

『現在参加している』活動では、「学習・教養・趣味の会」15.1%、「町内会・自治会・婦人会」14.4%、「スポーツ・レクリエーション団体」12.8%、「ボランティア団体」8.5%、「老人クラブ」6%などとなっている。

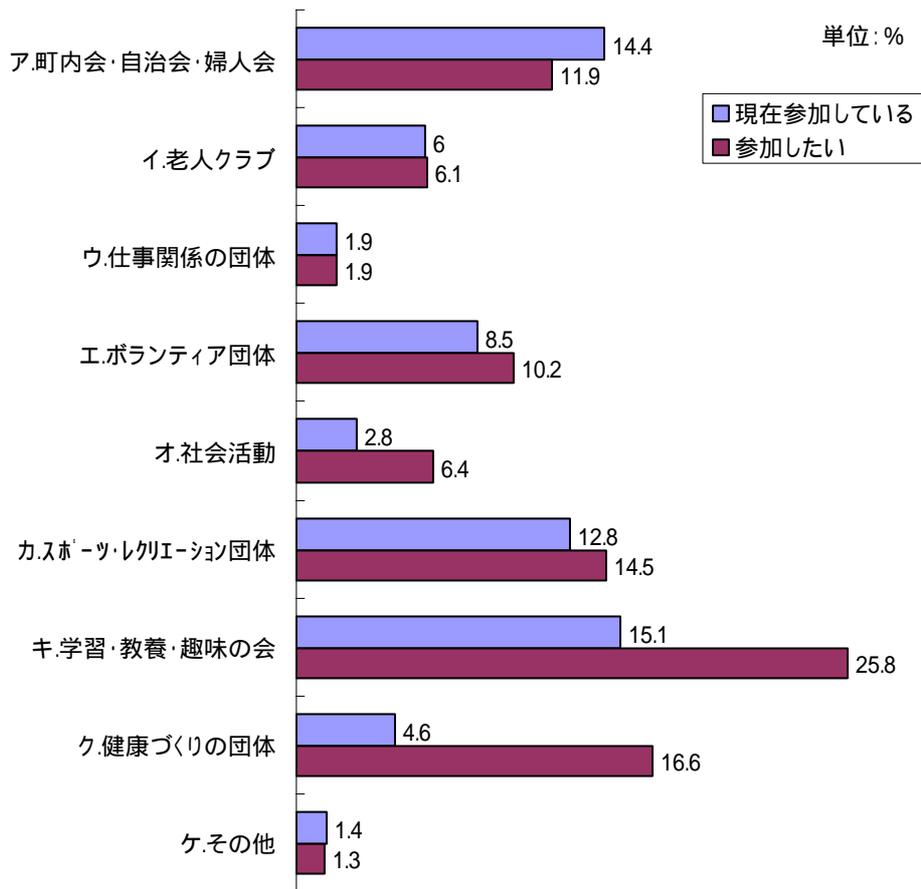
今後の参加意向 についてみると、『参加したい』活動としても、「学習・教養・趣味の会」が25.8%で最も多く、次いで「健康づくりの団体」16.6%、「スポーツ・レクリエーション団体」14.5%、「町内会・自治会・婦人会」11.9%、「ボランティア団体」10.2%などである。

一方、『参加したくない(できない)』活動は、「仕事関係の団体」28.1%、「老人クラブ」23.9%、「町内会・自治会・婦人会」21.1%、「社会活動」20.5%が上位を占めている。

総じて、“趣味・健康づくり・スポーツ”活動への参加意向が高く見られること、また“ボランティア・町内会”活動などへの参加意向も少なからずみられることがわかった。

団体活動への 参加状況と 参加意向 上段:人  
下段:%

全体 = 787人	参加状況				参加意向			
	現在参加している	参加したことはある	参加したことがない	無回答	参加したい	参加したくない(できない)	わからない	無回答
ア.町内会・自治会・婦人会	113 14.4	142 18	238 30.2	294 37.4	94 11.9	166 21.1	158 20.1	369 46.9
イ.老人クラブ	47 6	27 3.4	363 46.1	350 44.5	48 6.1	188 23.9	156 19.8	395 50.2
ウ.仕事関係の団体	15 1.9	16 2	358 45.5	398 50.6	15 1.9	221 28.1	138 17.5	413 52.5
エ.ボランティア団体	67 8.5	52 6.6	314 39.9	354 45	80 10.2	138 17.5	174 22.1	395 50.2
オ.社会活動	22 2.8	39 5	338 42.9	388 49.3	50 6.4	161 20.5	167 21.2	409 52
カ.スポーツ・レクリエーション団体	101 12.8	60 7.6	274 34.8	352 44.7	114 14.5	139 17.7	142 18	392 49.8
キ.学習・教養・趣味の会	119 15.1	105 13.3	249 31.6	314 39.9	203 25.8	98 12.5	132 16.8	354 45
ク.健康づくりの団体	36 4.6	49 6.2	318 40.4	384 48.8	131 16.6	115 14.6	155 19.7	386 49
ケ.その他	11 1.4	3 0.4	30 3.8	743 94.4	10 1.3	17 2.2	18 2.3	742 94.3



団体活動への参加状況と今後の参加意向

上段：人  
下段：%

		全体	今後の意向			
			参加したい	参加したくない(できない)	わからない	無回答
ア.町内会・自治会・婦人会	現在参加している	113	54	7	12	40
		100	47.8	6.2	10.6	35.4
	参加したことはある	142	24	41	49	28
		100	16.9	28.9	34.5	19.7
参加したことがない	238	13	108	91	26	
	100	5.5	45.4	38.2	10.9	
イ.老人クラブ	現在参加している	47	16	1	5	25
		100	34	2.1	10.6	53.2
	参加したことはある	27	7	8	4	8
		100	25.9	29.6	14.8	29.6
参加したことがない	363	20	167	140	36	
	100	5.5	46	38.6	9.9	
ウ.仕事関係の団体	現在参加している	15	7	0	0	8
		100	46.7	0	0	53.3
	参加したことはある	16	3	6	5	2
		100	18.8	37.5	31.3	12.5
参加したことがない	358	2	199	125	32	
	100	0.6	55.6	34.9	8.9	

		全体	今後の意向			
			参加したい	参加したくない(できない)	わからない	無回答
エ.ボランティア団体	現在参加している	67	34	1	2	30
		100	50.7	1.5	3	44.8
	参加したことはある	52	12	8	19	13
		100	23.1	15.4	36.5	25
	参加したことがない	314	26	117	143	28
		100	8.3	37.3	45.5	8.9
オ.社会活動	現在参加している	22	10	2	2	8
		100	45.5	9.1	9.1	36.4
	参加したことはある	39	9	3	16	11
		100	23.1	7.7	41	28.2
	参加したことがない	338	23	145	141	29
		100	6.8	42.9	41.7	8.6
カ.スポーツ・レクリエーション団体	現在参加している	101	65	0	2	34
		100	64.4	0	2	33.7
	参加したことはある	60	16	12	26	6
		100	26.7	20	43.3	10
	参加したことがない	274	24	115	110	25
		100	8.8	42	40.1	9.1
キ.学習・教養・趣味の会	現在参加している	119	76	1	1	41
		100	63.9	0.8	0.8	34.5
	参加したことはある	105	60	7	22	16
		100	57.1	6.7	21	15.2
	参加したことがない	249	45	83	102	19
		100	18.1	33.3	41	7.6
ク.健康づくりの団体	現在参加している	36	29	0	0	7
		100	80.6	0	0	19.4
	参加したことはある	49	20	5	12	12
		100	40.8	10.2	24.5	24.5
	参加したことがない	318	59	98	137	24
		100	18.6	30.8	43.1	7.5
ケ.その他	現在参加している	11	8	0	0	3
		100	72.7	0	0	27.3
	参加したことはある	3	1	0	1	1
		100	33.3	0	33.3	33.3
	参加したことがない	30	0	14	13	3
		100	0	46.7	43.3	10

### (3)支援ニーズ

#### 日常生活の自立度

問10 あなたは、次のような日常生活について、どのようにしていますか。( はそれぞれ1つ)

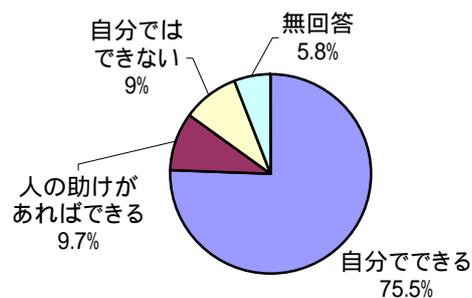
- |             |            |
|-------------|------------|
| ア．食事の支度（料理） | オ．家の中での移動  |
| イ．掃除や洗濯     | カ．買い物などの外出 |
| ウ．入浴や洗髪     | キ．会話・意思疎通  |
| エ．庭仕事や力仕事   | ク．金銭管理     |

日常生活の自立度 について、ア～クの生活活動別に『自分でできる』かどうか聞いたところ、『自分でできる（問題なくできる）』との回答は、「入浴や洗髪」93%、「買い物などの外出」92.1%（「杖などを使えばできる」2.9%を含む）、「金銭管理」91.4%、「会話・意思疎通」90.6%、「家の中での移動」90%が高水準である。

このほか、「食事の支度」は、『自分でできる』75.5%、『人の助けがあればできる』9.7%、『自分ではできない』が9%と他に比べるとやや高い。「掃除や洗濯」では、『自分でできる』83.9%、『人の助けがあればできる』6%、『自分ではできない』4.1%である。「庭仕事や力仕事」は、『自分でできる』が65.6%と他に比べると低く、『人の助けがあればできる』17.7%、『自分ではできない』8.9%となっている。

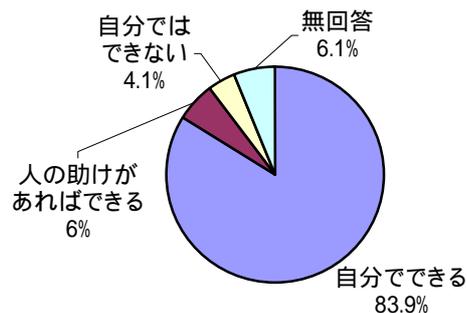
#### ア.食事の支度

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	自分でできる	594	75.5
2	人の助けがあればできる	76	9.7
3	自分ではできない	71	9
	無回答	46	5.8
	全体	787	100



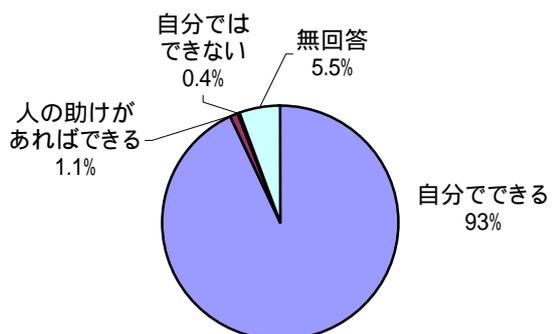
#### イ.掃除や洗濯

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	自分でできる	660	83.9
2	人の助けがあればできる	47	6
3	自分ではできない	32	4.1
	無回答	48	6.1
	全体	787	100



#### ウ.入浴や洗髪

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	自分でできる	732	93
2	人の助けがあればできる	9	1.1
3	自分ではできない	3	0.4
	無回答	43	5.5
	全体	787	100



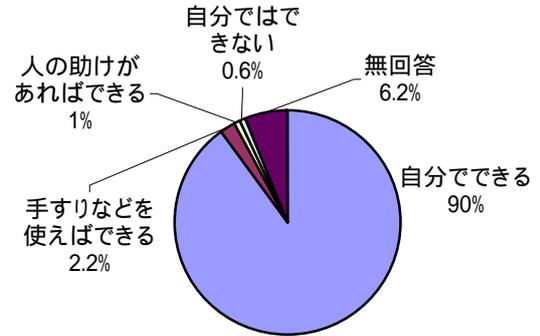
エ.庭仕事や力仕事

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	自分でできる	516	65.6
2	人の助けがあればできる	139	17.7
3	自分ではできない	70	8.9
	無回答	62	7.9
	全体	787	100



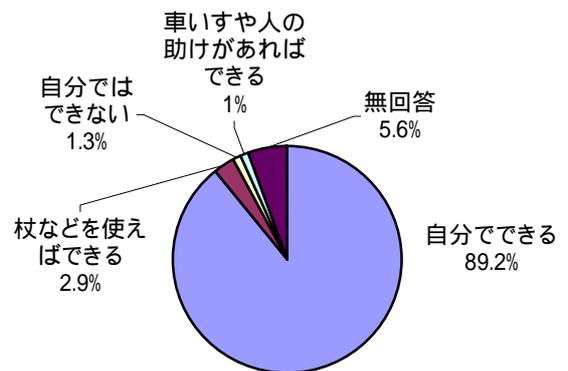
オ.家の中での移動

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	自分でできる	708	90
2	手すりなどを使えばできる	17	2.2
3	人の助けがあればできる	8	1
4	自分ではできない	5	0.6
	無回答	49	6.2
	全体	787	100



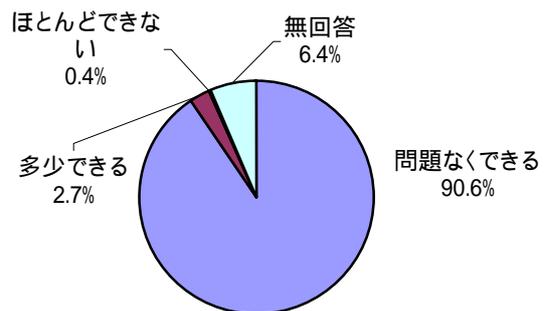
カ.買い物などの外出

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	自分でできる	702	89.2
2	杖などを使えばできる	23	2.9
3	車いすや人の助けがあればできる	8	1
4	自分ではできない	10	1.3
	無回答	44	5.6
	全体	787	100



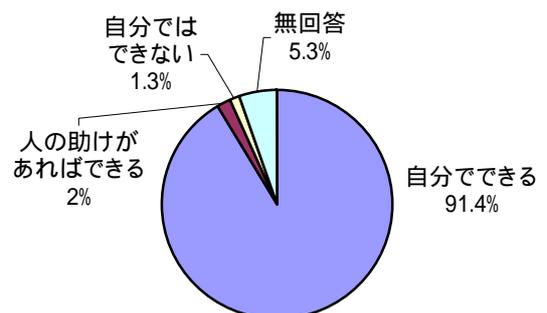
キ.会話・意思疎通

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	問題なくできる	713	90.6
2	多少できる	21	2.7
3	ほとんどできない	3	0.4
	無回答	50	6.4
	全体	787	100



ク.金銭管理

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	自分でできる	719	91.4
2	人の助けがあればできる	16	2
3	自分ではできない	10	1.3
	無回答	42	5.3
	全体	787	100



地域で困ること・不便に感じること

問11 地元地域のこと、困ること・不便に感じることはありますか。( は3つまで)	
1. 交通の便が悪い	7. 自由に使える公共的な施設がない・遠い
2. 山坂が多く、歩くのが大変	8. スポーツ活動の場がない・遠い
3. 買い物の場所がない・遠い	9. 高齢者の集いの場がない
4. 医療機関がない・遠い	10. 住民同士の思いやり意識が感じられない
5. 福祉施設がない・遠い	11. その他( )
6. 治安・風紀が悪い	12. 特にない

地域で困ること・不便に感じること について聞いたところ、「特にない」が 37.5%で最も多かった。これに次いで、「医療機関がない・遠い」17.7%、「買い物の場所がない・遠い」15.4%、「山坂が多く、歩くのが大変」15%が上位に挙げられている。

このほか、「住民同士の思いやり意識が感じられない」12.5%、「交通の便が悪い」11.2%、「自由に使える公共施設がない・遠い」9.1%、「福祉施設がない・遠い」7.4%、「高齢者の集いの場がない」5.5%などがみられる。

地元で困ること・不便に感じること(複数回答)

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	交通の便が悪い	88	11.2
2	山坂が多く、歩くのが大変	118	15
3	買い物の場所がない・遠い	121	15.4
4	医療機関がない・遠い	139	17.7
5	福祉施設がない・遠い	58	7.4
6	治安・風紀が悪い	9	1.1
7	自由に使える公共施設がない・遠い	72	9.1
8	スポーツ活動の場がない・遠い	40	5.1
9	高齢者の集いの場がない	43	5.5
10	住民同士の思いやり意識が感じられない	98	12.5
11	その他	28	3.6
12	特にない	295	37.5
	無回答	92	11.7
	全体	787	100



年齢別にみると、74歳以下で「医療機関がない・遠い」、「自由に使える公共施設がない・遠い」、「スポーツ活動の場がない・遠い」を挙げている人の割合がやや高い。

居住圏域別では、西部圏域で「交通の便が悪い」、東部圏域では「医療機関がない・遠い」の割合がやや高くなっている。

上段:人  
下段:%

	全体	地域で困ること・不便に感じること(複数回答)													
		交通の便が悪い	が山坂が大変が多く、歩きの	い買・い物の場所がない	い医療機関がない・遠い	い福祉施設がない・遠い	治安・風紀が悪い	設がない・遠い	自由に使える公共施設	ない・遠い	ないスポーツ活動の場がない	高齢者の集いの場がない	意識が感じられない	住民同士の思いやりの	その他
合計	787	88	118	121	139	58	9	72	40	43	98	28	295	92	
	100	11.2	15	15.4	17.7	7.4	1.1	9.1	5.1	5.5	12.5	3.6	37.5	11.7	
年齢	65～69歳	252	30	32	36	52	17	4	24	19	14	26	10	104	18
		100	11.9	12.7	14.3	20.6	6.7	1.6	9.5	7.5	5.6	10.3	4	41.3	7.1
	70～74歳	231	27	32	40	53	22	4	26	15	12	37	13	66	23
		100	11.7	13.9	17.3	22.9	9.5	1.7	11.3	6.5	5.2	16	5.6	28.6	10
	75～79歳	158	15	31	21	14	9	1	15	2	7	19	2	62	29
		100	9.5	19.6	13.3	8.9	5.7	0.6	9.5	1.3	4.4	12	1.3	39.2	18.4
	80～84歳	93	8	12	16	14	6	0	4	2	6	9	3	41	13
100		8.6	12.9	17.2	15.1	6.5	0	4.3	2.2	6.5	9.7	3.2	44.1	14	
85～89歳	41	4	6	3	4	3	0	2	1	2	4	0	18	7	
	100	9.8	14.6	7.3	9.8	7.3	0	4.9	2.4	4.9	9.8	0	43.9	17.1	
90歳以上	9	4	3	4	2	1	0	1	0	2	2	0	4	0	
	100	44.4	33.3	44.4	22.2	11.1	0	11.1	0	22.2	22.2	0	44.4	0	
居住圏域	東部	411	29	54	54	83	30	8	40	14	28	48	16	160	50
		100	7.1	13.1	13.1	20.2	7.3	1.9	9.7	3.4	6.8	11.7	3.9	38.9	12.2
西部	373	59	62	66	56	28	1	32	25	15	49	12	135	40	
	100	15.8	16.6	17.7	15	7.5	0.3	8.6	6.7	4	13.1	3.2	36.2	10.7	

## 5 介護が必要になったときの暮らし方についての意向

### 生活設計の決定状況

問12 あなたの今後の生活設計についておたずねします。

(1) 将来介護が必要となったとき、どうするか決めてありますか。( は1つ)

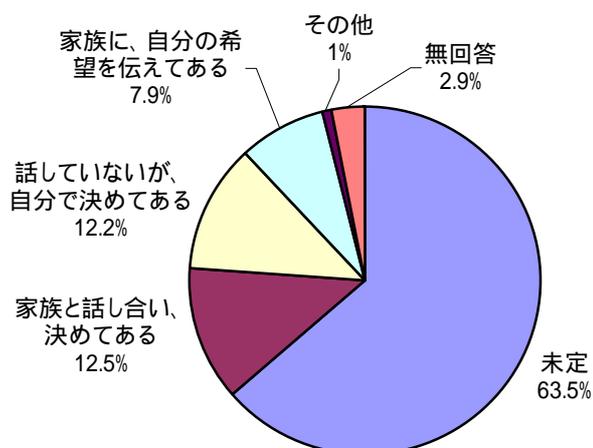
1. 家族と話し合い、どうするか決めてある
2. 家族に、自分の希望を伝えてある
3. 家族には話していないが、自分でだいたい決めてある
4. 未定(その時になってみないとわからない)
5. その他( )

介護が必要になったときのことについて、まず、生活設計の決定状況 について聞いたところ、約6割が「未定」と答えた。

「家族と話し合い、どうするか決めてある」12.5%、「家族には話していないが、自分でだいたい決めてある」12.2%と、『決めてある』との回答は約25%みられる。また、「家族に、自分の希望を伝えてある」は7.9%であった。

生活設計の決定状況

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	家族と話し合い、どうするか決めてある	98	12.5
2	家族に、自分の希望を伝えてある	62	7.9
3	家族には話していないが、自分でだいたい決めてある	96	12.2
4	未定	500	63.5
5	その他	8	1
	無回答	23	2.9
	全体	787	100



年齢別にみると、85～89歳の人で、「家族と話し合い、どうするか決めてある」、「家族には話していないが、自分でだいたい決めてある」との回答の割合が、やや高い。

同居状況でみると、同居している家族がいる場合、「家族と話し合い、どうするか決めてある」人が多く、ひとり暮らしの場合では、「家族には話していないが、自分でだいたい決めてある」人の割合が高くなっている。

上段:人  
下段:%

		全体	生活設計の決定状況					
			家族と話し 合い決めて ある	家族に、自 分の希望を 伝えてある	話してい ないが、自分 で決めてある	未定	その他	無回答
合計		787	98	62	96	500	8	23
		100	12.5	7.9	12.2	63.5	1	2.9
年 齢	65～69歳	252	21	18	33	172	3	5
		100	8.3	7.1	13.1	68.3	1.2	2
	70～74歳	231	33	22	31	136	1	8
		100	14.3	9.5	13.4	58.9	0.4	3.5
	75～79歳	158	23	8	15	107	1	4
		100	14.6	5.1	9.5	67.7	0.6	2.5
	80～84歳	93	12	9	9	61	1	1
	100	12.9	9.7	9.7	65.6	1.1	1.1	
85～89歳	41	7	2	7	18	2	5	
	100	17.1	4.9	17.1	43.9	4.9	12.2	
90歳以上	9	0	2	1	6	0	0	
	100	0	22.2	11.1	66.7	0	0	
同 居 状 況	同居家族あり	673	87	52	74	436	7	17
		100	12.9	7.7	11	64.8	1	2.5
ひとり暮らし	107	8	9	21	62	1	6	
	100	7.5	8.4	19.6	57.9	0.9	5.6	

介護が必要になったときの生活の場の希望

(2) 介護が必要になったときの生活の場所として、どんなところを望みますか。  
 (あてはまるものすべてに )

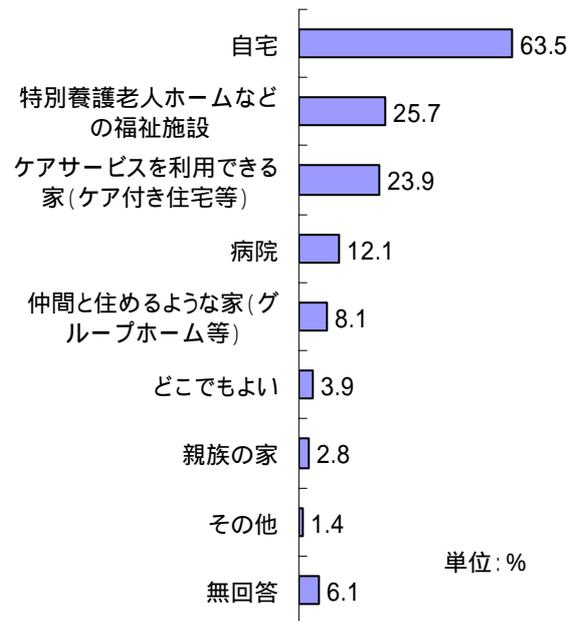
1. 自宅  
 2. 親族の家  
 3. 仲間と住めるような家(グループホーム等)  
 4. ケアサービスを利用できる家(ケア付き住宅等)

5. 特別養護老人ホームなどの福祉施設  
 6. 病院  
 7. その他( )  
 8. どこでもよい

介護が必要になったときの生活の場の希望 について聞いたところ、「自宅」が63.5%で最も多く、次いで「特別養護老人ホームなどの福祉施設」25.7%、「ケアサービスを利用できる家(ケア付き住宅等)」23.9%などが上位に挙げられている。

介護が必要になったときの生活の場の希望  
(複数回答)

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	自宅	500	63.5
2	親族の家	22	2.8
3	仲間と住めるような家(グループホーム等)	64	8.1
4	ケアサービスを利用できる家(ケア付き住宅等)	188	23.9
5	特別養護老人ホームなどの福祉施設	202	25.7
6	病院	95	12.1
7	その他	11	1.4
8	どこでもよい	31	3.9
	無回答	48	6.1
	全体	787	100



同居状況でみると、同居している家族がいる人で「自宅」との回答の割合が高くなっている。

上段: 人  
下段: %

		要介護時の希望生活場所(複数回答)									
		自宅	親族の家	仲間と住めるような家	ケアサービスを利用できる家	特別養護老人ホームなどの福祉施設	病院	その他	どこでもよい	無回答	
合計	全体	787	500	22	64	188	202	95	11	31	48
		100	63.5	2.8	8.1	23.9	25.7	12.1	1.4	3.9	6.1
同居状況	同居家族あり	673	443	17	49	159	170	84	10	27	34
		100	65.8	2.5	7.3	23.6	25.3	12.5	1.5	4	5.1
	ひとり暮らし	107	53	5	14	27	28	11	1	3	14
		100	49.5	4.7	13.1	25.2	26.2	10.3	0.9	2.8	13.1

要介護時の希望居住場所

(3) あなたは、今後、どこで暮らしたいですか。( は1つ)

1. できればこのまま逗子で暮らし続けたい
2. できれば市外に住み替えたい
3. 特にこだわらない

(4)【「1. できればこのまま逗子で暮らし続けたい」とお答えの方におたずねします。】

暮らし続けたい主な理由はなんですか。( は2つまで)

1. 自宅があるから・故郷だから
2. 生活しやすいから
3. 健康上の理由
4. 環境変化への対応に自信がない
5. 経済的な理由

(5)【「2. できれば市外に住み替えたい」とお答えの方におたずねします。】

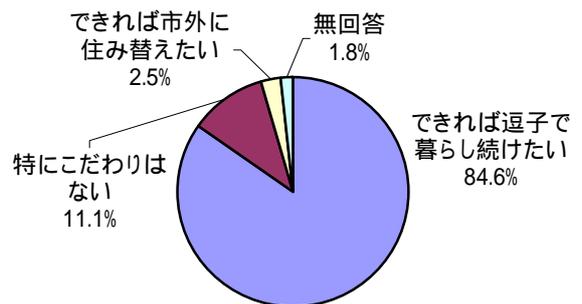
住み替えたい主な理由はなんですか。( は2つまで)

1. 故郷に帰りたい
2. 生活しにくいから
3. 健康上の理由
4. 家族の都合(仕事・介護・子育て等)
5. 経済的な理由
6. その他( )

要介護時の希望居住場所 については、「できれば逗子で暮らし続けたい」が 84.6%で最も多いが、「特にこだわりはない」も 11.1%みられる。

要介護時の希望居住場所

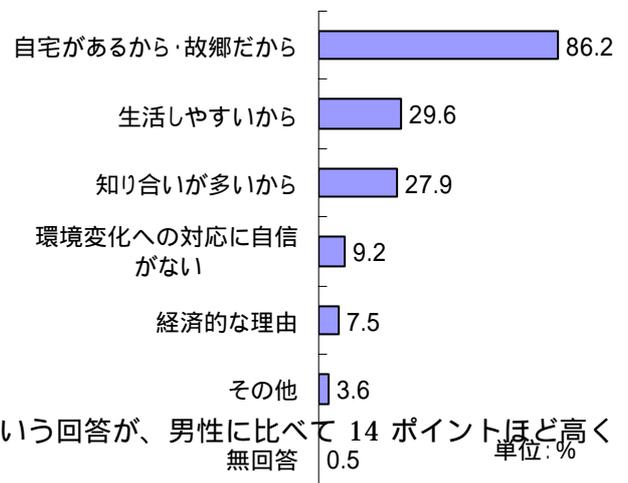
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	できれば逗子で暮らし続けたい	666	84.6
2	できれば市外に住み替えたい	20	2.5
3	特にこだわりはない	87	11.1
	無回答	14	1.8
	全体	787	100



「できればこのまま逗子で暮らし続けたい」と回答した 666 人に対して、逗子で暮らし続けたい理由 について聞いたところ、「自宅があるから・故郷だから」が 86.2%で最も多く、次いで「生活しやすいから」29.6%、「知り合いが多いから」27.9%となっている。このほか、「環境変化への対応に自信がない」9.2%、「経済的な理由」7.5%である。

逗子で暮らし続けたい理由(複数回答) \* 該当者 = 666人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	自宅があるから・故郷だから	574	86.2
2	生活しやすいから	197	29.6
3	知り合いが多いから	186	27.9
4	環境変化への対応に自信がない	61	9.2
5	経済的な理由	50	7.5
6	その他	24	3.6
	無回答	3	0.5
	全体	666	100



性別でみると、女性では「知り合いが多いから」という回答が、男性に比べて 14 ポイントほど高く 単位:%

なっている。男性では、「自宅があるから・故郷だから」、「生活しやすいから」、「経済的な理由」が女性に比べてやや多くみられる。

同居状況でみると、ひとり暮らしの人では、40.9%が「知り合いが多いから」を挙げている。同居している家族がいる人では、「自宅があるから・故郷だから」が、ひとり暮らしの人と比べて多くみられる。

上段:人  
下段:%

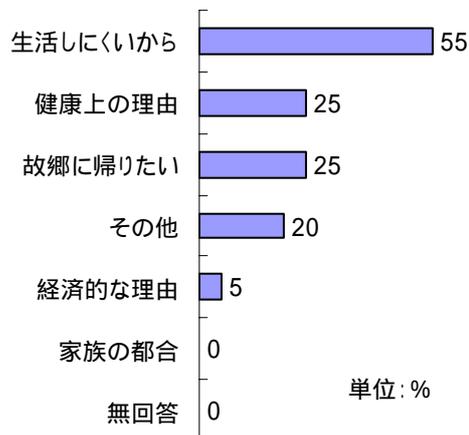
		全体	逗子で暮らし続けたい理由(複数回答)						無回答
			自宅があるから・故郷だから	生活しやすいから	知り合いが多いから	環境変化への対応に自信がない	経済的な理由	その他	
合計		666	574	197	186	61	50	24	3
		100	86.2	29.6	27.9	9.2	7.5	3.6	0.5
性別	男	290	257	89	59	24	25	11	2
		100	88.6	30.7	20.3	8.3	8.6	3.8	0.7
性別	女	371	312	106	126	37	25	12	1
		100	84.1	28.6	34	10	6.7	3.2	0.3
同居状況	同居家族あり	573	507	168	149	49	46	23	3
		100	88.5	29.3	26	8.6	8	4	0.5
	ひとり暮らし	88	63	28	36	12	4	1	0
		100	71.6	31.8	40.9	13.6	4.5	1.1	0

「できれば市外に住み替えたい」と回答した 20 人に対して、住み替えたい理由を聞いたところ、「生活がしにくいから」55%、「健康上の理由」及び「故郷に帰りたい」各 25%などとなっている。

住み替えたい主な理由(複数回答)

\* 該当者 = 20人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	故郷に帰りたい	5	25
2	生活しにくいから	11	55
3	健康上の理由	5	25
4	家族の都合(仕事・介護・子育て等)	0	0
5	経済的な理由	1	5
6	その他	4	20
	無回答	0	0
	全体	20	100



多様な生活の場の利用意向

(6) あなたは、次の ~ のような生活の場について、どのように考えますか。

高齢者対応の賃貸住宅（シルバーハウジング等）

高齢者対応の生活支援施設（軽費老人ホーム、ケアハウス）

認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

有料老人ホーム等

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

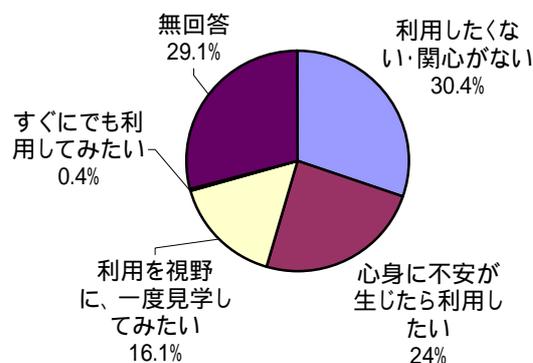
(7) あなたは、(6)の ~ の施設のうち、一番利用してみたい施設はどれですか。（ は1つ）

多様な生活の場の利用意向 について ~ の施設種別に聞いたところ、いずれも「すぐにも利用してみたい」との回答は少ないが、必要になった際の利用を視野に入れている人が多いことがわかった。

『高齢者対応の賃貸住宅』については、「利用したくない・関心がない」が30.4%で最も多く、「心身に不安が生じたら利用したい」24%、「将来の利用を視野に、一度見学してみたい」16.1%と続いた。

高齢者対応の賃貸住宅

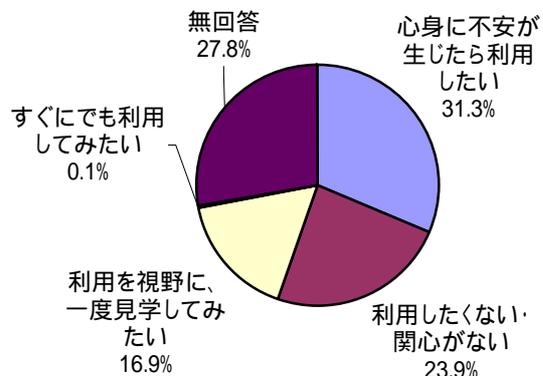
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	すぐにも利用してみたい	3	0.4
2	利用を視野に、一度見学してみたい	127	16.1
3	心身に不安が生じたら利用したい	189	24
4	利用したくない・関心がない	239	30.4
	無回答	229	29.1
	全体	787	100



『高齢者対応の生活支援施設（軽費老人ホーム、ケアハウス）』については、「心身に不安が生じたら利用したい」が31.3%で最も多く、次いで「利用したくない・関心がない」23.9%、「将来の利用を視野に、一度見学してみたい」16.9%となっている。

高齢者対応の生活支援施設

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	すぐにも利用してみたい	1	0.1
2	利用を視野に、一度見学してみたい	133	16.9
3	心身に不安が生じたら利用したい	246	31.3
4	利用したくない・関心がない	188	23.9
	無回答	219	27.8
	全体	787	100

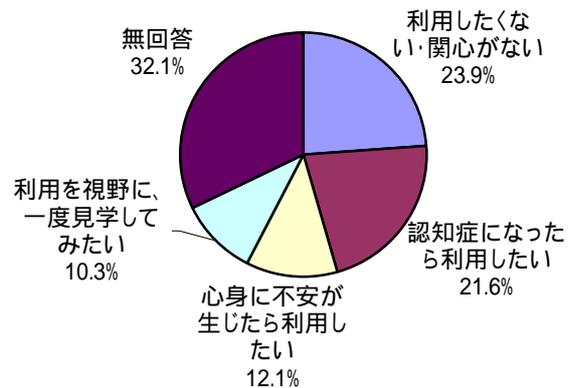


『認知症対応型共同生活介護（グループホーム）』については、「利用したくない・関心がない」23.9%、

「認知症になったら利用したい」21.6%、「心身状況に不安が生じたら利用したい」12.1%、「将来の利用を視野に、一度見学してみたい」10.3%である。

#### 認知症対応型共同生活介護

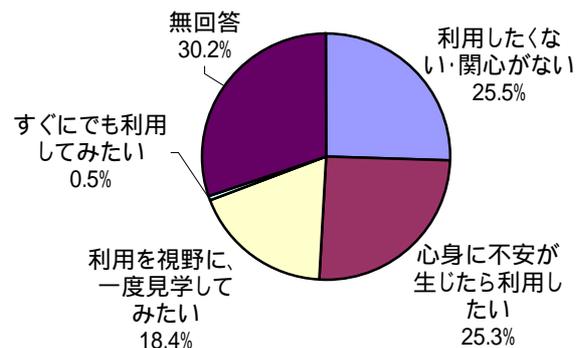
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	すぐにでも利用してみたい	0	0
2	利用を視野に、一度見学してみたい	81	10.3
3	心身に不安が生じたら利用したい	95	12.1
4	認知症になったら利用したい	170	21.6
5	利用したくない・関心がない	188	23.9
	無回答	253	32.1
	全体	787	100



『有料老人ホーム等』については、「利用したくない・関心がない」25.5%、「心身状況に不安が生じたら利用したい」25.3%、「将来の利用を視野に、一度見学してみたい」18.4%であった。

#### 有料老人ホーム等

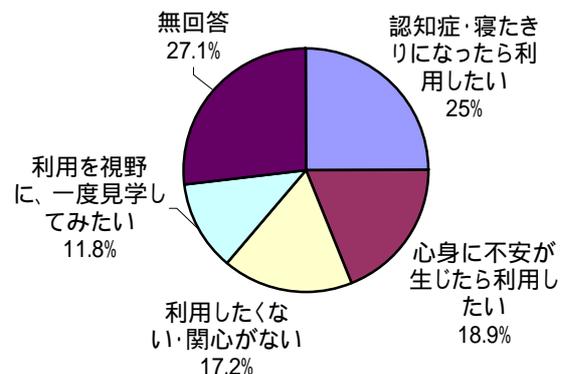
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	すぐにでも利用してみたい	4	0.5
2	利用を視野に、一度見学してみたい	145	18.4
3	心身に不安が生じたら利用したい	199	25.3
4	利用したくない・関心がない	201	25.5
	無回答	238	30.2
	全体	787	100



『介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）』については、「認知症・寝たきりになったら利用したい」25%、「心身状況に不安が生じたら利用したい」18.9%、「将来の利用を視野に、一度見学してみたい」11.8%であり、「利用したくない・関心がない」は17.2%で相対的に低くなっている。

#### 介護老人福祉施設

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	利用を視野に、一度見学してみたい	93	11.8
2	心身に不安が生じたら利用したい	149	18.9
3	認知症・寝たきりになったら利用したい	197	25
4	利用したくない・関心がない	135	17.2
	無回答	213	27.1
	全体	787	100

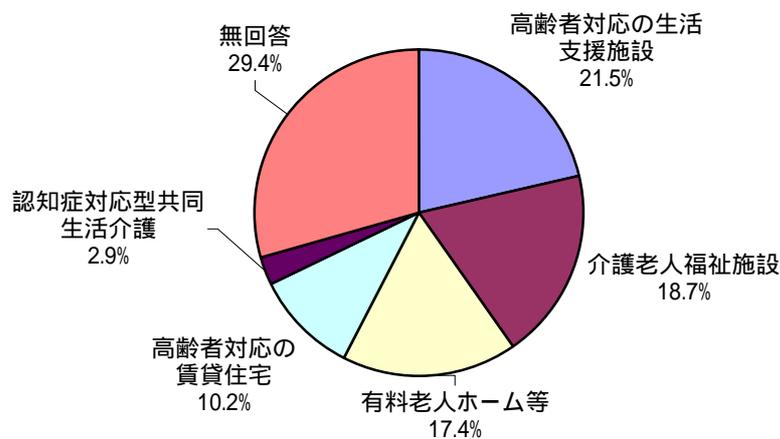


一番利用してみたい施設 について聞いたところ、「高齢者対応の生活支援施設」21.5%が最も多

く、次いで「介護老人福祉施設」18.7%、「有料老人ホーム等」17.4%、「高齢者対応の賃貸住宅」10.2%となっており、「認知症対応型共同生活介護」は2.9%にとどまっている。

(7)一番利用してみたい施設

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	高齢者対応の賃貸住宅	80	10.2
2	高齢者対応の生活支援施設	169	21.5
3	認知症対応型共同生活介護	23	2.9
4	有料老人ホーム等	137	17.4
5	介護老人福祉施設	147	18.7
	無回答	231	29.4
	全体	787	100



「一番利用してみたい施設」を選んだ理由（自由記述）

高齢者対応の賃貸住宅(シルバーハウジング等)

自立した生活

- 一人での日常生活が困難になり、また家族との同居も事情でできにくいとき、でもある程度は自立した生活（助けを借りて）がしたいから。
- 心身に不安を生じたとき対応してくれそう。老人ホームや介護施設では個人の部屋・スペースが狭いので。
- 自活できる。適度なプライバシーが守られそうな感じがする。
- 個室だから。
- できるだけ自分の力で生活したい。
- 共同生活には自信がない。
- まわりにあまり気兼ねなく、お世話を受けながら、安心して過ごすことができそうだから。
- 自分なりの生活には一番良いのではないかと考えたから。
- 自分に生活意識があるうちは、安心して自由に生活できそうである。
- 一人暮らしになったら、安心して暮らせるかなと思うから。
- 人びとに気がねせず、自由に生活できること。

- 自立していたいから。
- 費用に負担がないこと。自立していけるよう配慮されていること。
- 生活がしやすい。
- できるだけ他人のお世話にならずに生活してみたい。
- 独身のため、周りに迷惑がかけられない。

#### 家族などへの負担

- 一人になったときに子どもに負担をかけることなく生活していくことを考えて。
- 子どもたちにあまり迷惑をかけたくない。
- 子どもに迷惑をかけたくないから。

#### サービスの内容など

- 経費は他より多くかかるが、サービス内容が充実していると思うので。
- 適当と思うから。
- 高齢者対応の住宅を建てることは難しいので、自分たちが健康であれば、設備の整ったところで安心して暮らすためにもいいのではないかと思う。
- 同じような年齢の者同士で話したり遊んで過ごしたい。
- 生活指導、相談等が受けられるから。
- 高齢者が利用できる賃貸住宅は、めったにないと思われるので。

#### 経済的な理由

- 一番良いのは有料ホームだと思うが、経済的に無理かなと思うから。
- 年金生活ができるような状況。
- 入居するにあたって、まず賃貸住宅の料金が、まったく見当つきません。その判断に応じて、いろいろと先のことを考えたいと思います。

#### その他

- 現在の自家が、立地条件が不便であるため。
- 公営の賃貸住宅という点で経済的に可能かどうか内容的に受け入れられるかということを見学してみたいと思います。
- 今は夫婦ともに健康ですので介護を受ける実感がない。
- 現在、比較的健康的であるため。
- 見学してからでないと、はっきり分からない。
- 通常の生活ができるときから利用ができ、しかもできれば介護が必要となっても、あるいは認知症になっても各種の支援が受けられる複合的な機能をもった総合的施設が必要なのではと思います。加齢とともに症状は変化することを想定すると、どれか一つの施設を選ぶことはできない。

## 高齢者対応の生活支援施設(軽費老人ホーム、ケアハウス)

### 経済的な理由 (括弧内は同様の回答数)

- 経済的な理由、軽費だから。(11)
- 年金内で生活したい(できる)から。(6)
- できる限り自分で生活していきたいが、心身の状況が思うように動けなくなりそうな状態になったとき、軽費の上、お互いにケアしながら生活ができ、しかも支援(サポート体制)が受けられること。
- 同居する娘に負担をかけたくないので、自分で支払える程度の施設に面倒を見てもらうのがよいと思う。認知症になった場合は家族の判断にまかせる。
- 手軽と考えられるから。
- 安く支援が得られそうだから。
- 将来利用するとして、軽費のできるのですしたら助かりますので、一応選んでみました。
- 施設の違いがまだよく理解できていませんが、なるべく経済的負担のないことが第一条件です。
- 年金生活ゆえ、費用が払えるかが心配であり、経費の比較的かからない所を選んでしまう。
- 今後の健康に関して低予算で。
- できるだけ自立して生活したいのですが、もし一人になって体に不安があるとき、軽費であると助かる。
- 家族に負担をかけられない。経済的に不安なので、軽費であることが条件。
- 余裕のある老後ではないため、経費の少ないところを希望します。
- 快適な有料老人ホームが理想であるが、経済的に無理なため。
- 健康面、経済面で軽費で入居できて、ある程度日常生活の支援を受けられるから。

### 家族などへの負担

- 家庭の事情で家族と同居できなくなったとき利用したい。
- そのときにならないと分からないが、家族の負担を軽くするため。家族の意向もあるため、本当のところ、はっきりとは言えない。
- まだ実感はありませんが、いろいろと見学して、なるべく家で家族の重荷になりたくないの、専門家のいるところに入りたい。しかしなるべく夫婦で一緒に元気で自宅にいたい。
- 経済的・身体的に家族に迷惑をかけないようにしたいため。
- なるべく子どもの世話にはなりたくない。自分のことは、できるだけ自分でやって生きていきたい。
- 家族に迷惑をかけたくないから。年金で生活しているという経済的な条件もある。
- 子どもがいないので、他人(親戚の人たち)に迷惑をかけずに暮らしたい。

### 自立生活への支援、入所者との交流など

- 安らかに静かな生活ができそうな感じ。
- 認知症となった場合は家族に負担をかけるが、できるだけ自宅で最期を迎えたい。しかし、年老いてマシヨンの一人暮らしはさびしいので選びました。今から常に感謝の気持ちを述べるように心がけております。
- 日常生活の支援を受けられるから。
- できれば利用したくないが、最悪のとき、日常生活に支援していただければと思う。
- 通常は自立した生活をし、必要なときに必要な支援を受けたい。
- 毎日沈んだような人生だけは送りたい。老人ホームなどでの振れ合いとならば、お互い毎日を話し合いの中で過ごすことができているのではないかと。逗子にはそのような雰囲気あり。
- 食事洗濯等ができないため、それを補佐してくれる施設と思うから。他のことは、現在、自分でできる。

- 自分が1人になったとき、体が動くうちは手助けを受けながら、なるべく自宅で暮らしたいが、それも難しくなったら、近くに助けを受けられる所があればよい。
- 個人生活をできるだけわずらわせられないほうがよい。他人との関係ができるだけ軽いほうがよい。
- 生活支援に。
- 周りに迷惑をなるべくかけず、かつ自立した生活を送りたい。
- 日常生活について最も自由度が高いから。
- できるだけ自立的に生活したいと思うから。
- あまり他人の世話になりたくない。

#### その他

- 自分の将来、どんな身体的状況にあるか分からないので、それぞれの認知症、アルツハイマー等になったら、それに対応できるところが良いと思う。
- 安心して利用できそうなので。
- なんとなく。実際にどんなところからよく分からない。
- 施設の実状がどうなっているのか分からない。
- 今は関心ないが、将来、必要に応じて。
- まだ、なんとなくで分からないが。
- 軽費老人ホームを見学したい。
- 現在は心身ともに健康ですが、年齢のことを考えると心細い。
- 施設等のケア内容を見てみたい。
- まだあまり考えていないので理由は書けません。
- 一人で生活が難しくなった場合は、やむをえないので。
- 高齢を向かえるにあたり、常に健康体とは限らない。転ばぬ先の杖として、心の準備を心がけています。

認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
-----------------------

#### 家族などの負担

- 家族に負担をかけたくないから。
- 家族に迷惑をかけたくないから。
- 身の回りに迷惑をかけるから。
- 認知症になったら家族に迷惑をかけるから。
- 認知症になった場合、自分自身で判断することができず、家族に迷惑をかけるので。
- 介護側(とくに親族)の負担を軽減できる。
- 自分のため、家族の無理・不安を除くため。

#### 専門的な介護など

- 少人数での生活のため、細かな点で気を配ってくれると思われる。
- 認知症になったら、自分の意志ではどうにもならないから。
- (認知症は)一番怖い病気だと思っています。だから選びました。
- 認知症になったら、家族も対応に苦労するだろうから、専門医に委ねたい。

- 認知症になり、自分が分からなくなってしまったときには、お世話になりたいと思います。
- 認知症になったら仕方がないから。
- 安心だから。

## 有料老人ホーム等

### 家族などへの負担

- まだ先のことは分からないのですが、まだ自分がはっきりしているときに、配偶者が亡くなったときにどうするか考えると、あまり世話をかけるようになってからは入りづらいので。
- 一人になったときは遠方の子供に頼れないかと思い、手ごろな有料老人ホームにと思います。
- 家族に迷惑をかけないような生活ができたらと思っているので（費用にもよるが）。
- 家族に労力の負担をかけたくないと考えたとき、有料老人ホームに入れたらと思う。
- 買い物、食事の用意ができなくなったとき、子どもに迷惑をかけたくないので。
- 子どもがいないので、体の状況により、有料老人ホームに夫婦で入ることにしている。
- 家族、子どもに負担をかけたくない。
- 他人に面倒や迷惑をかけることが性格的に嫌なので、小額であっても有料の方が良い。
- 家族にあまり迷惑をかけないようにしたい。静かな老後を送りたい。同年代の仲間が見つかればと思います。

### 自立した生活、一人でいる時間など

- 他人とあまり交ざりたくないから。
- 生活のレベルを下げたくない。一人でいる時間が大切と考えている。
- 外出・外泊などが自由にできる場所がいい。
- あまり高額なのは困るが、個室であることが魅力。ある程度、自立できて、必要なときの手助けが得られること。
- 個人の自由な生活。
- 今の生活と同じような日常生活を望みたいから（経済が許せば）。
- 状況によりゆっくりしたいと思うから。
- プライバシーが保たれるから。
- ある程度の生活レベルが提供されると思うから。
- 自分自身の希望するところへ入所できそうだから。
- 自由に選択できそうな気がする。
- 体が元気なうちは自由でありたい。自分のことは自分でしたい（食事の支度や身の回りのこと等）。
- 自分と同じような生活環境の人がいるから。
- 日常生活のサービスを受けても、自分の意志でその他のことは行動できるよう、束縛されたくないから。
- 自由な生活ができそうに思える。しかし経済的、身体的に余裕がないと不可能なことかもしれません。
- 不安はある程度なくなり、しかも自由度もある程度維持される。
- 一定度の独立と気持ちのこもった介護等を期待できる。
- 個人のプライバシーが保たれそうだから。
- 経済的に可能な限り、快適な施設で過ごしたい。
- お金を出せば自由が得られる。しかし可能かどうかは、将来の経済的状況次第であると考える。
- 費用にもよるが、ゆっくり余生を送ることができるのであればいいと思う。

- 有料であることで、少しは制限が緩やかではないか。
- 住み心地が良いと思う。

#### サービス・施設の内容など

- 不安なく過ごせると思う。
- 設備やサービスが良好と思う。
- 母が有料老人ホームを利用したのが良かったから。
- 義母が入っていて、快適そうだから。
- 金銭に余裕があるので、設備とともにケアが親切で行き届いているところなら、遠近にかかわらず利用してもと思う。
- 有料老人ホームだったら介護が手に届くのではないかと思います。
- きれいで対応がよさそうだったから。
- 1人で生活できなくなったとき、一番一般的だから。高齢者対応の賃貸住宅の内容がよく分からない。
- 体の具合による選択の範囲が広いと思われるので。
- 有料であるため、十分な介護が受けられそうだから。
- 公的施設はなかなか入れない。有料老人ホームで自分に合ったものを選びたい。
- 身体に自信が持てなくなったときは、民間の有料老人ホームなどで、食事・医療などのサービスを受け、安心とゆとりの気持ちを持って余生を送れればと思います。
- (入居の必要資金があまり高くないとの前提で) 日常サービス、急病等の対応があり、快適、安心な生活ができそうだから。
- 親が利用している状況を見て。
- 元気な老人と話したい。

#### その他

- 利用料金などの必要な資金の目安として。
- まだ先のことのように、はっきり分からない。
- 妻が先に亡くなり一人となった場合は考えたい(入居を)。
- 現在は体力も精神的にも安定しているが、これから先どうなるか分からないから。
- 私の希望として「有料老人ホーム」にしましたが、経済的に無理です。
- 自分にとって少しでも満足できる生活を望むなら介護設備では無理だろう。しかし、今は営利第一主義の有料老人ホームを選ぶリスクはある。
- 「有料老人ホーム」と「特別養護老人ホーム」以外は内容がよく分からない。前者も病院が併設されていることが条件。介護付老人ホームで自分の部屋で介護を受けられたら良い。
- 友人で利用している人の話では居心地がよく思われるが、問題は経済的なことがあるので、希望だけかもしれない。
- (有料老人ホーム以外の)他の施設のことは、よく分からない。
- 寝たきりになったら特別養護老人ホームにお世話になるとは思いますが、それまでは有料老人ホームが良いと思います。入所費などにもよりますので、決定はできません。
- 実際は迷っている。
- 強いて選びましたが、できれば家族家庭で最期を迎えたいと思います。
- 配偶者が死亡した場合、また両方が超高齢化したときのために。
- 今のところ健康であり、各施設の利用等は頭の中ではありません。一応、有料老人ホームにしたのは、経

済的に余裕があればの話ですが、一番理想と思えたからです。

- 料金を払うことで日常生活に必要なサービスを受けられるなら合理的であるから。
- 配偶者が病弱で頼れない。1人になったときに、(お互い)考えたい。

#### 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)

##### 家族などへの負担

- 家族に迷惑をかけたくないから。
- 費用と環境の面で気になるが家族をしばりたくない。
- 家族の介護は生活の質を乱し家族の健康も乱れる。
- 親が介護するのが無理のため。
- 要介護があり、息子夫婦に迷惑をかけたくない。
- 妻、子ども、孫たちに面倒をかけたくないから。
- 自分の体が不自由になった場合、娘夫婦といえども負担が多くなるので利用させていただくことになるでしょう。
- 寝たきりや認知症になったとき、家族に迷惑をかけたくないから。
- 世話をしてくれる子どもたちに負担をかけたくないから。
- 家族に負担をかけたくないので、気楽に過ごせるところ。
- 家族では対応できない。
- 家族が面倒を見るのが大変になったとき。
- 認知症になった場合、家族では常時介護は難しいと思うので、日常生活介護を受けられる施設を利用したい。
- 親族に迷惑をかけたくない。
- 家族に面倒をかけられないし、費用のことも考えて。
- 家族にあまり負担をかけたくないから。
- 日常生活で常時介護が必要になったとき、かつ家族に頼れない状態のときに利用したい。
- 認知症や寝たきりになったとき、家族に迷惑をかけたくないので。
- 介護を受ける状態になった場合でも、基本的には自宅で介護を受けたい。しかし、介護してくれる人が共倒れになる状態になったときには、お世話になる施設としては一番良いと思う。最期的手段として選ぶなら、当施設が一番良いと考えます。
- 認知症、寝たきりになった場合、家族に負担をかけたくないから。
- 通院ができないような病状になり、家族に負担がかかった場合は、この施設にまかせたいが、できるかぎり健康の維持を続けたい。
- 自宅では介護が困難であれば、施設に入居せざるをえないから。
- 身体が不自由になったら家族と相談のうえ入りたい。家族に迷惑をかけたくない。
- 主人が一時お世話になっており、家族の負担になる場合、入ったほうが良いと思うから。
- 自分で身の回りのことができなくなったとき、また家族の手をかりられなくなったとき。
- 認知症になった場合、家族の負担を考えると。
- 親族の介護は望めないから(障害を持つ子と高齢の配偶者)。

### 介護者の不在

- 将来はどういう気持ちになるか分かりませんが、自分も弱いし、配偶者も高齢であるため、全部をお任せできるところがと思っています。
- 1人になったときに利用したい。
- その頃には面倒を見てくれる家族がいないこと。
- 独身なので介護が必要になった場合は、他に方法が見当たらないと思っています。
- 子どもがいないため、老老介護を極力避けたいから。
- 家族全員が高齢のため特別養護老人ホームを希望します。
- 介護をする人がいないため。

### サービス・施設の内容など

- 公的施設で安心できると思う。
- いろいろの面で介護に目がとどきそう。
- 医療設備、医師常駐のケアハウス。
- 寝たきりや認知症で常時介護が必要となり、自宅での介護が困難となった場合には、看護師、介護福祉士などの専門スタッフの揃っている施設での介護を受けたいと考えている。そのためには、現状以上に施設の介護の質を高める必要がある。
- 安心できるから。
- 身体が不自由となり、やむなく施設に世話になるなら、近くにある施設であれば、家族も楽に会うことができるから。
- 同じ境遇の人たちがいるので、自分自身を卑下することはないと思うから。
- 母が現在、特老にお世話になっています。月2回面会に行き、様子を見てみると、自分もこのようなところで老後を過ごせたら良いなと思っています。
- 介護をよくしてくれそう。
- 一番安心かなと思ったので。
- 日常生活全般にわたって介護を受けられるので安心だから。

### 経済的な理由

- 費用がいくらか安いから。
- 年金生活で生活できる場所だから。
- 利用経費の負担が安いと思われるから。
- 経済的な理由から。
- 経済的に有料老人ホームは困難である。増設してほしい。

### 自分で生活することができなくなったら

- 自分で自分のことができなくなったときは利用させていただきたいと思っています。
- 今は元気で1人自由しているので、あまり他の人たちと付き合いたくないです。
- やむをえない状況になったとき、一番利用しやすそうだから。
- 自宅で介護困難になった場合に一番生活しやすそうだから。ただ問題は経済的に許されればであるが。
- 寝たきりの状態になった場合は利用したい。
- 自分で日常生活ができなくなった場合を考えて選びました。

## その他

- 一番不足して入所が大変だと聞いているので。
- できれば施設より自宅を望んでいるが、まず見学してからだと思っています。家族の意見も参考にしたい。
- 現在では入居までの期間が2~3年の順番待ちがあると思われるので、将来、期間が短縮されて、1年程度で入れるようになれば良いと思う。
- 詳しくは分からないが、よく目にする。
- 何も知らないし分からないので、利用はともかくとして、どういうものか見ておきたい。
- 将来のことを考えると、一番自分にとって必要になってくるかと思うので。
- 以前に見学する機会があったので、それで選びました。
- 社会的に評判が良いと聞いているからです。一応、施設を見学しておきたいと思います。
- 希望条件になんとか適しているかなというぐらいで、はっきりとは言えません。
- 必要性が高いから。
- 現在は健康ですので、今は考えられません。
- 現在健康で過ごしているためあまり考えたくないと思っていましたが、最終的には介護老人福祉施設のお世話になるのではないかと考え選びました。

## その他:(7)には無回答

- どれも選びたくありません。
- まだ実感がなく判断に迷います。
- 安くて快適なところが一番いいのですが、そんなところは望めませんよね。残念です。
- いずれも利用したいとは思わない。
- 将来の利用を視野に、一度見学をしてみたい。
- 施設の特徴、身体状況との対応など、知識不足でよく分かりません。

## 6 保健福祉サービス利用の現状と意向

### (1) 保健福祉サービスの利用の現状と意向

#### 保健福祉サービス

問13 市の高齢者福祉サービスや介護予防サービス、健康診査などの 利用経験と、 将来の利用希望についておたずねします。

(1) 高齢者福祉サービス

(2) 介護予防サービス

(3) 健康診査など

(4) (1)(2)(3)のサービスのうち、特に 役に立つのでもっと充実して欲しいもの、 利用しにくいと思うものがあれば、その名称や内容をお書きください。

充実して欲しいもの                      利用しにくいと思うもの

市の 高齢者福祉サービス について利用経験と将来の利用希望を聞いたところ、以下のような回答状況であった。

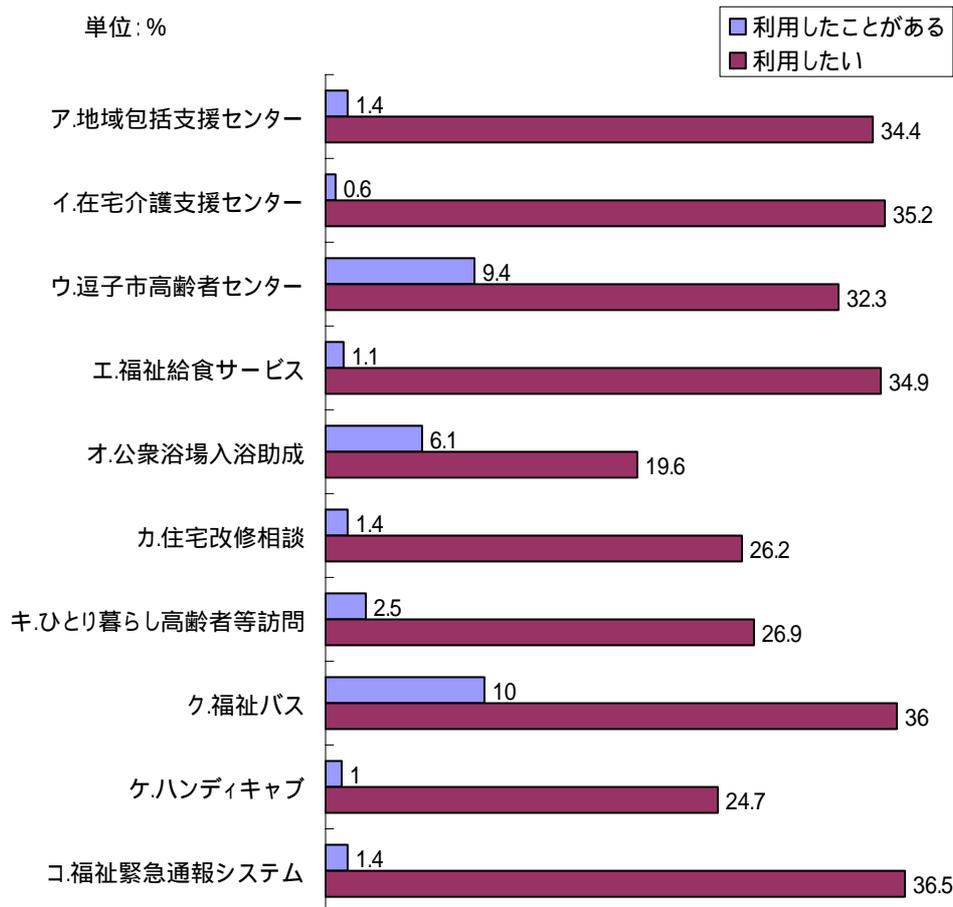
『利用したことがある』サービスは、「福祉バス」10%、「逗子市高齢者センター」9.4%、「公衆浴場入浴助成」6.1%などが挙げられた。『知らなかった』では、「地域包括支援センター」19.4%、「福祉緊急通報システム」16.8%、「ハンディキャブ」14.7%がやや高い。

利用希望は、「福祉緊急通報システム」36.5%、「福祉バス」36%、「在宅介護支援センター」35.2%などであり、全ての項目で利用現状を大きく上回る率で『利用したい』との回答がみられた。

#### 福祉サービスの 利用経験と 利用希望

上段: 人  
下段: %

全体 = 787人	利用経験				利用希望			
	と利 が用 あし たこ	と利 が用 な した こ	た 知 ら な か っ	無 回 答	利 用 し た い	な 利 用 し た く	分 か ら な い	無 回 答
ア.地域包括支援センター	11 1.4	488 62	153 19.4	135 17.2	271 34.4	39 5	292 37.1	185 23.5
イ.在宅介護支援センター	5 0.6	539 68.5	87 11.1	156 19.8	277 35.2	39 5	273 34.7	198 25.2
ウ.逗子市高齢者センター	74 9.4	501 63.7	66 8.4	146 18.6	254 32.3	58 7.4	274 34.8	201 25.5
エ.福祉給食サービス	9 1.1	552 70.1	78 9.9	148 18.8	275 34.9	51 6.5	270 34.3	191 24.3
オ.公衆浴場入浴助成	48 6.1	515 65.4	80 10.2	144 18.3	154 19.6	164 20.8	261 33.2	208 26.4
カ.住宅改修相談	11 1.4	517 65.7	104 13.2	155 19.7	206 26.2	71 9	302 38.4	208 26.4
キ.ひとり暮らし高齢者等訪問	20 2.5	526 66.8	78 9.9	163 20.7	212 26.9	58 7.4	305 38.8	212 26.9
ク.福祉バス	79 10	483 61.4	52 6.6	173 22	283 36	55 7	290 36.8	248 31.5
ケ.ハンディキャブ	8 1	471 59.8	116 14.7	192 24.4	194 24.7	55 7	290 36.8	248 31.5
コ.福祉緊急通報システム	11 1.4	460 58.4	132 16.8	184 23.4	287 36.5	35 4.4	235 29.9	230 29.2



(1) 高齢者福祉サービスの利用経験と利用希望

上段：人  
下段：%

		全体	将来の利用希望			
			利用したい	利用したくない	わからない	無回答
ア.地域包括支援センター	利用したことがある	11	9	1	0	1
		100	81.8	9.1	0	9.1
	利用したことがない	488	202	34	203	49
		100	41.4	7	41.6	10
	知らなかった	153	54	3	79	17
		100	35.3	2	51.6	11.1
イ.在宅介護支援センター	利用したことがある	5	3	0	0	2
		100	60	0	0	40
	利用したことがない	539	237	37	214	51
		100	44	6.9	39.7	9.5
	知らなかった	87	30	1	49	7
		100	34.5	1.1	56.3	8
ウ.逗子市高齢者センター	利用したことがある	74	48	3	13	10
		100	64.9	4.1	17.6	13.5
	利用したことがない	501	182	51	215	53
		100	36.3	10.2	42.9	10.6
	知らなかった	66	19	3	36	8
		100	28.8	4.5	54.5	12.1

		全体	将来の利用希望			
			利用したい	利用したくない	わからない	無回答
エ.福祉給食サービス	利用したことがある	9	5	0	0	4
		100	55.6	0	0	44.4
	利用したことがない	552	237	47	215	53
		100	42.9	8.5	38.9	9.6
	知らなかった	78	28	3	42	5
		100	35.9	3.8	53.8	6.4
オ.公衆浴場入浴助成	利用したことがある	48	28	5	6	9
		100	58.3	10.4	12.5	18.8
	利用したことがない	515	111	139	206	59
		100	21.6	27	40	11.5
	知らなかった	80	13	17	41	9
		100	16.3	21.3	51.3	11.3
カ.住宅改修相談	利用したことがある	11	8	0	1	2
		100	72.7	0	9.1	18.2
	利用したことがない	517	156	64	241	56
		100	30.2	12.4	46.6	10.8
	知らなかった	104	36	6	52	10
		100	34.6	5.8	50	9.6
キ.ひとり暮らし高齢者等訪問	利用したことがある	20	14	0	4	2
		100	70	0	20	10
	利用したことがない	526	176	52	238	60
		100	33.5	9.9	45.2	11.4
	知らなかった	78	16	4	51	7
		100	20.5	5.1	65.4	9
ク.福祉バス	利用したことがある	79	59	1	5	14
		100	74.7	1.3	6.3	17.7
	利用したことがない	483	192	51	183	57
		100	39.8	10.6	37.9	11.8
	知らなかった	52	26	2	20	4
		100	50	3.8	38.5	7.7
ケ.ハンディキャブ	利用したことがある	8	6	0	0	2
		100	75	0	0	25
	利用したことがない	471	151	47	214	59
		100	32.1	10	45.4	12.5
	知らなかった	116	30	6	67	13
		100	25.9	5.2	57.8	11.2
コ.福祉緊急通報システム	利用したことがある	11	8	0	0	3
		100	72.7	0	0	27.3
	利用したことがない	460	209	29	170	52
		100	45.4	6.3	37	11.3
	知らなかった	132	59	5	56	12
		100	44.7	3.8	42.4	9.1

介護予防サービス についても、利用経験は低いが、全般的に、利用希望が高くなっている。

『利用したことがある』サービスは、「食事相談・健診結果相談」6.4%、「健康相談」3.8%、「健康教育」3.6%、「筋力アップ教室」3%である。

『知らなかった』では、「口腔機能改善教室」19.7%、「筋力アップ教室」19.1%、「機能訓練教室」17.3%などが高い。その他の項目も、『知らなかった』が1割以上の比率で見られる。

一方、利用希望については、「健康相談」40.7%が最も多く、次いで「健康教育」34.4%、「水中運動教室」31.3%、「食事相談・健診結果相談」30.6%、「筋力アップ教室」28.6%など、健康づくりに関わる事業へのニーズが高くなっている。

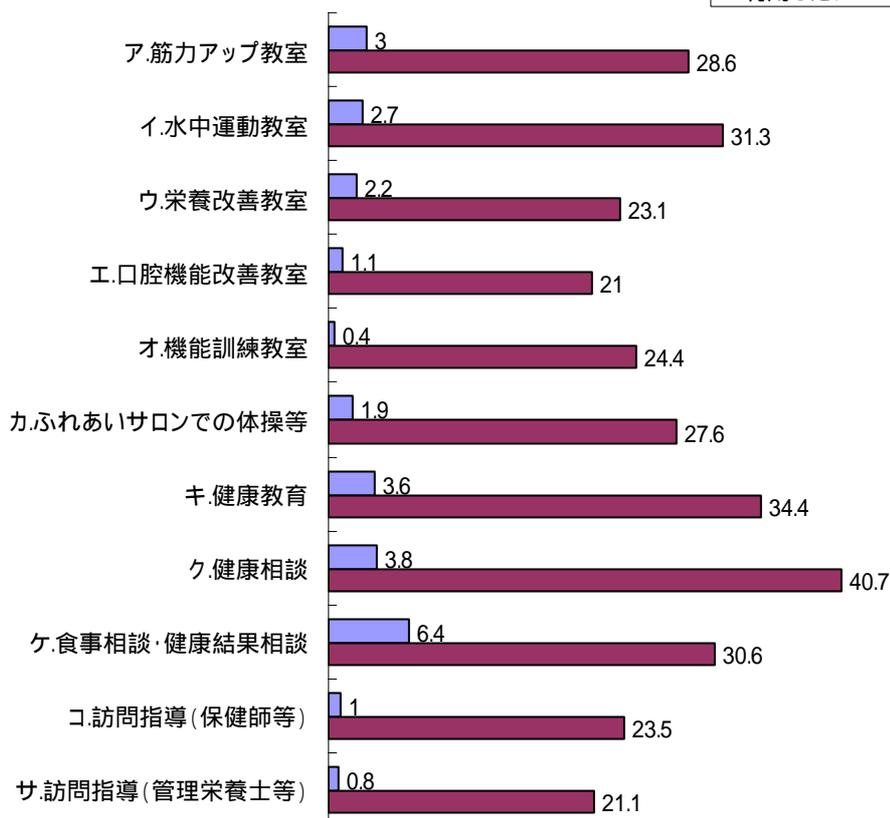
介護予防サービスの 利用経験と 利用希望

上段:人  
下段:%

全体 = 787人	利用経験				利用希望			
	と利 が用 あし たこ	と利 が用 な した こ	た知 ら な か つ	無 回 答	利 用 し た い	な利 い 用 し た く	分 か ら な い	無 回 答
ア.筋力アップ教室	24 3	469 59.6	150 19.1	144 18.3	225 28.6	92 11.7	290 36.8	180 22.9
イ.水中運動教室	21 2.7	503 63.9	110 14	153 19.4	246 31.3	106 13.5	247 31.4	188 23.9
ウ.栄養改善教室	17 2.2	479 60.9	133 16.9	158 20.1	182 23.1	97 12.3	314 39.9	194 24.7
エ.口腔機能改善教室	9 1.1	461 58.6	155 19.7	162 20.6	165 21	90 11.4	333 42.3	199 25.3
オ.機能訓練教室	3 0.4	485 61.6	136 17.3	163 20.7	192 24.4	62 7.9	339 43.1	194 24.7
カ.ふれあいサロンでの体操・音楽、健康相談	15 1.9	491 62.4	127 16.1	154 19.6	217 27.6	89 11.3	300 38.1	181 23
キ.健康教育	28 3.6	473 60.1	125 15.9	161 20.5	271 34.4	60 7.6	275 34.9	181 23
ク.健康相談	30 3.8	501 63.7	99 12.6	157 19.9	320 40.7	48 6.1	242 30.7	177 22.5
ケ.食事相談・健診結果相談	50 6.4	442 56.2	97 12.3	198 25.2	241 30.6	53 6.7	261 33.2	232 29.5
コ.訪問指導(保健師等)	8 1	477 60.6	103 13.1	199 25.3	185 23.5	63 8	306 38.9	233 29.6
サ.訪問指導(管理栄養士等)	6 0.8	468 59.5	110 14	203 25.8	166 21.1	69 8.8	318 40.4	234 29.7

単位：%

■ 利用したことがある  
■ 利用したい



(2) 介護予防サービスの利用経験と利用希望

上段：人  
下段：%

		全体	将来の利用希望			
			利用したい	利用したくない	わからない	無回答
ア.筋力アップ教室	利用したことがある	24	19	1	1	3
		100	79.2	4.2	4.2	12.5
	利用したことがない	469	149	77	197	46
		100	31.8	16.4	42	9.8
知らなかった	150	49	14	83	4	
	100	32.7	9.3	55.3	2.7	
イ.水中運動教室	利用したことがある	21	18	0	1	2
		100	85.7	0	4.8	9.5
	利用したことがない	503	186	85	187	45
		100	37	16.9	37.2	8.9
知らなかった	110	34	21	52	3	
	100	30.9	19.1	47.3	2.7	
ウ.栄養改善教室	利用したことがある	17	11	1	4	1
		100	64.7	5.9	23.5	5.9
	利用したことがない	479	137	74	223	45
		100	28.6	15.4	46.6	9.4
知らなかった	133	29	22	79	3	
	100	21.8	16.5	59.4	2.3	

		全体	将来の利用希望			
			利用したい	利用したくない	わからない	無回答
エ.口腔機能改善教室	利用したことがある	9	7	0	1	1
		100	77.8	0	11.1	11.1
	利用したことがない	461	120	74	223	44
		100	26	16.1	48.4	9.5
	知らなかった	155	35	15	99	6
		100	22.6	9.7	63.9	3.9
オ.機能訓練教室	利用したことがある	3	2	0	0	1
		100	66.7	0	0	33.3
	利用したことがない	485	150	53	241	41
		100	30.9	10.9	49.7	8.5
	知らなかった	136	34	9	89	4
		100	25	6.6	65.4	2.9
カ.ふれあいサロンでの体操・音楽、健康相談	利用したことがある	15	11	1	1	2
		100	73.3	6.7	6.7	13.3
	利用したことがない	491	163	75	215	38
		100	33.2	15.3	43.8	7.7
	知らなかった	127	35	13	75	4
		100	27.6	10.2	59.1	3.1
キ.健康教育	利用したことがある	28	21	1	4	2
		100	75	3.6	14.3	7.1
	利用したことがない	473	196	46	196	35
		100	41.4	9.7	41.4	7.4
	知らなかった	125	42	13	67	3
		100	33.6	10.4	53.6	2.4
ク.健康相談	利用したことがある	30	27	1	2	0
		100	90	3.3	6.7	0
	利用したことがない	501	241	42	183	35
		100	48.1	8.4	36.5	7
	知らなかった	99	46	5	47	1
		100	46.5	5.1	47.5	1
ケ.食事相談・健診結果相談	利用したことがある	50	39	1	5	5
		100	78	2	10	10
	利用したことがない	442	164	47	193	38
		100	37.1	10.6	43.7	8.6
	知らなかった	97	33	5	55	4
		100	34	5.2	56.7	4.1
コ.訪問指導(保健師等)	利用したことがある	8	3	0	2	3
		100	37.5	0	25	37.5
	利用したことがない	477	153	56	225	43
		100	32.1	11.7	47.2	9
	知らなかった	103	24	7	69	3
		100	23.3	6.8	67	2.9
サ.訪問指導(管理栄養士等)	利用したことがある	6	3	0	2	1
		100	50	0	33.3	16.7
	利用したことがない	468	137	60	229	42
		100	29.3	12.8	48.9	9
	知らなかった	110	22	9	75	4
		100	20	8.2	68.2	3.6

健康診査などについては、『利用したことがある』サービスは、「健康診査」が42.9%で他の項目を大きく上回っている。このほか、「健康教育・相談」7.1%、「水中運動教室」1.9%などがみられる。

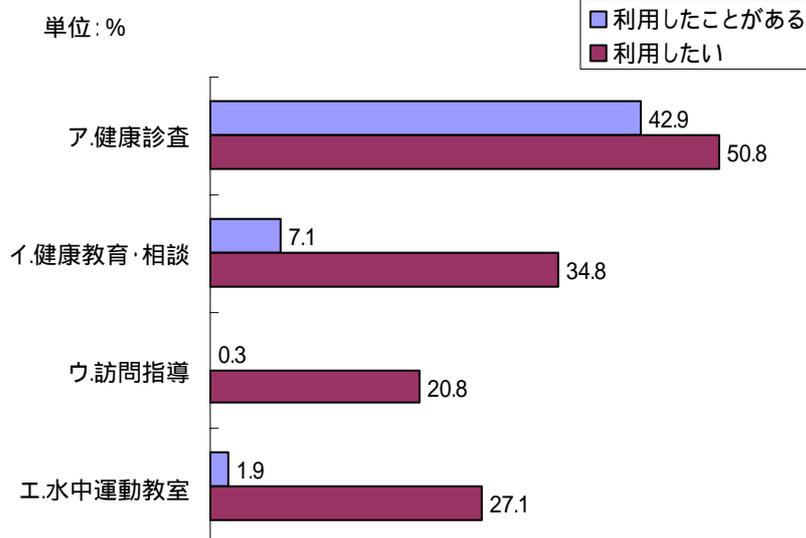
『知らなかった』との回答は、「訪問指導」13.6%、「水中運動教室」11.8%、「健康教育・相談」8.1%、「健康診査」2.7%である。

一方、利用希望については、「健康診査」50.8%をはじめ、「健康教育・相談」34.8%、「水中運動教室」27.1%、「訪問指導」20.8%であり、全ての項目で利用希望が利用の現状を大きく上回っている。

健康診査などの 利用経験と 利用希望

上段：人  
下段：%

全体 = 787人	利用経験				利用希望			
	と利 が用 あし るた こ	と利 が用 なし いた こ	た知 らな かつ	無 回 答	利 用 し た い	な利 い 用 し た く	分 か ら ない	無 回 答
ア.健康診査	338 42.9	315 40	21 2.7	113 14.4	400 50.8	35 4.4	159 20.2	193 24.5
イ.健康教育・相談	56 7.1	533 67.7	64 8.1	134 17	274 34.8	53 6.7	257 32.7	203 25.8
ウ.訪問指導	2 0.3	533 67.7	107 13.6	145 18.4	164 20.8	76 9.7	336 42.7	211 26.8
エ.水中運動教室	15 1.9	534 67.9	93 11.8	145 18.4	213 27.1	95 12.1	281 35.7	198 25.2



## (3) 健康診査などの利用経験と利用希望

上段:人  
下段:%

		全体	将来の利用希望			
			利用したい	利用したくない	わからない	無回答
ア.健康診査	利用したことがある	338	264	5	21	48
		100	78.1	1.5	6.2	14.2
	利用したことがない	315	121	29	126	39
		100	38.4	9.2	40	12.4
	知らなかった	21	11	1	9	0
		100	52.4	4.8	42.9	0
イ.健康教育・相談	利用したことがある	56	39	1	2	14
		100	69.6	1.8	3.6	25
	利用したことがない	533	204	50	220	59
		100	38.3	9.4	41.3	11.1
	知らなかった	64	24	2	31	7
		100	37.5	3.1	48.4	10.9
ウ.訪問指導	利用したことがある	2	2	0	0	0
		100	100	0	0	0
	利用したことがない	533	136	64	265	68
		100	25.5	12	49.7	12.8
	知らなかった	107	23	10	68	6
		100	21.5	9.3	63.6	5.6
エ.水中運動教室	利用したことがある	15	10	2	0	3
		100	66.7	13.3	0	20
	利用したことがない	534	169	82	226	57
		100	31.6	15.4	42.3	10.7
	知らなかった	93	26	10	51	6
		100	28	10.8	54.8	6.5

(1)(2)(3)のサービスのうち、特に役に立つのでもっと充実して欲しいもの、利用しにくいと思うものがあれば、その名称や内容をお書きください。

充実して欲しいもの (括弧内は回答数)

(1) 高齢者福祉サービス

- 地域包括支援センター(7)  
総合的相談は大変必要だと思う。  
かかりつけ医師と地域包括支援センターとの連絡を密にしてもらいたい。
- 在宅介護支援センター(2)
- 逗子市高齢者センター(3)
- 福祉給食サービス(10)  
できれば月～土曜日、1日1回。ひとり暮らしだと食事の質が落ちる。特に野菜不足となる。
- 公衆浴場入浴助成(3)  
移動の足の確保が困難。  
市内1か所しかないので、市内中心部にも利用できる場を作ってほしい。
- 住宅改修相談(2)
- ひとり暮らし高齢者等訪問(4)
- 福祉バス(5)

本数も乗降地も少なく、もっと増やしてほしい。

膝痛、歩行困難のため、坂の多い町で陸の孤島。高齢のため運転も不可能。

福祉バスのように、高齢者が買い物やその他に利用できる小型の（有料）バスを住宅街で運行してほしい。多くの自治体で便利に使われています。

○ 福祉緊急通報システム（２）

(2) 介護予防サービス

○ 筋力アップ教室（４）

３か月ではなく、ずっと継続してやりたい。

○ 水中運動教室（１２）

泳ぎ方の修得と歩行訓練。

温水プールのサウナ室の温度が低いので、寒いときは利用しにくい。

○ 栄養改善教室（１）

○ 機能訓練教室（１）

○ ふれあいサロンでの体操・音楽や健康相談（５）

仲間と楽しい一時を過ごしたい。しかしいつまで自力で通えるか心配。

歩いていける範囲内にふれあいサロンを。

○ 健康教育・相談（７）

老老介護について。

送迎してほしい。

○ 健診結果相談（３）

○ 訪問指導（保健師等）（１）

○ 健康診査（４５）

送迎して欲しい。

回数を増やしてほしい。

診査の種目を多くしてほしい。

住民に分かるように。

年齢に見合った検査と教育・相談。

脳のMRI、胸腹部等のCT検査など充実してほしい。

胃の検査は年１回市で実施していますが、年２回にしてほしい。（１回の検査では）胃がんの発見が手遅れだった人の話を良く聞くので、年２回にしてはどうか？

毎年行っていますが、場所が不便です。雨でも降ったときは、福祉のバスがあればと思います。

保健センターでの精密健診機器の充実（IC、エコー、内視鏡など）

○ 訪問指導（５）

その他

○ 温水プールの利用方法の拡充

○ 温水プール： 教室や 専用コースなどで一般利用が制限されている。

○ 温水プールに歩行専用レーンを作っていただきたい。できればレーンを行き用と帰り用にロープを張っていただければと思う。

- 室内プール：シャワーで石けんが使用できないのは不便。
- 予防（未病）のため、週1回くらい逗子のポイントを散歩、案内。
- 運動に対するリハビリ設備の充実が望ましい。
- 訪問リハビリ。病院、市役所等支援によって現状では比較的支障なく介護しているが、緊急時のことが心配。
- 膝痛改善治療
- 乳がん・子宮がんの健診が1年おきしか受けられなくなったのは残念。
- 定期健康診断（人間ドックのようなもの）
- 介護福祉医療等のサービス
- 心のケアに関して、もっと知らせる手段があればうれしい。
- ほとんどのサービスを知らなかった。市役所はもっとPRすべき。サービスの内容、参加の資格・条件、どこで情報が手に入るのか。
- 利用したことがないので分からない。（3）
- 栄養士による食事作りも高齢者を対象としないで家族の食事作りの中に入れてほしいです。
- 今のままで良いと思います。

利用しにくいと思うもの （括弧内は回答数）

- 公衆浴場入浴助成（6）  
逗子に公衆浴場があるのでしょうか？高齢者のみの交流は寂しいです。  
場所が良く分からない。
- 住宅改修相談（1）
- ひとり暮らし高齢者等訪問（1）
- 筋力アップ教室（2）  
足の弱い人にどう対応するのか？  
在宅筋力トレーニングができるような「訪問指導」を考えてほしい。
- 水中運動教室（13）  
体力なし。  
定員を増やしてほしい。  
本当に参加したいと思うが、着たり脱いだりが億劫に思われて、誘われても断ってしまう。
- 栄養改善教室（1）
- 口腔機能改善教室（2）
- 機能訓練教室（1）
- ふれあいサロン（2）  
ふれあいサロンを小坪地区にも欲しい。  
池子、新宿では遠距離で、交通機関を利用しなくてはならない。
- 健康相談（1）
- 訪問指導（管理栄養士等）（2）  
自分で調理できない人には無理。
- 健康診査（3）  
1か所でカバーできない。

1年に1回、健康診査を受けていますが、月によって1日しかないときがあり、受けられないことがあります。また、保健センターへの検査のときのみでよいので、シャトルバスを出してほしい。

- 訪問指導(1)

#### その他

- 介護サービス関連(4)
- 介護予防サービス：どの程度で受けられるかの宣伝が足りないのではないのでしょうか。
- 高齢者福祉サービス(2)
- 利用方法が分からない。
- 水に弱いのでプールは疲れます。
- 自宅に訪問されるものは、日時の問題等で今現在は無理。
- 膝痛のため通院に対する交通。
- 運動関係が利用しにくい。
- 社会福祉協議会、地域包括支援センター、清光会、介護保険課、高齢福祉係：何かとても遠いところにあるように感じて、連絡するのが少しためられる気がします。
- 体の自由がきかなくなってからは、いろいろな教室があっても、そこまでの移動手段がなければ利用が難しい。
- 住んでいるところから各施設が遠かったり、不便。歩くのも交通量が多く、危険な要素が多い(歩道など)。
- 食事作り。
- 現状では問題ない。

生きがいデイサービスへの参加意向

(5) 市では、身近な地域で介護予防や健康づくり活動ができるふれあいサロンのような場づくり(「生きがいデイサービス事業」)を進めています。

そんな場があれば、あなたは参加しますか。( は1つ)

- 1. 是非参加してみたい
- 2. 気が向いたとき参加できるとよい
- 3. 担い手として支えていきたい
- 4. 参加したくない・関心がない
- 5. わからない

そこでは、どんなことができるといいと思いますか。利用意向がない場合も、利用者の身になってお答えください。(あてはまるものすべてに )

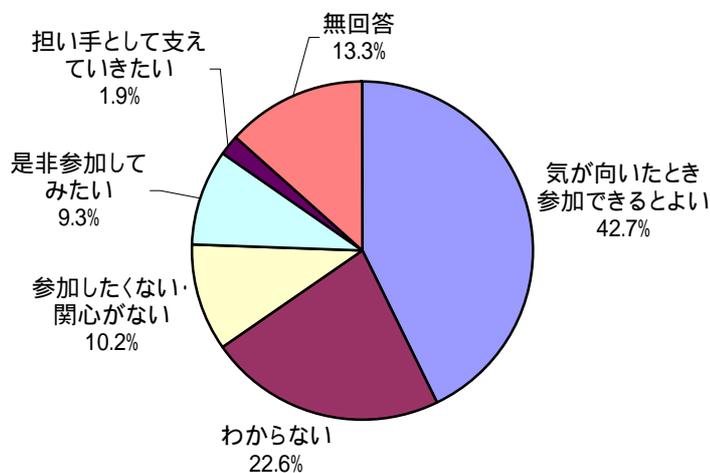
- 1. 食事
- 2. お茶のみ
- 3. 軽い体操
- 4. 歌や音楽
- 5. 趣味の活動
- 6. パソコンなどの講習
- 7. 世代間交流
- 8. 血圧などのチェック
- 9. 健康相談
- 10. 介護保険など各種制度利用についての相談
- 11. まちのためになるような貢献的活動
- 12. その他( )
- 13. わからない

市の 生きがいデイサービスへの参加意向 については、「気が向いたとき参加できるとよい」42.7%が最も多く、「是非参加してみたい」9.3%と合わせると、参加意向が5割を超えている。

「わからない」との回答が22.6%であるが、「参加したくない・関心がない」は10.2%にとどまっている。また、「担い手として支えていきたい」は1.9%みられる。

生きがいデイサービスへの参加意向

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	是非参加してみたい	73	9.3
2	気が向いたとき参加できるとよい	336	42.7
3	担い手として支えていきたい	15	1.9
4	参加したくない・関心がない	80	10.2
5	わからない	178	22.6
	無回答	105	13.3
	全体	787	100



年齢別にみると、若い年齢層で、「気が向いたとき参加できるとよい」、「担い手として支えていきたい」の割合が高くなっている。

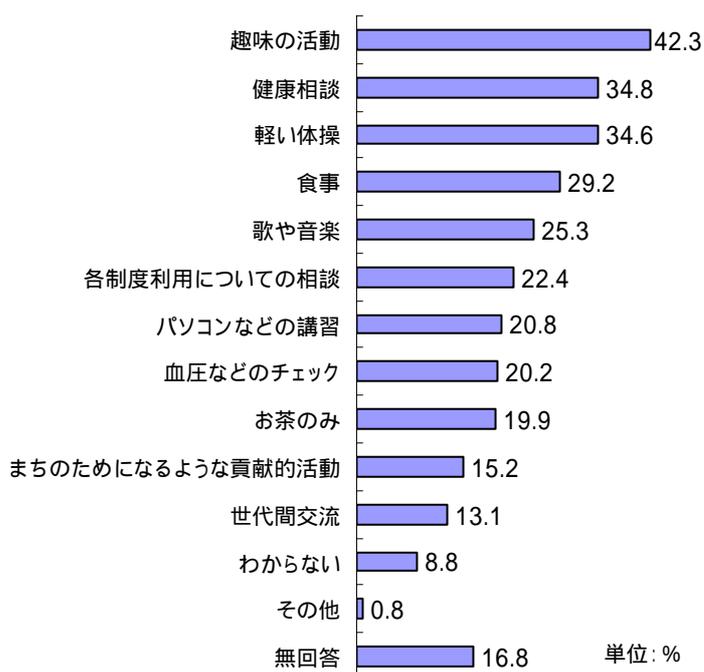
上段：人  
下段：%

	全体	生きがいデイサービスへの参加意向						
		是非参加してみたい	気が向いたとき参加できるとよい	担い手として支えていきたい	参加したくない・関心がない	わからない	無回答	
合計	787	73	336	15	80	178	105	
	100	9.3	42.7	1.9	10.2	22.6	13.3	
年齢	65～69歳	252	14	119	8	18	78	15
		100	5.6	47.2	3.2	7.1	31	6
	70～74歳	231	32	108	5	23	36	27
		100	13.9	46.8	2.2	10	15.6	11.7
	75～79歳	158	14	68	2	15	32	27
		100	8.9	43	1.3	9.5	20.3	17.1
	80～84歳	93	9	30	0	14	21	19
100		9.7	32.3	0	15.1	22.6	20.4	
85～89歳	41	4	6	0	7	7	17	
	100	9.8	14.6	0	17.1	17.1	41.5	
90歳以上	9	0	2	0	3	4	0	
	100	0	22.2	0	33.3	44.4	0	
居住圏域	東部	411	39	181	10	46	85	50
		100	9.5	44	2.4	11.2	20.7	12.2
西部	373	34	153	5	34	93	54	
	100	9.1	41	1.3	9.1	24.9	14.5	

生きがいデイサービスの希望メニュー について聞いたところ、「趣味の活動」42.3%、「健康相談」34.8%、「軽い体操」34.6%、「食事」29.2%の順で高い希望がみられる。このほか、「歌や音楽」25.3%、「各種制度利用についての相談」22.4%、「パソコンなどの講習」20.8%、「血圧などのチェック」20.2%などがある。「お茶のみ」19.9%なども含め、「楽しみ」や「健康づくり・健康チェック」、「相談」へのニーズが目立っている。

生きがいデイサービスでの希望メニュー

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	食事	230	29.2
2	お茶のみ	157	19.9
3	軽い体操	272	34.6
4	歌や音楽	199	25.3
5	趣味の活動	333	42.3
6	パソコンなどの講習	164	20.8
7	世代間交流	103	13.1
8	血圧などのチェック	159	20.2
9	健康相談	274	34.8
10	各制度利用についての相談	176	22.4
11	まちのためになるような貢献的活動	120	15.2
12	その他	6	0.8
13	わからない	69	8.8
	無回答	132	16.8
	全体	787	100



参加意向別にみると、是非参加してみたいと回答した人では、「食事」、「お茶のみ」、「軽い体操」、「歌や音楽」、「趣味の活動」、「健康相談」などの割合が高くなっている。

また、担い手として支えていきたいと回答した人では、「趣味の活動」が66.7%で最も多く、このほか「まちのためになるような貢献的活動」、「食事」、「軽い体操」、「血圧などのチェック」、「健康相談」への希望も高くなっている。

上段:人  
下段:%

		全体	生きがいサービスでの希望メニュー(複数回答)													
			食事	お茶のみ	軽い体操	歌や音楽	趣味の活動	パソコンなどの講習	世代間交流	血圧などのチェック	健康相談	の相談	各制度利用について	うまのまちの貢献的活動になるよ	その他	わからない
合計		787	230	157	272	199	333	164	103	159	274	176	120	6	69	132
		100	29.2	19.9	34.6	25.3	42.3	20.8	13.1	20.2	34.8	22.4	15.2	0.8	8.8	16.8
年齢	65～69歳	252	77	49	98	73	133	61	34	49	92	55	55	1	24	22
		100	30.6	19.4	38.9	29	52.8	24.2	13.5	19.4	36.5	21.8	21.8	0.4	9.5	8.7
	70～74歳	231	67	52	92	61	101	58	30	52	90	51	41	2	15	35
		100	29	22.5	39.8	26.4	43.7	25.1	13	22.5	39	22.1	17.7	0.9	6.5	15.2
	75～79歳	158	52	31	55	40	58	34	24	35	61	44	15	1	14	28
		100	32.9	19.6	34.8	25.3	36.7	21.5	15.2	22.2	38.6	27.8	9.5	0.6	8.9	17.7
	80～84歳	93	23	17	21	21	27	7	10	17	20	18	6	1	8	29
100		24.7	18.3	22.6	22.6	29	7.5	10.8	18.3	21.5	19.4	6.5	1.1	8.6	31.2	
85～89歳	41	6	4	4	4	10	2	4	6	7	4	1	0	6	17	
	100	14.6	9.8	9.8	9.8	24.4	4.9	9.8	14.6	17.1	9.8	2.4	0	14.6	41.5	
90歳以上	9	4	3	1	0	2	0	1	0	4	3	1	1	2	1	
	100	44.4	33.3	11.1	0	22.2	0	11.1	0	44.4	33.3	11.1	11.1	22.2	11.1	
参加意向	ぜひ参加してみたい	73	40	22	46	29	48	17	21	23	36	25	20	0	0	0
		9.3	54.8	30.1	63	39.7	65.8	23.3	28.8	31.5	49.3	34.2	27.4	0	0	0
	気が向いたとき参加できるとよい	336	130	96	151	115	185	91	54	88	152	105	67	2	8	11
		42.7	38.7	28.6	44.9	34.2	55.1	27.1	16.1	26.2	45.2	31.3	19.9	0.6	2.4	3.3
	担い手として支えていきたい	15	7	3	6	4	10	5	4	6	6	3	7	0	0	0
		1.9	46.7	20	40	26.7	66.7	33.3	26.7	40	40	20	46.7	0	0	0
参加したくない・関心がない	80	13	8	17	8	20	15	3	12	26	12	6	1	19	20	
	10.2	16.3	10	21.3	10	25	18.8	3.8	15	32.5	15	7.5	1.3	23.8	25	
分からない	178	30	19	39	31	60	26	13	22	43	24	14	1	41	22	
	22.6	16.9	10.7	21.9	17.4	33.7	14.6	7.3	12.4	24.2	13.5	7.9	0.6	23	12.4	

## 自立支援施策への関心

(6) あなたは、次のような事項に関心がありますか。

- ア．自立支援（自立した日常生活を送るための支援）
- イ．高齢者向けの住宅施策
- ウ．認知症高齢者対策

自立支援施策への関心 について、ア～ウの項目別に聞いたところ、『大いに関心がある』との回答は、「自立支援」44.9%、「認知症高齢者対策」46.5%であった。「高齢者向けの住宅施策」では、32.1%が『大いに関心がある』、24.8%が『あまり関心がない』となっている。

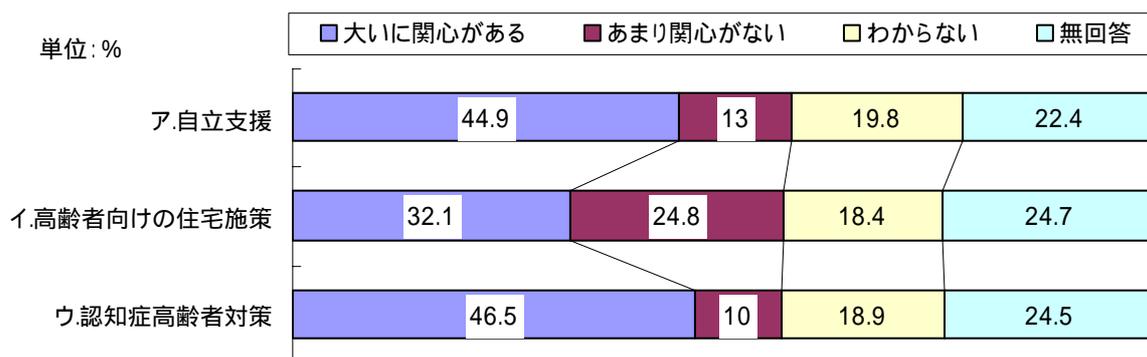
今後の施策に対する考えについては、いずれの項目についても、『施策の内容を知りたい』、『充実して欲しい』がそれぞれ3割前後の割合であり、『市施策として必要と思わない』との回答は数パーセントにとどまっている。

### 自立支援施策への関心

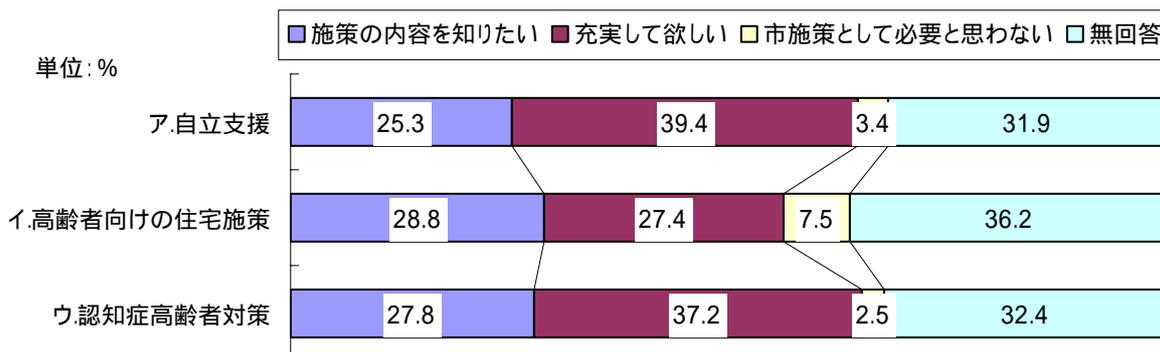
上段:人  
下段:%

全体 = 787人	関心				考え			
	大いに 関心があ る	いあ まり関 心があ ない	わ から ない	無 回 答	り施 策の 内容 を知 りたい	充 実し て欲 しい	要 と 思 わ な い 必 ず	無 回 答
ア.自立支援	353 44.9	102 13	156 19.8	176 22.4	199 25.3	310 39.4	27 3.4	251 31.9
イ.高齢者向けの住宅施策	253 32.1	195 24.8	145 18.4	194 24.7	227 28.8	216 27.4	59 7.5	285 36.2
ウ.認知症高齢者対策	366 46.5	79 10	149 18.9	193 24.5	219 27.8	293 37.2	20 2.5	255 32.4

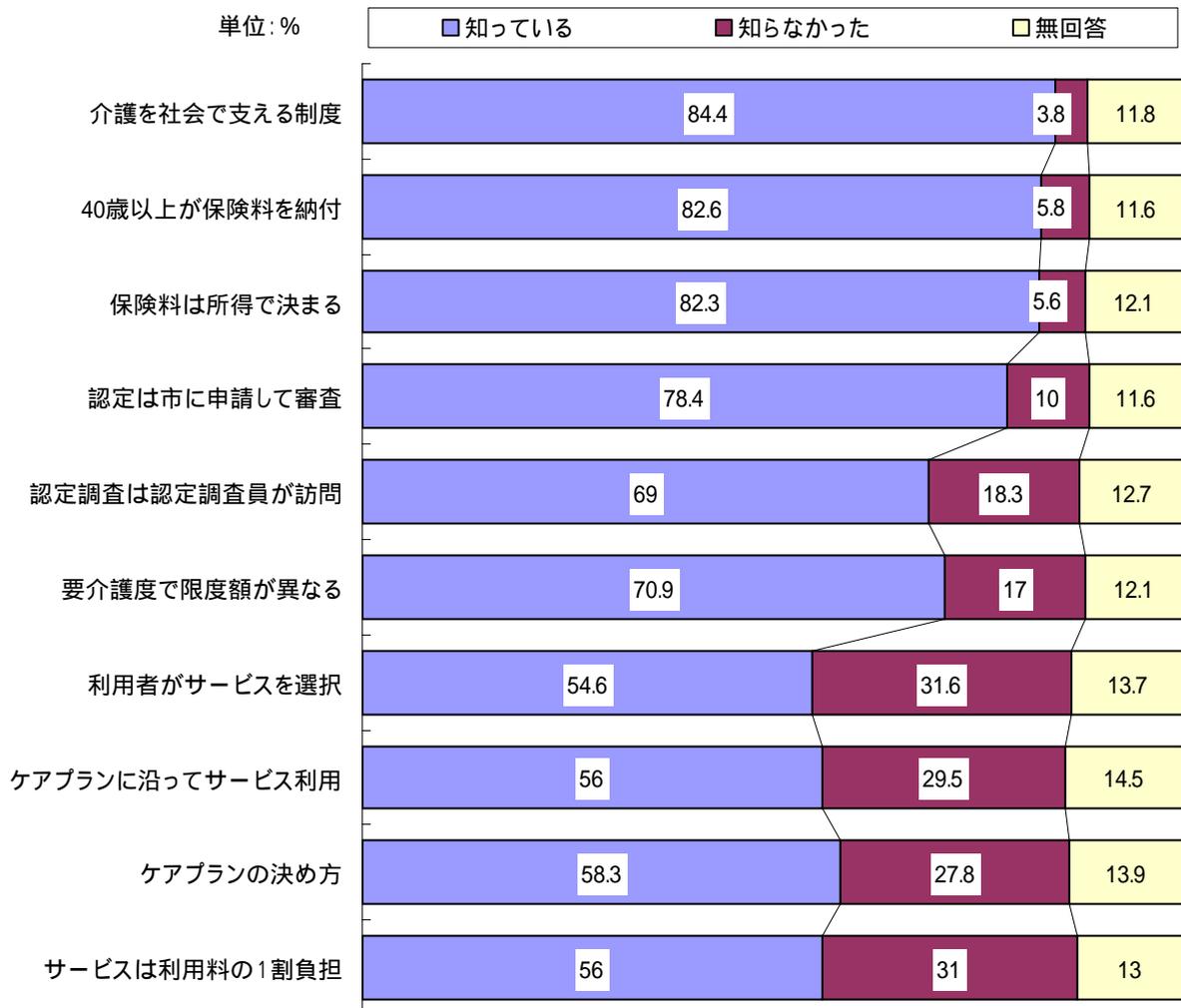
単位:%



単位:%







要介護認定申請の意向

(3) あなたは、要介護認定の申請をしたことはありますか。( は1つ)  
 1. ない                      2. ある                      3. わからない

(4) あなたは今後、介護が必要になった場合、要介護認定申請をしますか。( は1つ)  
 1. する                      2. しない                      3. わからない

(5)【「1. する」とお答えの方におたずねします。】  
 主にどんなサービスを利用したいですか。(あてはまるものすべてに )  
 1. 施設に入所したい                      7. 入浴介助を受けたい  
 2. ホームヘルプを利用したい                      8. リハビリを受けたい  
 3. デイサービスを利用したい                      9. 訪問看護を受けたい  
 4. ショートステイを利用したい                      10. 移送サービスを利用したい  
 5. 住宅改修をしたい                      11. その他( )  
 6. 福祉用具を活用したい                      12. まだ具体的には決まっていない

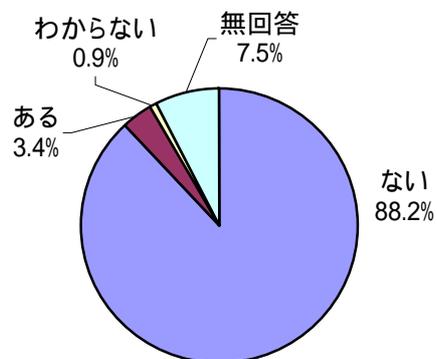
事業所選びの決め手は何ですか。(あてはまるものすべてに )  
 1. 事業所の近さ                      6. 対応の感じよさ  
 2. 事業所の設備                      7. 料金体系  
 3. 医療機関との連携状況                      8. サービスメニューの豊富さ  
 4. 説明の丁寧さと誠意                      9. その他( )  
 5. 経営者(法人)                      10. 特にない

(6)【(4)で「2. しない」とお答えの方におたずねします。】  
 介護が必要になっても、要介護認定の申請をしない理由はなんですか。  
 (あてはまるものすべてに )  
 1. 家族に介護してもらいたいから                      4. 利用したいサービスがないから  
 2. 利用手続が複雑で面倒だから                      5. 他人に介入されたくないから  
 3. 利用者負担が大変だから                      6. その他( )

これまでの 要介護認定申請経験の有無 については、「ない」88.2%、「ある」3.4%であり、「わからない」との回答は極めて低率ながら 0.9%みられた。

要介護認定申請経験の有無

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	ない	694	88.2
2	ある	27	3.4
3	わからない	7	0.9
	無回答	59	7.5
	全体	787	100



要介護認定申請の有無について、年齢別ではそれほど大きな差はみられないが、75～84歳の人で「ある」との回答がやや高い。また、80～84歳の人で「わからない」の割合が、他の年代と比べてやや高くなっている。

現在の健康状態で見ると、健康状態がよくない人の方が「ある」の割合がやや高くなる傾向にあるが、年相応にまあまあ健康だと思える人でも、申請経験の「ある」人がいることがわかる。

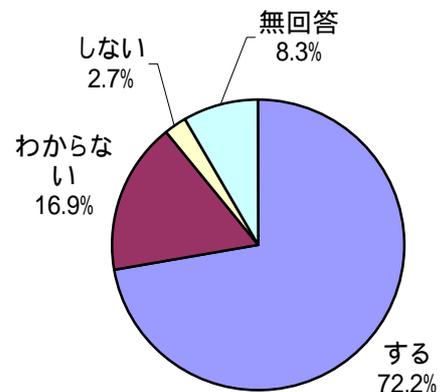
		全体	要介護認定申請の有無			
			ない	ある	わからない	無回答
合計		787 100	694 88.2	27 3.4	7 0.9	59 7.5
年齢	65～69歳	252 100	233 92.5	6 2.4	1 0.4	12 4.8
	70～74歳	231 100	209 90.5	6 2.6	2 0.9	14 6.1
	75～79歳	158 100	138 87.3	9 5.7	1 0.6	10 6.3
	80～84歳	93 100	72 77.4	4 4.3	3 3.2	14 15.1
	85～89歳	41 100	32 78	1 2.4	0 0	8 19.5
	90歳以上	9 100	7 77.8	1 11.1	0 0	1 11.1
現在の健康状態	とても健康で気になるところはない	71 100	65 91.5	1 1.4	0 0	5 7
	年相応にまあまあ健康だと思える	612 100	551 90	22 3.6	4 0.7	35 5.7
	何となく調子がよくない	55 100	39 70.9	2 3.6	3 5.5	11 20
	かなり調子が変わる	33 100	30 90.9	2 6.1	0 0	1 3

上段：人  
下段：%

今後の要介護認定の申請意向については、72.2%が「する」、16.9%が「わからない」、2.7%が「しない」と答えた。

要介護認定の申請意向

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	する	568	72.2
2	しない	21	2.7
3	わからない	133	16.9
	無回答	65	8.3
	全体	787	100



年齢別では、年代が低くなるにつれ、「する」との回答の割合が高くなる傾向にある。85～89歳の人では「する」が46.3%であり、「しない」が7.3%と他の年代よりもやや高い。

現在の健康状態で見ると、健康状態がよい人では、「する」の割合が比較的低く、かつ「わからない」との回答が他の年代よりも多くなっている。

上段：人

下段：%

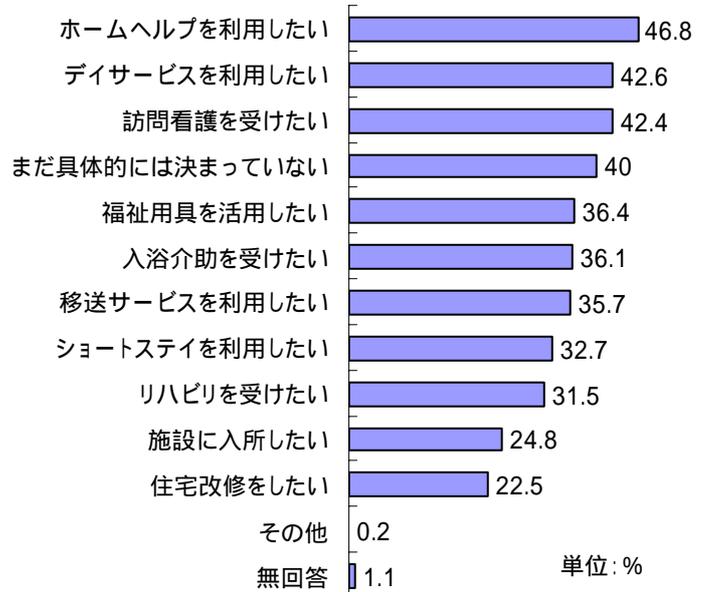
		全体	要介護認定の申請意向			
			する	しない	わからない	無回答
合計		787	568	21	133	65
		100	72.2	2.7	16.9	8.3
年齢	65～69歳	252	195	3	43	11
		100	77.4	1.2	17.1	4.4
	70～74歳	231	168	8	39	16
		100	72.7	3.5	16.9	6.9
	75～79歳	158	118	3	22	15
		100	74.7	1.9	13.9	9.5
	80～84歳	93	59	4	18	12
100		63.4	4.3	19.4	12.9	
85～89歳	41	19	3	9	10	
	100	46.3	7.3	22	24.4	
90歳以上	9	6	0	2	1	
	100	66.7	0	22.2	11.1	
現在の健康状態	とても健康で気になるところはない	71	41	6	19	5
		100	57.7	8.5	26.8	7
	年相応にまあまあ健康だと思う	612	465	12	94	41
		100	76	2	15.4	6.7
	何となく調子がよくない	55	31	2	9	13
100		56.4	3.6	16.4	23.6	
かなり調子がわるい	33	24	1	8	0	
	100	72.7	3	24.2	0	
要介護認定の申請	ない	694	537	20	124	13
		100	77.4	2.9	17.9	1.9
	ある	27	21	1	3	2
		100	77.8	3.7	11.1	7.4
無定	わからない	7	3	0	4	0
		100	42.9	0	57.1	0

要介護認定の申請を「する」と答えた 568 人に対して、主に利用したいサービス について聞いたところ、「ホームヘルプ」46.8%、「デイサービス」42.6%、「訪問看護」42.4%、「福祉用具」36.4%、「入浴介助」36.1%、「移送サービス」35.7%などである。

さまざまなニーズが挙げられているが、一方で「まだ具体的には決まっていない」との回答も 40%あり、具体的なニーズや必要性を現状では把握していない(できていない)人が少なからずいることがわかる。

主に利用したいサービス(複数回答) \* 該当者 = 568人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	施設に入所したい	141	24.8
2	ホームヘルプを利用したい	266	46.8
3	デイサービスを利用したい	242	42.6
4	ショートステイを利用したい	186	32.7
5	住宅改修をしたい	128	22.5
6	福祉用具を活用したい	207	36.4
7	入浴介助を受けたい	205	36.1
8	リハビリを受けたい	179	31.5
9	訪問看護を受けたい	241	42.4
10	移送サービスを利用したい	203	35.7
11	その他	1	0.2
12	まだ具体的には決まっていない	227	40
	無回答	6	1.1
	全体	568	100



同居状況でみると、ひとり暮らしの人では、約 3 割が「施設に入所したい」と答え、「ホームヘルプ」への希望も高いことがわかる。

同居家族がいる人でも「施設に入所したい」が 24.3%あるが、ひとり暮らしの人に比べ、在宅で利用できるサービスの割合が高くなっている。

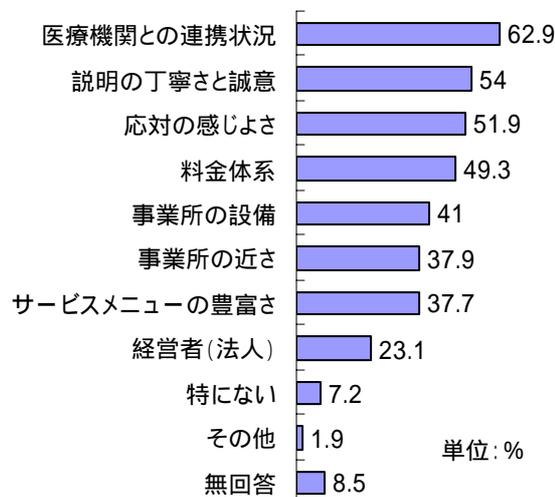
上段:人  
下段:%

		(5) 利用したいサービス													
		施設に入所したい	ホームヘルプを利用したい	デイサービスを利用したい	ショートステイを利用したい	住宅改修をしたい	福祉用具を活用したい	入浴介助を受けたい	リハビリを受けたい	訪問看護を受けたい	移送サービスを利用したい	その他	まだ具体的には決まっていない	無回答	
合計	全体	787	141	266	242	186	128	207	205	179	241	203	1	227	6
		100	24.8	46.8	42.6	32.7	22.5	36.4	36.1	31.5	42.4	35.7	0.2	40	1.1
同居状況	同居家族あり	497	121	231	216	168	118	189	185	163	211	180	1	199	5
		100	24.3	46.5	43.5	33.8	23.7	38	37.2	32.8	42.5	36.2	0.2	40	1
	ひとり暮らし	65	18	33	25	15	9	16	19	13	26	20	0	26	0
		100	27.7	50.8	38.5	23.1	13.8	24.6	29.2	20	40	30.8	0	40	0

要介護認定の申請を「する」と答えた人に、併せて 事業所選びの決め手 について聞いたところ、「医療機関との連携状況」62.9%が最も多い。次いで、「説明の丁寧さと誠意」54%、「対応の感じよさ」51.9%、「料金体系」49.3%、「事業所の設備」41%、「事業所の広さ」37.9%、「サービスメニューの豊富さ」37.7%となっている。

事業所選びの決め手 \* 該当者 = 568人

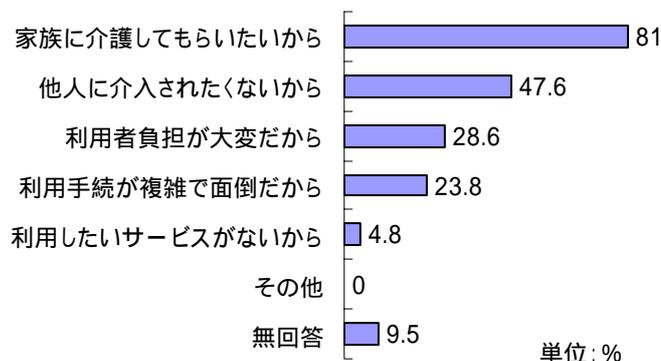
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	事業所の近さ	215	37.9
2	事業所の設備	233	41
3	医療機関との連携状況	357	62.9
4	説明の丁寧さと誠意	307	54
5	経営者(法人)	131	23.1
6	対応の感じよさ	295	51.9
7	料金体系	280	49.3
8	サービスメニューの豊富さ	214	37.7
9	その他	11	1.9
10	特にない	41	7.2
	無回答	48	8.5
	全体	568	100



一方、要介護認定申請を「しない」と答えた 21 人に対して、認定申請をしない理由 について聞いたところ、「家族に介護してもらいたいから」81%が最も多く、次いで「他人に介入されたくないから」47.6%、「利用者負担が大変だから」28.6%、「利用手続きが複雑で面倒だから」23.8%、「利用したいサービスがないから」4.8%となっている。

認定申請をしない理由(複数回答) \* 該当者 = 21人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	家族に介護してもらいたいから	17	81
2	利用手続きが複雑で面倒だから	5	23.8
3	利用者負担が大変だから	6	28.6
4	利用したいサービスがないから	1	4.8
5	他人に介入されたくないから	10	47.6
6	その他	0	0
	無回答	2	9.5
	全体	21	100



(3)相談先

相談しやすい窓口

問 1 5 介護保険制度や高齢者の各種保健福祉制度の内容やサービスについて、あなたが相談しやすいと思われるのはどこ(誰)ですか。(あてはまるものすべてに )	
1 . 市役所の窓口	7 . サービスの直接の担当者
2 . ケアマネジャー	8 . サービス事業所
3 . 地域包括支援センター	9 . 社会福祉協議会
4 . 在宅介護支援センター	1 0 . その他( )
5 . 民生委員	1 1 . 特にない
6 . かかりつけの医師	

介護保険制度や各種保健福祉制度について 相談しやすい窓口 については、「市役所の窓口」69.8%が他を大きく上回って1位に挙げられ、次いで「かかりつけの医師」が37.1%である。

このほか、「ケアマネジャー」18.6%、「社会福祉協議会」14.1%、「サービスの直接の担当者」10.9%、「在宅介護支援センター」10.3%、「民生委員」10.2%などとなっている。

介護・福祉サービスの相談先(複数回答)

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	市役所の窓口	549	69.8
2	ケアマネジャー	146	18.6
3	地域包括支援センター	55	7
4	在宅介護支援センター	81	10.3
5	民生委員	80	10.2
6	かかりつけの医師	292	37.1
7	サービスの直接の担当者	86	10.9
8	サービス事業所	61	7.8
9	社会福祉協議会	111	14.1
10	その他	3	0.4
11	特にない	44	5.6
	無回答	89	11.3
	全体	787	100



性別では、それほど大きな差はみられないが、女性では男性に比べて「民生委員」、「かかりつけの医師」、「社会福祉協議会」の割合がやや高い。

年齢別にみると、年齢が低い人の方が「市役所の窓口」や「ケアマネジャー」の割合が高く、年齢が高くなるほど「かかりつけの医師」と答える人が多くなっている。

上段:人  
下段:%

		全体	介護・福祉サービスの相談先(複数回答)											
			市役所の窓口	ケアマネジャー	地域包括支援センター	在宅介護支援センター	民生委員	かかりつけの医師	担当者	サービスの直接のサービス事業所	社会福祉協議会	その他	特にない	無回答
合計		787	549	146	55	81	80	292	86	61	111	3	44	89
		100	69.8	18.6	7	10.3	10.2	37.1	10.9	7.8	14.1	0.4	5.6	11.3
性別	男	353	246	66	20	32	28	123	33	30	43	1	26	36
		100	69.7	18.7	5.7	9.1	7.9	34.8	9.3	8.5	12.2	0.3	7.4	10.2
性別	女	428	300	79	34	48	50	168	52	30	68	2	17	51
		100	70.1	18.5	7.9	11.2	11.7	39.3	12.1	7	15.9	0.5	4	11.9
年齢	65～69歳	252	170	58	19	33	23	88	38	17	33	0	21	18
		100	67.5	23	7.5	13.1	9.1	34.9	15.1	6.7	13.1	0	8.3	7.1
	70～74歳	231	164	39	16	24	22	88	24	24	31	1	9	27
		100	71	16.9	6.9	10.4	9.5	38.1	10.4	10.4	13.4	0.4	3.9	11.7
	75～79歳	158	124	32	11	14	17	60	16	13	33	2	5	15
		100	78.5	20.3	7	8.9	10.8	38	10.1	8.2	20.9	1.3	3.2	9.5
	80～84歳	93	62	13	6	7	12	33	5	5	11	0	6	18
	100	66.7	14	6.5	7.5	12.9	35.5	5.4	5.4	11.8	0	6.5	19.4	
85～89歳	41	21	3	1	1	3	17	2	1	2	0	2	10	
	100	51.2	7.3	2.4	2.4	7.3	41.5	4.9	2.4	4.9	0	4.9	24.4	
90歳以上	9	5	0	1	1	2	5	0	0	1	0	1	1	
	100	55.6	0	11.1	11.1	22.2	55.6	0	0	11.1	0	11.1	11.1	
居住圏域	東部	411	288	78	27	43	37	153	50	32	71	2	22	48
		100	70.1	19	6.6	10.5	9	37.2	12.2	7.8	17.3	0.5	5.4	11.7
居住圏域	西部	373	259	67	27	37	42	138	35	28	40	1	22	40
		100	69.4	18	7.2	9.9	11.3	37	9.4	7.5	10.7	0.3	5.9	10.7

## 7 意見（自由記述）

### (1)市の高齢者保健福祉サービスについて

問 16 市の高齢者保健福祉サービスについてご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

#### 市の高齢者福祉サービス全般について

##### 不満、意見

- 逗子市は福祉事業が遅れている。
- 骨折をしたとき、介護保険の認定を受けられず、ずいぶん苦労しました。何のための介護保険なのか？
- 財政上の理由かもしれないが、他の市町村と比較して、逗子市の高齢者保健サービスのレベルは低く、早急に改善を図ってほしい。
- 一度、役所に介護保険をお願いに行きましたが（膝が悪くて）、相当しないか分かりませんが断られました。認知症がつかないと利用できないかと思いました。

##### 期待、要望

- 市の財政状況が非常に厳しい中、今後福祉サービスが多岐にますます増加するものと考察される。これらに対し、どのように対処されるのか（ハード、ソフト）興味を持っている。
- 身体が不自由になっても、在宅で生活できるようにサービスを充実してほしい。
- 問 15 の問題（介護・福祉サービスの相談先）ですが、実際その人の身体について知っていなければ認定できないと思うので、窓口からかかりつけの医師との連絡等、必要になると思う。
- 市の財政に見合ったサービス・施設がよいと思う。
- 県内でも高齢化率が高い逗子市では、サービスを充実していく必要があると思う。しかし、財政の悪化もあるので、常に見直し、改良改善は大切。他市の真似をすることはない。逗子の環境に合ったことをしてほしい。
- 今後高齢者がいかに増えようと、財政的制約がいかに厳しかろうと、高齢者が人生の終盤を人間的に過ごせるよう、最大限の努力をしてほしい。
- 逗子は福祉サービスの車が多く走っているとよく聞きますので、充実しているのではと思います。
- 医療機関との連携を強化することが肝要。市内開業医のネットワークを実質的に介護に結びつける方策を推進する。医療機関は介護に消極的ではないのか（特に市内の開業医）。
- 在宅介護の病人の訪問診療をしてくれる医療機関を充実してほしい。
- 総合病院が早くできることを望んでいます。
- 極力、介護を受けないで健康的な生活をできるような施策が必要ではないでしょうか。予防的な取り組みに力を注ぐ必要があると考えます。
- 家に閉じ込めるのではなく、保健福祉サービス内容の充実に注力するのも必要ですが、逆にあまり利用しないように高齢者を積極的に活用する地域密着型の施策の充実が必要と考えます。
- 生活保護水準引き下げなど国の政策が厳しい現状で、逗子市の介護、要支援認定決定が甘いとの情報があります。東京では、がんばって自助努力すること自体がリハビリにつながると指導し、決定が非常に難しいそうです。

#### 施設について

- 他の大都市に比べて、きれいなデイサービス、ショートステイの建物が少ない。
- 年金でも住めるシニアハウスが逗子には少ないと思います。

- 特養老人ホーム「せせらぎ」のような、市でバックアップする所をたくさん作ってほしい。入所するまで順番待ちが長すぎないような、安心して住める逗子であってほしい。
- 現在、施設が満員でなかなか入れないと聞いているが、本当だろうか。その対策としてどのようなことをやっているのか？
- 私たちは逗子が好きで約 25 年前に東京から移住してきて、これから一生を逗子で終わりたいと思っています。夫婦で安心して入れる施設を見つけたいと念じています。
- 少ない年金額のなかから住民税と介護保険料を払っています。  
低所得の者に安い住宅に住めるよう、市がもう少し私たちみたいな人たちに対して安い住宅を作ってください。これ以上介護保険が高くなるようにしないでください。
- 高齢者センター、逗葉医療センターが不便でなかなか行けない。
- 人生の終末期を心穏やかに生活できる施設（心のケア）が身近にあったらいいと思います。老人だけでなく住民誰でも利用できる（軽費施設）
- 一番の関心は、年をとって動けなくなったとき、身を寄せる施設です。高額な入居費が必要では困りません。贅沢せずに快適に暮らせる医療機関と連携した施設がほしいです。
- 今は元気ですが、この先に必要になったときはお願いしたい。施設のある老人ホームがあればと思います。

#### 特定の事柄(サービスの内容など)について

##### 交通に関する支援(バスなど)について

- 私の住んでいるところは坂道が多く階段はないがバスがないので、駅へ行くときなど、高齢者キップでタクシーに乗ることができればと思います。その前に、乗合バスがあればよいのに。
- 齢を重ねますと、病院通いも多くなってきます。病院が近い場合はいいのですが、年中タクシーを使う訳にも参りません。その点、いいアイデアはありませんでしょうか？
- もし予算が許すなら、80 歳以上の方のバス利用を無料にしていただけたらと思います。自分で通院、買い物と前向きになれると思いますので。
- 我が家はどこへ行くにもバスを利用しなければなりませんので、せめてバス代が半額になればいいなあと思います。
- 市内バスの利用について、70 歳以上のものに、せめて横浜市で現在実施中のもの並にしてもらいたい。市予算・財政の制約もあるかと思いますが、何か知恵はないものか、ぜひ配慮してもらいたい。
- 70 歳を過ぎた方の交通手段と安全確保について  
運転免許の自主的返納への特例を。  
市内バス利用券を発行するなど、交通事故防止策の前向きな対策を（他市町村ですすでに実施されている。とくに高齢者の多い逗子市も実施を検討してください。）
- 介護予防等に関するサービスがいろいろあるので、一人でも多くの人に利用してもらえよう、月に一度でもいいから、ピックアップバスがあれば参加しやすくなると思います。例えば、東部・西部圏域の 2 か所。
- 東京・横浜で実施しているような公共交通機関の割引制度（現況を是とは言いませんが）と類似のものを設定してください。
- 高齢者センター行きのバスが少ない。高齢者に、せめて医療機関へ行く場合に、券を発行してほしい。現状を知っているのか聞きたい。

- 介護施設やセンターの充実が高齢者にはありがたいことです。しかし施設を利用する予備者はまだまだ多くなりますので、道路の補修、歩道を歩きやすいようにする、ベンチの設置、手すりなど細かな心遣いがあればと思います。
- 福祉バスを見かけますが、コースや時間等を知らせていただければと思います。高齢者福祉サービスとして、バスの回数券を支給していただけたらと思います。
- 市としての介護保険利用者以外の者に対するサービスのようないことは何もないでしょう。高齢者のいる家族にタクシーの割引券のようなサービスを考えてもよいのではないですか。もちろん、年齢制限を設けても結構です。

#### 訪問、交流の場など

- 独居生活者への訪問等、定期的に巡回すべき。民生委員の活動が足りないのでは？
- 家族、親族とも健康のため、実際に受けていないから分かりません。健康な者にもしかるべき集いがあればと思います。
- 老人同士のおしゃべりができる場があれば良いと思います。
- ひとり暮らしの高齢者として、年1回(これまで4回)訪問していただきましたが、お話ができたのは1回のみでした。3回は、当方、商売の1年中で1番多忙な8月中旬昼頃で、どうすることもできませんでした。時季をずらすか、事前に連絡をいただければ有り難いと思います。
- 近所との付き合いが少ないので、老人になって、ますます外出が苦手になってしまいました。民生委員の方でも、一声掛けてくださったら、外に出て行きやすくなるのですが・・・

#### その他

- 筋力アップや水中運動など利用したいが、対象のレベルが高いため利用できず残念。
- 要介護に進まぬよう、一応健康な人の健康診査の充実と、その結果の指導(10人別など)具体的な対策が実行できるように、フォローをしてもらえると良いと思う。
- 住宅改修等で、材料・部品面で、素人にはよく分かりませんが、値段の割に材質が良くない気がします(介護保険の無駄使いになってないか?)
- 高齢者センターにスリッパの設置を願いたい。
- 福祉緊急通報機器を貸与してほしい。  
老人会に参加しない人もいると思うので、市は、高齢者の話し合いの機会を作ってほしい。
- 介護保険を利用して福祉器具を購入したり設置した経験があるが、価格が通常に比べて割高だと思った。本人の支払いが1割であることから、利用者からのクレームが少ないことに起因しているのではないかと思う。保険金の無駄使いになっていることはないだろうかと疑問に思った。
- 寝たきりや認知症を介護する家族に対して、心と体が休まるようなことを考えてください。大変です。

#### 経済的なことについて

- 年金収入が減り保健福祉サービスの支払いが増加するので、高齢者の負担を増加しないよう考慮してほしい。
- 受益者負担の強化。
- まだ受けたことはありませんが、利用料が要ると聞いています。介護保険料は強制的に納めさせられ、

そのうえ費用がかかるのは納得できません。

- 介護保険料金が他の地域より高いのではないかと思う。

#### 窓口などの対応

- 本人の立場になって考える態度を常に持つこと。
- 担当の方が相手の身になって誠実に。
- 市民は市役所の窓口が一番信頼できる場所と思っています。いまは健康ですが、将来はきっとお世話になると思います。
- 相談窓口が多すぎるので運営上の人件費も大変かかるし、相談者も足を多く運ばなければなりません。動けるうちは問題はありませんが、人頼りでは思うようにはなりません。市役所内に統轄して処理できる場所を設けていただきたい。

#### 広報、情報提供、相談など

- 初めてサービスを受ける場合、まず行政に相談するのか、分からない。福祉サービスが多種類あるのに驚きました。
- 個々の市民へ、常々、指導教育をしていくことが必要と思う。
- 介護保険制度を利用しなくて済んでいる高齢者が利用できるものがありますか。PR してください（入浴助成、プール利用割引は知っていますが）。
- 福祉サービスも受けるために行動力のある人はよいが、本当に困難な人には、目・耳が届いていないのではないかと思うことがある。
- 各センター等の場所が分からないので、電話番号などを知らせてほしい。
- 地域包括支援センターと在宅介護支援センターのそれぞれの役割や様態が分かりにくいと思う。機会があれば分かりやすい広報をお願いしたい。
- 市の福祉サービスは充実していると思いますが、実際に介護している方以外は、このようなサービス事業があることを知らない方が多いと思います。市、社協、民生委員の人たちの広報活動がもっと必要だと思います。
- 老人にとって「広報ずし」のお知らせ版が唯一の情報収集の場であるので、広報ずしに老人向けのコーナーを設けて、行事・制度などを知らせてほしい。
- 動けなくなった場合のことを考えると、電話番号などの一覧表があったらいいと思う。民生委員への指導を充実してほしい。
- 高齢者保健にまったく関心がありませんでしたが、本アンケートをするにつれ、少し分かってきました。ある年齢に達した高齢者に対して、市主催で説明すべきだと思います。現状ですと、何も理解しないままになってしまうと思います。
- サービスの全体像がつかめない。印刷物（解説した）が欲しい。
- 今は元気ですが、介護が必要になったときに、どのように利用できるか、今知りたいです。自分の年金でと思っていますので、月にどのくらいかかるのか知っておきたいです。
- どのような介護を今後受けることができるのか、聞いたことがありませんでした。必ず必要になると思うので、元気なうちに聞いておきたいと思います。
- 「広報ずし」にエンターテインメントの記事ばかりでなく、たまには高齢者への啓蒙的な情報記事も載せてほしい。

- きめ細かい周知と連絡を願います。
- 各種のサービスがあることをどこで知ることができるのか、それを知りたい。私は身障者であり歩かず、知人がいない。どこでどんな情報が入るのか、それが知りたい。それが分からなければ、サービスは無に等しい。
- 介護保健サービス施設一覧、福祉サービス一覧：年1回程度、高齢者の方に配布していただけたら有り難いと思う。
- 制度の内容を知らない人が多くいると思いますので、より多くの人に知らせる方法を考えてほしい。
- 介護を受ける方法が分からない。
- 市内には高齢者が多いので、場所など細かく知らせてください。
- 市の高齢者福祉サービスの内容について、資料を見て初めて知るという状況である。何といても、自分の健康管理について相談できる窓口がほしい。現在はかかりつけの医療機関で健康診断を受けているが、医療センター、保健センターの役割等について、よく知りたいと思う。
- まず市役所の窓口へ伺い、自分にあった方向性を教えていただき、順に良い方向になるようアドバイスしていただけたらと思っています。今は健康で働いているため、なかなか理解できないこともあります。
- 市の高齢者保健福祉サービスとは、どんなことをやっているのか、ほとんど知られていないのではないかと。当事者にならないとよく分からないのでは？
- 相談にのってくれる人が欲しいです。

#### わからない等

- 利用したことがないので分からない。
- 受けていないので分からない。
- まだ現在、仕事を持っているので、実感があまりない。
- 現在まで利用したことがないので分かりません。
- まだ良く分からない。
- 市の高齢者福祉サービス一覧を見ると、充実していると思われます。まだ、お世話になる状態にないので、真剣に考えたことがありません。
- 目下、元気なので、気のつかない点が多いと思われるのですが、必要なときが来るまで、本当のことは分からない。
- 現時点ではまだ介護に対しての実感がなく、的確な回答ができないように思います。
- まだ幸いにして市のサービスを受ける段階でもなく、受けたこともないのでよく分からない。
- 身近でないので、よく分からない。そのときになって考える。
- まだ利用していないので分からない。
- 関係者の方々が一生懸命にお仕事をなさっているのはよく分かりますが、私自身、まだお世話になったことがありませんので、よく分かりません。  
ケアマネジャーとは、その方の経歴と資格がよく分かりません。
- 介護保険を利用している人に話を聞いたことや、利用している現場にいたことがないので、具体的なことが分かっておりません。
- 今のところ関心がなく、どのようなサービスがあるのかも把握していないので分かりません。
- 福祉サービスの内容を聞いたことも、サービスを受けたこともないので分かりません。
- 現在、身近に介護が必要な人がいないので分からないことが多いです。
- 福祉サービスを利用したことがないので分からない。

- まだ元気ですので、なってみないとはっきり分かりません。

## 期待・感謝など

### 期待など

- 正直、今まであまり考えていなかったのですが、これからお世話になりそうです。頂いたサービス一覧表を見て、逗子も捨てたものではないと思いました。
- 自分が介護を必要としたときは市の介護保険制度を利用したいと思います。私は無理だと思いますが、自宅介護を望んでおります。
- 子どもが遠方にいますので、お世話になるとは思いますが、自分でできるところまでがんばりたいと思っています。高齢者の多い市ですから、充実していくよう、よろしく願いいたします。
- サービスがいろいろあり、びっくりしました。姑の介護をしていた頃のことを思うと、今が羨ましく思います。
- 今後、高齢者が増加する一方なので、一層の充実をお願いしたい。
- 今は元気ですが、いつ病気になるか分かりません。やさしい福祉をお願いします。月に一度、デイサービスのお手伝いをしてはいますが、皆さん楽しそうにしています。
- 今のところ健康ですが、いつ市役所のお世話になるかもしれません。市民のためにも、充実した制度になりますよう、お願いします。
- サービス項目の羅列を見ても内容をよく把握していないので多くは言えないが、本当に市民の求めているものを誠実に提供できるよう、行政の力量に期待するのみ。
- 現在健康ですが、いざとなった時は、市役所の窓口で相談することが一番だと思えます。

### 感謝など

- 今のままで充分だと思えます。
- 逗子市の高齢者保健福祉サービスには十二分に満足しています。
- よくやっけていただいていると思えます。
- 介護保険制度以前に母親が介護でお世話になり感謝しています。今度は自分の番になるわけですが、それほど心配していません。期待していますので、よろしく。
- 職員削減で忙しい窓口業務でありながら、対応が大変親切、機敏で感謝しております。

## その他

- これから少し勉強したいと思えます。
- 今回アンケートをいただき、初めて知ることが多く、びっくりしている。このようなサービスがあったこと自体、同封された「サービス一覧」で知ったことが多い。
- 今のところ福祉サービスを受ける状態にないので特にないが、いずれは通る道だと思えば漠然とした不安はある。
- 福祉のサービスを受けるにしても、手続きの複雑さや、他人に介入されることになると思うと、ためらってしまうかもしれません。そのときになってみないと、と今は思っています。
- 高齢者保健福祉サービスに直接関わりを持つ機会はありませんでしたが、これからは少しずつ勉強していきたいと思えます。
- できる限り自分の家で人生を終えたいと希望するので、自分の家での支援をお願いしたいと思う。

- 同封の資料を読んで、いろんな福祉サービスがあることを知りました。
- 自分が一人になり介護が必要になったとき、この制度が本当に利用できるのかどうか心配しているところです。
- 順次勉強していきたいと思います。
- 今は必要ないと思いながらも、不測の事態に備え、家族とも相談しながら事前の勉強はしておきたいと思います。
- 肉体的ハンディが多いので自分なりの注意をして暮らしているが、万が一ということもあり、認知症が一番怖い。
- いずれ保健福祉サービスのお世話になるのかと思うと気が重くなりますが、いろいろな事を知ることができました。
- 将来の介護保険制度の利用につき、いろいろと勉強が少しできました。ありがとうございました。

## (2)介護保険制度全般について

問17 介護保険制度全般について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

### 制度全般に対する意見・不満

- 現在、他の市で母が介護を受けているいろいろ知っているつもりなのですが、今年になって認定が下げられたりで、サービスを受ける人が増えたのでという話で、私たちがはたして受けることができるか不安です。いろいろと受たいものがあったとしても、認定が下のほうで、これだけですと言われることがあると思うので、介護保険を払っていて、うまくそれが使われるのか問題です。
- 介護保険制度そのものが未完成だと思っている。
- 大変難しそうです（利用時）。介護保険料は払うが、なるだけ利用したくない。保険料が高い。
- 保険制度そのものが不安定状態にある。生命のある限り安心した生活を望むのは無理になるのかも。
- 制度ができてから形は充実してきたと思うが、内容が施設によりばらつきがあるように思われる。
- 介護が必要で病院に入院となった場合、1ヶ所の病院で3ヶ月たつと、他の病院に転院しなければいけないと、よく聞きます。また認知症であれば入院が継続できると聞きますが、どちらにせよ、今後1ヶ所の病院で医療チームの整った中で、すべての老人が落ち着いた病院生活ができるように願います。
- 国の後期高齢者の扱いは、ひどい政策だと思う。
- 介護保険は公的制度だが必要なサービスは民間事業者から受けること、民間会社は利益追求に走り、あるいは経営不振に陥るなど十分ありうることから、保険料を払っても満足なサービスが得られないのではないかという不安がある。居住地の自治体により受益者の便益が様々に異なるらしいのも不安材料。改善を期待する。
- 親族に利用している者がいるが、意外に使い難い。
- 一般的な意見として、介護保険制度の見直し（働く介護者）。
- 制度がよく変わり、だんだん不安になっていく。リハビリも途中で止めなければならなくなり、治るものも治らないという話をよく聞く。

## 保険料など経済的なことについて

### 保険料について

- 年金額に対し保険料が高く生活費を圧迫します。
- 最低の年金の中から差し引かれる保険料の負担は大きすぎます。
- 保険料が高い。
- 介護保険料について：年金生活者であっても、家族に給与所得者がいる場合は合算になる計算だが、本人が40歳未満でも、これでは間接的に介護保険料を支払っていることになるのでは？国民全体での助け合いの税が多すぎます。
- 年金100万円以下は介護保険料を無料にしてほしい。介護保険料があまりに高すぎます。
- 年金生活者には保険料の負担が多く感じます。
- 少ない年金から介護保険料を天引きされ、嫌も応もなく払っております。逗子市もとても大変だとは思いますが、どんどん支払額を上げないでください。
- 介護は家族の情がなければ「姥捨て山」の近代版事業になりかねず、家族が介護できるような支援こそが大切と思われます。介護保険と健康保険は二重に納めるように感じます。年金が減額され、保険料が二重になり、より生活が細ります。
- 給料をあまりもらっていないのに、介護保険料が高すぎて毎月大変です。
- 介護を受けず死亡の場合、保険料はどうなりますか？保険料の高額が生活にひびく。
- 保険料が少し高いように思う。
- まったく健康でいるのに、保険料が高い。
- 介護保険は必要ですが、保険料は安くはありません。正しく使われるように、きちんと監視して欲しいと思います。
- 良い制度と思うが、保険料負担の増加が心配。
- 年々高くなる介護保険料が不安です。
- 介護保険制度で保険料を払っても、何に使われているのか不明。老人が入院しても介護保険が払われるわけではないし。
- 保険料：当家では2人合わせて年10万円くらい要している。年々増加している。なるべく負担を増やさず、自立を促進させる施策を強化すべきです。
- 今のところ介護保険のお世話にはなっていません。保険料が高いように思われます。
- 介護保険料は、ずいぶん高いと思う。高齢者は支払うことができない。仕事もないし、どうしていいかわからない。
- 保険料を長年払いつづけて結局利用しなかった者へのサービスも何か考えても良いのではないのでしょうか。親が要介護5で介護施設で受けたサービスは、とても支払われている保険料の額とマッチするものとは思えませんでした。
- 税金と同じで疑問を感じています。保険料を大切に使ってください。

### その他

- 低料金にて実施されるように。
- 逗子市のみ問題ではありませんが、医療保険と介護保険の併用が（例えばリハビリ）できないのに困っております。
- 義母が6ヶ月前にショートステイ入院。戻る施設がなく、療養型医療施設へ入所することになり、かなり高額な負担となった。年金しか収入のない高齢者にとっては、非常に困る事態となった。

- 健保、税、介護保険と負担が多い。特に介護保険は負担のみで健保と二重負担となっている。税の負担も重い。

## 制度の公正な運用、受益者負担など

### 制度の運用

- 利用していないので実感できていませんが、例えば保険料を考えてみると、当初より2倍になっています。足りないからと単純に増額するやり方では、健康保険や厚生年金の二の舞になると思います。不正請求や無駄な支払い等、もっと厳重にチェックできる制度を確立して欲しいです。
- 介護サービスが必要以上に悪用されたり、またサービス内容が不十分にならぬよう、運用管理方法の充実を期待したい。
- 不正給付がないように、介護事業をしっかり監督してください。
- 必要な物・者は別にして、無駄無理は省くこと。
- 市町によってずいぶん差があると伺います。国で一律のサービスを希望します。
- 介護保険料の負担増は高齢化によりこのままでは急激に増加することは明白であり、過剰なサービスにならぬよう配慮が必要と思う。

### 受益者負担など

- 受益者負担の強化。ただし収入の段階をもっと細かくして、2割、3割、5割負担を新設してほしい。
- どうしても介護が必要な方は仕方がないと思いますが、介護を必要としないように予防の仕方。なるべく、年齢だからと過剰なサービスは必要ないと思います。制度が必要な人はそれだけ費用を徴収すれば良いと思う。支払能力のない方は別ですが。

## 特定の事柄(要介護度、人材、サービス)について

### 要介護度

- 現在の制度では、家族や肉親のものが同居、または同じマンションなどにいる場合、介護保険が受けられないか、要介護認定が低く評価されるなど、問題あり。たとえ自宅で肉親の世話を受けていても十分な外部からの介護を受けられるようにすべき。老人ホームで独居であれば要介護5の人が、肉親が同居していたら2になるというようなことがあってはならない。
- 介護認定では、本人、家族(世話をしている人)の希望・意見も十分に聞き、なるべく介護状態が進行しないよう、甘すぎず辛すぎずの認定であってほしい。悪くなってからではなく、予防的にもしっかり目を向け、本人・家族のQOLが向上するようであってほしい。医師は、本人、生活全体もしっかり見て判断してほしい。
- 介護認定は認定する人によって階級にむらがあると聞きましたが、その辺の決まりがはっきりしないような気がする。

### サービスの充実・拡大など

- ショート・ステイについて：家庭介護の一番の問題は介護人に非常事態が起きたとき、即入所できるところが確実にあるということです。ショート・ステイが、いざというとき、家族に安心できる場で

ある（すぐ入所できる）ことを願っています。

- 査定をもっとゆるくしてほしい。自費でオムツ等すべて買っている。タクシー等、大変。

#### 人材、報酬

- 施設で働く介護福祉士などの給与等の待遇改善を図り、より良い人材が確保できるよう介護報酬の見直しを行い、質の高い介護が維持されるよう配意されたい。
- 今の介護者の給与では生活できないので衰退する。
- 日本の介護保険制度は崩壊したと考えています。現在のヘルパーの身分給与が根本的に見直されなければ、まともな人はヘルパーとして働きつづけることはできない。ヘルパーの専門性を認めた能力給を認め、将来に希望をもてる職業にしなければ、たとえ安い外国人を集めたとしても、長くは続かない。まず中核となる人材を定着させる制度を確立しなければ、制度の存在はないと考える。
- 福祉に携わる（医師、看護師、ヘルパー、その他）すべての方には一般より高額支給、優遇する。福祉全般にこそ「税金」を使ってほしいです。

#### 手続きなどに対して

- 介護保険が本当に必要なとき（病院退院）転院するとき、介護度変更の日数がかかり、転院できなかったです。本当に必要なときに間に合いません。
- 必要なときにすぐ申請結果が出ないので（時間がかかりすぎる）、不便。
- 介護保険制度を利用したいと思うとき、とても面倒だということをよく耳にする。もっと簡単に気持ちよく利用できればと思います。
- 要介護認定審査と決定に時間がかかりすぎる。
- 手続きが大変で、老老介護をしている方は、そうしたことにじっくり向き合って考え、手続きをする時間的・精神的ゆとりがないのではないのでしょうか。本来受けるべき人が受けられず、自力でできるのに受けている・・・福祉の不平等はあると思います。
- 利用したいとき、もう少し早く利用できるような対応がほしい（申請から利用までの時間のこと）。

#### 施設について

- 施設が不足していないのか。地域毎に最低1か所設ける考えで、そこへ健康者が通って健康管理するような施設であれば良い。
- 今後、団塊世代の高齢化が進み、75歳以上の人口も増えることから、重度の要介護者の増加が想定され、特別養護老人ホームなど施設入所待機者が多くなると考えられるので、需要に適正に対応できるよう、施設数、入所者数などの拡充を図ってほしい。
- 近時、利益追求優先型の施設が見受けられる。市等行政当局から委託先の選定にあたっては、公共の福祉優先のものに徹底されたい。
- 高額な施設に対する多額の援助は、いたずらに悪徳な業者がはびこることです。全体的に弱者の救済になるように願います。
- 民間の介護施設は悪い情報が多すぎる。
- 保険料を納め続けても、いざ入所したいと思ったとき、なかなか入所はできないと聞く。払い損ではないかと思う。

## 期待、要望など

- いっぱい税金を使って、なるべく充実したものにしてください。お願い致します。
- 自分が介護を受ける立場になったとき、より良い制度になってくれますようお願いしております。どうぞよろしく願いいたします。
- 介護サービスは希望しますが、高齢者に負担がかからないよう考えてほしい。
- 高齢化のスピードアップが予想される折、介護保険制度の充実を加速してほしい。
- 本当に必要な人に公平に手を差し伸べていただきたいと思います。在宅介護は大変と聞いておりますので。
- ありがたい制度であるが、本当に介護の必要性がある人が優先されるべき。安心感はあるが、なるべく受けたくない。
- 必ず介護保険のお世話になるときが来るので、安心して受けられるようお願いします。
- 有り難い制度だと思いますが、困ったときにいつでも相談に応じていただけますようお願いします。
- 私は介護保険料を最高額払っておりますが、今現在健康で幸せを感じております。一度もお世話になっていない分、健康な者のための音楽会を望みます。
- 私自身はなるべく自立したいと思いますが、いよいよになったときには、利用者のそのとき希望することを、なるべく受け入れてください。
- アンケート記入により、いろいろ勉強になりました。安心して老後に向かえるようなサービス、手順等を希望します。
- 母のときは横浜市にお世話になりました。親身になってくださるヘルパーさんにめぐりあい、本当に助かりました。現在、時間が短くなったそうですが、できるだけ長時間助けていただけると助かるのですが。

## 制度がわからない等

- 介護保険制度がまだ理解できていません。
- まだ現役で働いていますので、介護について、理解が足りません。
- 制度自体がよく見えない。
- 制度の全体を解説した印刷物が欲しい。
- 利用する条件が知りたい。具体的に説明してほしい。急を要する場合は、どうしたらいいですか。要するに、利用方法がまったく分からない。
- 自分から情報を常に収集しないと取り残されることになると思う。
- その時になってみないと分かりません。制度そのものが理解できていません。必要になったときの窓口の対応が、いかに親身になってくださるかが気になることです。

## 感謝など

- 両親の介護をしていた6年間、介護保険制度があったので私の労力が軽減され、助かりました。
- 介護保険制度はありがたいことです。たくさんの民間の事業所が参加することはいいことですが、不正のないよう、安心して利用できるようにお願いしたいです。
- いずれ介護保険の必要に迫られると思います。良い制度だと思っています。
- 症状によって千差万別かと思いますが、私どもには大変助かっています。

## その他

- 前立腺肥大以外は特に悪いところもなく、介護についてあまり考えたこともなかったのですが、いつか介護保険のお世話になると思いますので、勉強になったと思っております。資料を見て知らないことがたくさんあり勉強になりました。
- 家族や身内の遠い者でも利用できる保険施設はできないのでしょうか。その点を一番心配に思っております。
- 幸いにもお世話になることもなく、現在元気に過ごしてまいりましたが、今後検討する必要があると思えます。
- できるかぎり子供たちに迷惑かけずに老後を過ごすことができれば幸いに思いますが。
- 現在健康で、考えたことがなく、今後勉強したいと思えます。
- 認定を受ける前に、日常生活での自助努力が大切だと思う。
- 祖母が病気で寝たきりになったが、国民健康保険の利用で、介護保険は役に立たなかったから、関心がない。
- 現在、介護を受けている、その家族の方からは、いろいろと問題点の多いことを聞いています。お金の問題、施設の問題、人の問題等、多くを抱えていると思えますが、一人一人がしっかり自覚する必要があります。
- 近年、とくに高齢者が多くなるので、身近に感じます。福祉を大切にしてほしい。
- まだ勉強不足でなんとなく不安に思っております。これから勉強します。

逗子市高齢者保健福祉計画策定

一般高齢者調査結果報告書

2008年（平成20年）3月

発行 逗子市福祉部介護保険課

〒249 - 8686 逗子市逗子5丁目2番16号

電話 046 - 873 - 1111

FAX 046 - 873 - 4520